

令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 A 工区

目 次

A-01	特記仕様書-1		A-21	矩計図-4	1/30	B-01	木造特記仕様書-1	-	C-01	外構配置図	1/100				
A-02	特記仕様書-2		A-22	矩計図-5	1/30	B-02	木造特記仕様書-2	-	C-02	(A -1) 外構【 宅内】詳細図	1/30				
A-03	特記仕様書-3		A-23	準耐火リスト ・ 詳細図	1/10	B-03	木造特記仕様書-3	-	C-03	(A -2) 外構【 宅内】詳細図	1/30				
A-04	特記仕様書-4		A-24	平面詳細図-1	1/30	B-04	木造特記仕様書-4	-							
A-05	特記仕様書-5		A-25	平面詳細図-2	1/30	B-05	木造特記仕様書-5	-							
A-06	特記仕様書-6		A-26	展開図-1	1/30	B-06	木造特記仕様書-6	-							
A-07	特記仕様書-7		A-27	展開図-2	1/30	B-07	木造特記仕様書-7	-							
A-08	特記仕様書-8		A-28	展開図-3	1/30	B-08	木造特記仕様書-8	-							
A-09	付近見取・敷地求積・工区全体配置図		A-29	展開図-4	1/30	B-09	(A -1) 基礎伏図	1/50							
A-10	(A-1)計画概要・建物面積表・配置図		A-30	天井伏図・小屋裏換気計算	1/50	B-10	(A -2) 基礎伏図	1/50							
A-11	(A-2)計画概要・建物面積表・配置図		A-31	建具表-1	1/50	B-11	土台伏図・2階床伏図	1/50							
A-12	仕上表	-	A-32	建具表-2	1/50	B-12	桁伏図・小屋伏図	1/50							
A-13	性能評価項目表	-	A-33	家具図	1/10	B-13	軸組図-1	1/50							
A-14	平面図	1/50	A-34	キッチン詳細図	1/20	B-14	軸組図-2	1/50							
A-15	立面図-1	1/50	A-35	物干場詳細図	1/30	B-15	壁量計算表	-							
A-16	立面図-2	1/50	A-36	部分詳細図	1/5										
A-17	屋根伏図	1/50	A-37	LVSチェック 図	-										
A-18	矩計図-1	1/30													
A-19	矩計図-2	1/30													
A-20	矩計図-3	1/30													
						図 面 リ ス ト		SCALE -		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号			DATE . . .	DATE R4. 03.24	A - 00
						SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 A 工区		株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所			CHECKED BY		DRAWN BY	SHEET NO.	
						SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史									

鉄筋工事	3 鋼杭地業	寸法、継手、性能等（種別：種類、性能） ※図示（4.4.3） 杭先端部形状 ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 工 法（4.4.4） ・特定埋込杭工法 杭の根入れ深さ ※図示 杭の精度（4.3.5）（4.4.4） 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・（ ） 杭の傾斜 ・1/100以内 ・（ ） 杭継手工法（4.3.6）（4.4.5） ・溶接継手 ・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 工 法 ※審査（評定又は大臣認定）を受けた工法 ・（ ） 検査 ※審査（評定又は大臣認定）により定められた項目 ・（ ） 施工 ※審査（評定又は大臣認定）された施工管理基準による ・（ ） 杭頭の処理 ・処理しない ・処理する（4.3.8）（4.4.6） 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ・（ ） ・図示 杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・（ ）	4 場所打ちコンクリート杭地業	工 法（4.5.1） ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・拡底杭工法 鉄筋の種類、加工及び組立（帯筋、最小かぶり厚さ、鉄筋かごの補強、継手工法） ※図示（4.5.4） コンクリート セメントの種類 ・高炉セメントB種 G ・（ ） 設計基準強度（ ）N/mm ² スランプ ・18cm ・（ ）cm 鋼管の材料 ・（ ） ・図示 杭の支持層への根入れ深さ ※図示（4.5.5）（4.5.6） 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・（ ） 杭の傾斜 ・1/100以内 ・（ ） 孔壁測定 ・行う（内容： ） ・行わない	5 砂利及び砂地業	材 料（4.6.2） 砂利 ※再生クラッシュラン G 6 7 切込砂利又は切込砕石 砂 ・シルト ・山砂、川砂又は砕砂 厚 さ ・60mm 7 （100）mm 適用箇所 ・基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 7 図示	6 捨コンクリート	捨コンクリートの厚さ（4.6.4） 7 50mm ・（ ）mm 適用箇所（6.14.1） ・基礎梁下、土に接するスラブ下 7 図示（ ） コンクリートの種類（6.14.1） ・普通コンクリート ・（ ） 設計基準強度（6.14.1） 7 18N/mm ² ・（ ）N/mm ² スランプ（6.14.1） 7 15cm ・18cm ・（ ）cm	7 床下防湿層	施工範囲（4.6.5） ・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ビット下を除く） ・図示 防湿工法（4.6.2） 7 ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上	5 鉄筋工事	1 鉄筋	鉄筋の種類等（5.2.1）（表5.2.1） <table><tr><th>種類</th><th>記号</th><th>呼び径（mm）</th><th>備 考</th></tr><tr><td>7SD295A</td><td></td><td>D10、D13</td><td>図示</td></tr><tr><td>・SD345</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	記号	呼び径（mm）	備 考	7 SD295A		D10、D13	図示	・SD345				・				・				2 溶接金網	形状等（5.2.2） <table><tr><th>種 類</th><th>種類の記号</th><th>網目の形状、寸法、鉄線の径（mm）</th><th>使用部位</th></tr><tr><td>7溶接金網</td><td>CD6</td><td>150×150φ6</td><td>浴室・外構（駐車スペース）</td></tr><tr><td>・鉄筋格子</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種 類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径（mm）	使用部位	7 溶接金網	CD6	150×150φ6	浴室・外構（駐車スペース）	・鉄筋格子				3 鉄筋の継手	継手方法等（5.3.4）（5.5.2）（5.6.3） <table><tr><th>部 位</th><th>継手方法</th><th>呼び径（mm）</th></tr><tr><td>柱、梁の主筋</td><td>※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td><td></td></tr><tr><td>耐力壁の鉄筋</td><td>※重ね継手</td><td></td></tr><tr><td>その他の鉄筋（ ）</td><td>※重ね継手</td><td>D10、D13</td></tr></table> 主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ（5.3.4） ・構造関係共通図（配筋標準図）3.1(a)(2)による 7 構造関係共通図（配筋標準図）3.1(a)(3)による ・図示 継手位置図 7 構造関係共通図（配筋標準図）5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による ・図示	部 位	継手方法	呼び径（mm）	柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手		耐力壁の鉄筋	※重ね継手		その他の鉄筋（ ）	※重ね継手	D10、D13	4 鉄筋の定着長さ	7 構造関係共通図（配筋標準図）3.1(b)による ・図示（5.3.4）	5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）	最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）（5.3.5） 7 構造関係共通図（配筋標準図）表4.1による ・図示 ・（ ） 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 7 無し ・有り 適用箇所（ ） 最小かぶり厚さ ・鉄筋径の1.5倍以上 ・（ ） 軽量コンクリートで土に接する部分 7 無し ・有り 適用箇所（ ） ・構造関係共通図（配筋標準図）表4.1に加える厚さ （ ）mm ・（ ） 耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等） 7 無し ・有り 適用箇所（ ） ・構造関係共通図（配筋標準図）表4.1に加える厚さ （ ）mm ・（ ） 鉄筋相互のあき（機械式継手・溶接継手を除く）（5.3.5）（図5.3.6） 7 構造関係共通図（配筋標準図）4.1による ・図示 ・（ ）	6 各部配筋	各部配筋（5.3.7） ・構造関係共通図（配筋標準図）による 7 図示 ・（ ）	7 圧接完了後の試験	外観試験（5.4.10） ※行う （全数） 抜取試験 ※超音波探傷試験 試験の箇所数等 ・標準仕様書 5.4.10、5.4.11による ・（ ） ・引張試験 試験片の採取数は、1ロットに対して（※3本・ ）とする 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする 試験片を採取した箇所の処置：ガス圧接	6 軽量コンクリート	種 別（6.10.2）（表6.10.1） ・1種 使用部位（ ） ・2種 使用部位（ ） 適用箇所（6.10.2） ・（ ） ・図示	7 無筋コンクリート	適用箇所（6.14.1） ・標準仕様書 6.14.1(4) による箇所 ・標準仕様書 6.14.1(4) 以外の箇所 ・（ ） ・図示 設計基準強度（6.14.1） ・18（N/mm） ² ・（ ） スランプ（6.14.1） ・15cm ・18cm ・（ ）	8 ひび割れ誘発目地、打継目地	目地寸法（6.6.4）（9.7.3） ・標準仕様書 9.7.3による ・（ ） 間隔・位置・形状（6.8.1） ・（ ） ・図示	9 コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ（6.2.5）（6.6.6）（6.8.3）（表6.2.4） <table><tr><th>種 別</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>7A種</td><td>ｽｰﾌﾟ立ち上がり</td></tr><tr><td>7B種</td><td>基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ・柱廻り（外周）</td></tr><tr><td>・C種</td><td></td></tr></table> コンクリートの仕上りの平たんさ（表6.2.5） ・a種 ・b種 ・c種	種 別	適用箇所	7 A種	ｽｰﾌﾟ立ち上がり	7 B種	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ・柱廻り（外周）	・C種		10 打増し厚さ（打放し仕上げ部）	・打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）（6.8.1） ・20mm ・（ ） ・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る） ・10mm ・20mm ・（ ）	11 型枠	せき板の材料 G 及び厚さ（6.8.2） ・合板 7 12mm ・15mm ・（ ） 断熱材の兼用（6.8.2） ・行わない ・行う M C R工法用シート（6.8.2） ・用いる 打増し厚さ ・20mm ・（ ） 打増し範囲 ・（ ） ・図示 ・用いない スリーブの材種（6.8.2）（表6.8.1） ・標準仕様書 6.8.2(9)(イ)及び標準仕様書表6.8.1による ・（ ）	13 コンクリートの単位水量測定	実施要領 ・構造関係共通図（構造関係共通事項） 構－4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による ・（ ）	防水工事	1 アスファルト防水	アスファルトの種類 ※3種（9.2.2） 押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) 程度（9.2.2） ・（ ） 屋根保護防水（9.2.2～3）（9.2.5）（表9.2.3～6） <table><tr><th>種 別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材 G</th><th>絶縁用シート</th><th>立上り部の保護</th></tr><tr><td>・A－1</td><td></td><td rowspan="12">厚さ ※25mm ・50mm ・</td><td rowspan="12">※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・</td><td rowspan="12">※乾式保護材 ・コンクリート押え （JIS R 1250）</td></tr><tr><td>・A－2</td><td></td></tr><tr><td>・A－3</td><td></td></tr><tr><td>・B－1</td><td></td></tr><tr><td>・B－2</td><td></td></tr><tr><td>・B－3</td><td></td></tr><tr><td>・A I－1</td><td></td></tr><tr><td>・A I－2</td><td></td></tr><tr><td>・A I－3</td><td></td></tr><tr><td>・B I－1</td><td></td></tr><tr><td>・B I－2</td><td></td></tr><tr><td>・B I－3</td><td></td></tr></table> 断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること。 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上（9.2.5） ・（ ） 床タイル張り ※水下 60mm 以上 ・（ ）	種 別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護	・A－1		厚さ ※25mm ・50mm ・	※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・	※乾式保護材 ・コンクリート押え （JIS R 1250）	・A－2		・A－3		・B－1		・B－2		・B－3		・A I－1		・A I－2		・A I－3		・B I－1		・B I－2		・B I－3		特記仕様書（建築工事編）A-02	平成31年度版	高知県土木部建築課	令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 A 工区	令和 4 年 4 月	株式会社 上田 建築 事務所 SUBMITTED BY 一般建築士登録 第 312929号 上田 博史	令和 2 年 7 月改正
	種類	記号	呼び径（mm）	備 考																																																																																																																																	
	7 SD295A		D10、D13	図示																																																																																																																																	
	・SD345																																																																																																																																				
・																																																																																																																																					
・																																																																																																																																					
種 類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径（mm）	使用部位																																																																																																																																		
7 溶接金網	CD6	150×150φ6	浴室・外構（駐車スペース）																																																																																																																																		
・鉄筋格子																																																																																																																																					
部 位	継手方法	呼び径（mm）																																																																																																																																			
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手																																																																																																																																				
耐力壁の鉄筋	※重ね継手																																																																																																																																				
その他の鉄筋（ ）	※重ね継手	D10、D13																																																																																																																																			
種 別	適用箇所																																																																																																																																				
7 A種	ｽｰﾌﾟ立ち上がり																																																																																																																																				
7 B種	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ・柱廻り（外周）																																																																																																																																				
・C種																																																																																																																																					
種 別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																																																																																	
・A－1		厚さ ※25mm ・50mm ・	※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・	※乾式保護材 ・コンクリート押え （JIS R 1250）																																																																																																																																	
・A－2																																																																																																																																					
・A－3																																																																																																																																					
・B－1																																																																																																																																					
・B－2																																																																																																																																					
・B－3																																																																																																																																					
・A I－1																																																																																																																																					
・A I－2																																																																																																																																					
・A I－3																																																																																																																																					
・B I－1																																																																																																																																					
・B I－2																																																																																																																																					
・B I－3																																																																																																																																					

左官工事

⑮

1モルタル塗り

モルタル・現場調合材料・既調合材料（）（15.3.2）
既製目地材・使用する（施工箇所：形状：）（15.3.2）
床の目地・設ける（工法※押し目地・）（15.3.5）
目地割り※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）・（）
下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験・行う

②

床コンクリート直均し仕上げ

下表以外は表6.2.5及び15.4.2による（表6.2.5）（15.4.2）

施工箇所	平たんさ(mm)	備考
・フリーストップ（支柱調整式）範囲	・1mにつき10以下	・
・	・	・

3

モルタルリソ材塗り

・せっこう系（15.5.2）（表15.5.1）
・セメント系

④

仕上塗材仕上げ

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量（15.6.2）
※規制対象外・第三種
内壁A-L-Cパネルの形状※V形目地付き・（）（15.6.4）
仕上塗材の種類（15.6.2）（表15.6.1）

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状	
○薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状	
	・可とう形外装薄塗材Si	・	○ゆず肌状○吹付け・ローラー塗り）	
	○外装薄塗材E	・	・さざ波状	
	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状	
	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け・こて塗り）	
	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り）	
	・内装薄塗材C	・	・砂壁状じゅらく	
	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく	
	・内装薄塗材Si	・	吸放湿性・適用する	
	・内装薄塗材E	・		
	・内装薄塗材W	・		
	・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し・凸部処理・平たん状
		・外装厚塗材Si	・	・凹凸状・ひき起こし・かき落とし
・外装厚塗材E		・	吸放湿性・適用する	
・内装厚塗材C		・	上塗材・適用する	
・内装厚塗材L		・		
・内装厚塗材G		・		
・内装厚塗材Si		・		
・内装厚塗材E		・		
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状・凸部処理・凹凸状	
	・複層塗材Si	・	耐候性※耐候形3種・	
	・複層塗材E	・	上塗材	
	・複層塗材RE	・	溶媒※水系・溶剤系・弱溶剤系	
	・可とう形複層塗材CE	・	樹脂アクリル系	
	・防水形複層塗材CE	・	外観※つやあり・つやなし	
	・防水形複層塗材E	・	・メタリック	
	・防水形複層塗材RE	・		
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・	・砂壁状・平たん状	
・こて塗用軽量塗材	・			

防火材料の指定※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする

5

マスキング塗材塗り

種別・A種・B種（15.7.2）

6

ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量※規制対象外・第三種（15.12.2）
接着剤のホルムアルデヒド放散量※規制対象外・第三種（15.12.2）
仕上げ吹付け厚さ（mm）※図示・25・（）（15.12.3）

⑮

網戸等

種類	材質	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス（SUS316）製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm

6

樹脂製建具

性能値等（16.2.2）（16.3.2～5）（表16.3.1）
・外部に面する建具の性能等級・A種（S-4、A-4、W-4）（建具符号：）
・B種（S-5、A-4、W-5）（建具符号：）
・C種（S-6、A-4、W-5）（建具符号：）
・屋内の建具の性能等級（）
防音ドアセット・防音サッシ・適用する遮音性の等級（）（建具符号：）
外部に面する建具・T-A種・T-B種（16.3.2）（表16.3.3）
断熱ドアセット・断熱サッシG・適用する断熱性の等級（）（建具符号：）
外部に面する建具・H-A種・H-B種・H-C種（16.3.2）（表16.3.4）
枠の見込み寸法・（）・図示
ガラス※複層ガラス・（）（16.3.3）
表面色※標準色・特注色（16.3.4）
水切り板、ぜん板・（）・図示（16.3.5）

7

鋼製建具

性能値等（16.2.2）（16.4.2）
簡易気密型ドアセット・適用する（建具符号：）
外部に面する建具の耐風圧性※S-4・S-5・S-6（表16.2.1）
防音ドアセット・防音サッシ・適用する遮音性の等級（）（建具符号：）
断熱ドアセット・断熱サッシG・適用する断熱性の等級（）（建具符号：）
耐震ドアセット・適用する面内変形追随性の等級（）（建具符号：）

8

鋼製軽量建具

性能値等（16.2.2）（16.5.2）
簡易気密型ドアセット・適用する（建具符号：）
防音ドアセット・防音サッシ・適用する遮音性の等級（）（建具符号：）
断熱ドアセット・断熱サッシG・適用する断熱性の等級（）（建具符号：）
耐震ドアセット・適用する面内変形追随性の等級（）（建具符号：）
鋼板※垂鉛めっき鋼板・ビニル被覆鋼板・カラー鋼板（16.5.3）
召合わせ、縦小口包み板等の材質※鋼板・ステンレス・アルミニウム

9

ステンレス製建具

性能値等（16.2.2）（16.4.2）（16.6.2）
簡易気密型ドアセット・適用する（建具符号：）
外部に面する建具の耐風圧性※S-4・S-5・S-6（表16.2.1）
防音ドアセット・防音サッシ・適用する遮音性の等級（）（建具符号：）
断熱ドアセット・断熱サッシG・適用する断熱性の等級（）（建具符号：）
耐震ドアセット・適用する面内変形追随性の等級（）（建具符号：）
表面仕上げ※H-L仕上げ・鏡面仕上げ・（）（16.6.4）
ステンレス鋼板の曲げ加工※普通曲げ・角出し曲げ（16.6.5）

⑩

木製建具

建具材の加工、組立時の含水率※B種・（）（16.7.2）
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量（16.7.2）
※規制対象外・第三種
○フラッシュ戸（16.7.2～4）
・かまち戸かまち樹種（）鏡板樹種（）（16.7.2～4）
・ふすま種別（・I型・II型）（16.7.2～4）
ふすま紙上張り（押入等の裏側以外）（・鳥の子・新鳥の子又はビニル紙程度）
縁仕上げ（・塗り縁・生地縁（素地）・生地縁（ウレタンクリアー塗装））
・戸ぶすま（16.7.2～4）
・紙張り障子（16.7.2～4）
枠及びくつずりの材料・（）・図示（16.7.2）

⑪

鍵

マスターキー・制作する・制作しない（16.8.4）
その他の鍵※各室3本1組・（）
鍵箱※有・無

12

自動ドア開閉装置

自動ドア開閉装置の性能値等（16.9.2～3）（表16.9.1～4）

種類	防錆	検出装置の種類	凍結防止装置	
・引き戸用駆動装置	・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	・適用する	・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う（適用箇所は建具表による） ・行わない
・多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置		・適用しない		

13

自閉式上吊り引戸装置

性能※標準仕様書表16.10.1による・（）（16.10.3）（表16.10.1）

14

重量シャッター

シャッターの種類・管理用シャッター耐風圧強度（）N/㎡（16.11.2）
・外壁用防火シャッター耐風圧強度（）N/㎡
・屋内用防火シャッター
・屋内用防煙シャッター
開閉方式の種類※上部電動式（手動併用）・上部手動式（16.11.2）（表16.11.1）
管理用シャッターのシャッターケース・設ける・設けない（16.11.2）
スラット及びシャッターケース用鋼板（16.11.3）
鋼板の種類・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量※Z12又はF12・（）

15

軽量シャッター

開閉方式の種類※手動式・上部電動式（手動併用）（16.12.2）（表16.12.1）
耐風圧強度（）N/㎡
スラット形状・インターロッキング形・オーバーラッピング形（16.12.3～4）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）めっきの付着量（※Z06又はF06・）
・JIS G 3322（塗装溶融55%70%亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）めっきの付着量（※AZ90）

16

オーバーヘッドドア

（16.13.2～3）

セクション材料による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチャカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

耐風圧性能による区分（・125・100・75・50）Pa
・合わせガラス（16.14.2）

品	種	構成種類	特性による種類
※フロート合わせガラス		※フロート板合わせガラス	・I類
・網入磨き合わせガラス		・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・II-1類・II-2類
		・網入磨き、フロート板合わせガラス	・III類

・強化ガラス（16.14.2）

品	種	種類	特性による種類
※フロートガラス		※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I類・III類
・型板ガラス		※型板強化ガラス	

・熱線吸収板ガラス（16.14.2）

品	種	特性による種類	色調
※熱線吸収フロート板ガラス		・1種・2種	・ブルー・グレー・ブロンズ
・熱線吸収網入磨き板ガラス			

○複層ガラス（16.14.2）

品	種	断熱性	日射取得性、日射遮蔽性	乾燥気体の種類
・断熱複層ガラス		・T1・T2・T3	・G	・空気
○日射熱遮へい複層ガラス		・T4・T5・T6	・S	・アルゴン

・熱線反射ガラス（16.14.2）

品	種	日射熱遮へい性	耐久性	ガラスの種類	色調
※熱線反射ガラス		・1種	A種		・ブルー・グレー
・高性能熱線反射ガラス		・2種	・A種・B種		・ブロンズ
		・3種	B種		・シルバー

反射皮膜面※内面・外面
映像調整※行わない・行う（16.14.4）
・倍強度ガラス（16.14.2）

材料板ガラスによる種類の名称	色調
※フロート倍強度ガラス	
・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー・ブルー・ブロンズ・

・ガラスの留め材及び溝の大きさ（16.14.2～3）（図16.14.1）（9.7.1）

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）
アルミニウム製	※シーリング材 ○ガasket ※グレイジングチャンネル形・	※建具の製造所の仕様による ・図示 ・
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材・	
ステンレス製	※シーリング材・	
樹脂製	・シーリング材 ・ガasket ・グレイジングチャンネル形	

名	称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム		第2種	※内張り・外張り	飛散防止率D1
・				

品質JIS A5759による

18

ガラス用フィルム

※アルミニウム製（表面処理はアルミニウム製建具に合うす）
・鋼板製（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯めっきの付着量Z12又はF12）

19

サッシ取合間仕切板

特記仕様書（建築工事編）A-05

平成31年度版高知県土木部建築課

令和4年度浜松更新住宅建築主主体工事A工区

令和4年4月

一級建築士事務所高知県知事登録第19号

株式会社上田建築事務所

SUBMITTED BY一級建築士登録第312929号上田博史

令和2年7月改正

1 フリーアクセスフロア	(2 0 . 2 . 2)							
	施 工 箇 所	構 法	寸 法 (mm)	高 さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備 考
		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	表面仕上材の品質・性能は、標準仕様書19章による。 構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・ () スロープ及びボーダー ※製造所の仕様による ・図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20～30パーセント ・ () 配線取り出し開口 ※パネル1枚につき 40mm×80mm 程度の開口1ヶ所以上 ・図示 空調用吹き出し (吸い込み) パネル ※なし ・有り (※固定式 ・可変式) : 施工箇所 (※図示 ・) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下 平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの、又は同等のものとする。 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下および損傷なし ローリングロード性能 ※適用する ・適用しない ローリングロード試験 耐荷重性能 (3,000N) : 積載荷重1,000Nの際、最大変形量1.5mm以下 (使用上有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと) 耐荷重性能 (5,000N) : 積載荷重1,000N以上の際、最大変形量1.0mm以下 (使用上有害な変形、欠け、割れがたつきなどの欠点がないこと)							
	(2 0 . 2 . 3)							
	構造形式	構成基材の種類	総厚さ (mm)	材 質	厚 さ (mm)	パネル表面仕上げ	遮音性	防火性能
	・スタッド式 ・スタッドハネ式 ・ハネ式			※鋼板 ・	※0.6 ・0.8	※ラミネ樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃
	パネル内に取り付ける建具 ・あり (・図示 ・) ・なし 仕上げの壁紙張りの品質 標準仕様書19章による							
	(2 0 . 2 . 4)							
3 移動間仕切	走行方向	操作方法	パネル圧接装置の操作方法	厚 さ (mm)	パネル表面材		遮音性	
	・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・		材質	仕上げ	・36未満 ・36以上	
					・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・		
仕上げの壁紙張りの品質 標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512 に準拠する								
4 トイレブース	(2 0 . 2 . 5)							
	パネル表面材の材質	脚 部			ドアエッジ			
		形 状	材 質		形 状	材 質		
・ラミネ樹脂化粧板 ・ホリス樹脂化粧板 ・	※幅木 ・支柱 ・なし	・アルミニウム製 ※ステンレス製 ・		・標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材			
(1 9 . 2 . 2)								
5 視覚障害者用床タイル	施 工 箇 所		種 類		寸 法 (mm)		厚 さ (mm)	
	屋内		・塩化ビニル製		※300×300		※7.0 ・	
			・磁器又はせっ器質タイル		※300×300			
			・レジンコンクリート製		※300×300			
	屋外		・磁器又はせっ器質タイル		・300×300		※30 ・	
			・レジンコンクリート製		・300×300			
ブロックパターンは JIS T 9251 による								
6 階段滑止め	(2 0 . 2 . 6)							
	材 種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド				
	・ステンレス製 (SUS304) ビニルタイヤ入り ・	・約35 ・	※接着工法 ・埋込み工法	※有り (※ビニル製 ・ステンレス製) ・無し				
7 手すり								
	材 種	表面仕上げ			直径 (mm)		取付箇所	
	※集成材	※クリアラッカー			・60 ・45			
	・ステンレスパイプ	・H L						
	・鋼製パイプ	・E P - G						
	・ビニル製ハンドルール							
8 黒板及びホワイトボード	(2 0 . 2 . 8)							
	区 分	種 類	寸法 (mm)	色 彩		形 式		
	・黒板	※焼付け ・	・ほうろう ・鋼製	※緑 ・黒		※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引分け		
	・ホワイトボード	・ほうろう ・	・ほうろう ・鋼製	白		※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引分け		
9 鏡	(2 0 . 2 . 9)							
	取付箇所	()						
	寸 法 (mm)	・ () ・図示						
	厚 さ (mm)	※ 5 ・ ()						

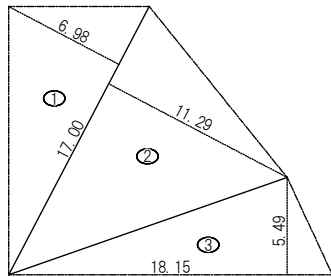
10 表 示	(2 0 . 2 . 1 0)							
	区 分		材 質		寸法・形状(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備 考
	・衝突防止表示 (・両面 ・片面)		・ステンレス製 ・図示		※30φ ・	※市販品 ・	※図示 ・	
	・室名札 ・ピクトグラフ ・とびら番号		※アクリル板 ・		※図示	※5 ・	※図示 ・	
	・庁舎案内板 ・各階案内板 ・		※アクリル板 ・ ・		※図示 ・ ・	※5 ・ ・	※図示 ・ ・	
	案内用図記号は JIS Z 8210 による。 誘導標識、非常用進入口表示 ※消防法に適合する市販品							
	11 煙突ライニング	(2 0 . 2 . 1 1)						
		煙突用成形ライニング材						
		適用安全使用温度 上限温度 ・ 400℃ ・ 650℃ 下限温度 ・ ()						
	12 ブラインド	(2 0 . 2 . 1 2)						
形 式		操作方法	種 類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材質	寸法・取付箇所	
※横形		・電動 ・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7ℓミニウム合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	※図示 ・	
13 ロールスクリーン	・縦形	・電動 ・手動	・1本操作コード式 ※2本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・ 80 ・ 100	※7ℓミニウム合金製 ・	※図示 ・	
	(2 0 . 2 . 1 3)							
	材 種	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備 考		
14 カーテン	※ポリエステル ・綿 ・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級 ・	・図示 ・	※図示			
	(2 0 . 2 . 1 4)							
	ひだの種類	形 式		開閉操作	きれ地の種別、 品質、特殊加工等	取付箇所	備 考	
15 カーテンレール	・フランスひだ ・箱ひだ・つまひだ ・フレンチひだ・片ひだ ・ ・	・シングル ・ダブル ・片引き ・引分け ・ ・	・電動 ・ひも引き ・手引き ・ ・		※図示			
	(2 0 . 2 . 1 4)							
	材 種	※7ℓミニウム又は7ℓミニウム合金の押出し成型材		・ステンレス製	・ ()	(2 0 . 2 . 1 4)		
16 プラントボックス 及びカーテンボックス	形 式	・片引き ○引分け (暗幕用は 300mm 以上の召合せの重掛けとする)						
	形 状	・角形		・ ()				
	溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示 材 質 ・ 集成材 (仕上げ：) ・ 鋼製 (仕上げ：) ・ アルミニウム製 表面処理 ※BC-1 ・ BC-2 (色合い ・ 標準色 ・ 特注色)							
17 天井点検口	材 種	寸 法	形 式	外枠	内枠	枠の 許容差	外枠と内枠の クリアランス	
	※アルミニウム製 ・	○450×450 ・ 600×600 ・	○一般形 ・ 屋内外用 ○屋内用 ・ 密閉形	・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ ・	・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ ・	±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内	
	アルミニウム合金押出形材は JIS H 4100 A6063S-T5 により、表面処理は陽極酸化被膜 JIS H 8601(AA6) (外部についてはB種又は同等品以上)をおこなったものとする。 内枠、外枠のコーナークビス、及び吊り金物、取付ボルトは鋼板に垂鉛めっき等の防錆処理 をおこなったものとする。 内枠の仕上材、留付金具はアルミニウム合金押出形材、垂鉛めっき鋼板の類とする。							
18 床点検口	材 種	寸 法	形 式	枠の許容差	受枠と蓋枠の クリアランス			
	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 ・	・ 450×450 ○600×600 ・	○一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ○屋内用	受枠、蓋枠とも ±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内		
	一般形：パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの 密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの 材料の品質及び性能 (表14.2.1)							
19 旗竿点検口	使用部位	材 料	屋 内 外 用			屋 内 用		
	受枠材 蓋枠材	7ℓミニウム合金 押出形材	JIS H 4100 A6063S-T5 表面処理：標準仕様書 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、 BB-2種					
		ステンレス	JIS G 4305 SUS304 表面仕上：HL 又は No.2B程度 (目地ともの場合)					
20 旗竿受金物		鋼材	—			鋼板又は電気亜鉛めっき 鋼板 (JIS G 3313 SEHC) の類に一般さび止めペイント (JIS K 5621)、又はポリ シ樹脂焼付塗装等の防錆 処理をおこなったもの		
	(2 0 . 2 . 1 4)							
	ひだの種類	形 式		開閉操作	きれ地の種別、 品質、特殊加工等	取付箇所	備 考	
21 フェンス	・フランスひだ ・箱ひだ・つまひだ ・フレンチひだ・片ひだ ・ ・	・シングル ・ダブル ・片引き ・引分け ・ ・	・電動 ・ひも引き ・手引き ・ ・		※図示			
	(2 0 . 2 . 1 4)							
	材 種	※アルミニウム製又はアルミニウム合金の押出し成型材		・ステンレス製	・ ()	(2 0 . 2 . 1 4)		
22 旗竿受金物	形 式	・片引き ○引分け (暗幕用は 300mm 以上の召合せの重掛けとする)						
	形 状	・角形		・ ()				
	溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示 材 質 ・ 集成材 (仕上げ：) ・ 鋼製 (仕上げ：) ・ アルミニウム製 表面処理 ※BC-1 ・ BC-2 (色合い ・ 標準色 ・ 特注色)							
23 旗竿受金物	材 種	寸 法	形 式	外枠	内枠	枠の 許容差	外枠と内枠の クリアランス	
	※アルミニウム製 ・	○450×450 ・ 600×600 ・	○一般形 ・ 屋内外用 ○屋内用 ・ 密閉形	・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ ・	・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ ・	±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内	
	アルミニウム合金押出形材は JIS H 4100 A6063S-T5 により、表面処理は陽極酸化被膜 JIS H 8601(AA6) (外部についてはB種又は同等品以上)をおこなったものとする。 内枠、外枠のコーナークビス、及び吊り金物、取付ボルトは鋼板に垂鉛めっき等の防錆処理 をおこなったものとする。 内枠の仕上材、留付金具はアルミニウム合金押出形材、垂鉛めっき鋼板の類とする。							
24 旗竿受金物	材 種	寸 法	形 式	枠の許容差	受枠と蓋枠の クリアランス			
	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 ・	・ 450×450 ○600×600 ・	○一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ○屋内用	受枠、蓋枠とも ±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内		
	一般形：パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの 密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの 材料の品質及び性能 (表14.2.1)							
25 旗竿受金物	使用部位	材 料	屋 内 外 用			屋 内 用		
	受枠材 蓋枠材	7ℓミニウム合金 押出形材	JIS H 4100 A6063S-T5 表面処理：標準仕様書 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、 BB-2種					
		ステンレス	JIS G 4305 SUS304 表面仕上：HL 又は No.2B程度 (目地ともの場合)					
26 旗竿受金物		鋼材	—			鋼板又は電気亜鉛めっき 鋼板 (JIS G 3313 SEHC) の類に一般さび止めペイント (JIS K 5621)、又はポリ シ樹脂焼付塗装等の防錆 処理をおこなったもの		
	(2 0 . 2 . 1 4)							
	ひだの種類	形 式		開閉操作	きれ地の種別、 品質、特殊加工等	取付箇所	備 考	

	二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501 FC150, FC200		
	目地材	黄銅	JIS H 3100 C2600, C2720, C2801P JIS H 3250 C2602, C3604B		
		ステンレス	JIS G 4305, JIS G 4308 SUS304		
	底板材 コーナークビス 底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305, JIS G 4308 SUS 304	JIS G 4305 SUS430	
		アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	－	
		鋼材	－	鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板（JIS G 3313 SEHC）の類に一般さび止めペイント（JIS K 5621）、又はポリシ樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの	
	錠	亜鉛合金製（クロムめっき） 黄銅製、ステンレス製の類		－	
	開閉方式	施錠・開錠は、錠又は開閉用ハンドル式とする			
	パッキン材	塩化ビニル系ゴム 軟質塩化ビニル クロロブレン スチレンラバー エチレンプロピレン	枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有する。		
	アンカー材	鋼材	電気亜鉛めっき又は防錆塗料をおこなったもの		
19 くつふきマット	取っ手	黄銅鋳物製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋳物製、ステンレス鋳鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合製樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする。			
	蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値 Pn=1,000N において残留たわみが点検口の有効径の 0.08%以内 であること。 受け枠・蓋その他に使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値の Pn の2倍以上であること。			
	材 種	受け枠	備 考		
	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・			
	形 式	材 種	高さ(m)		
	・テーパー式 ・同一断面式	・アルミニウム合金製 ・			
	旗竿受金物 ※ステンレス鋼（SUS304）製 ・				
	20 旗 竿	形 式	材 種	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)
・上下式鎖内蔵式 （・標準品 ・スプリング式） ・		・ステンレス製 ・	・φ76.3 t=2.0 ・	・GL+700 ・	
フェンスの種類		・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス			
高 さ ・（ ） ・図示					
種 類 ※コンクリートブロック製（市販品） ・花こう石類（文字記号等入り）					
設置方法		根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。 建て込みは監督職員の立ち会いのもと行う。			
コンクリートの調合		容 積 比 セメント1：砂2：砂利4 程度			
21 車止めさく					
22 フェンス					
23 敷地境界石標					

特記仕様書（建築工事編）A-07		平成31年度版 高知県土木部建築課			
令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 A工区					
令和 4 年 4 月					
株式会社 上田 建築 事務所					
SUBLMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史					
令和 2 年 7 月改正					

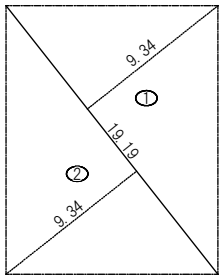


附近見取図



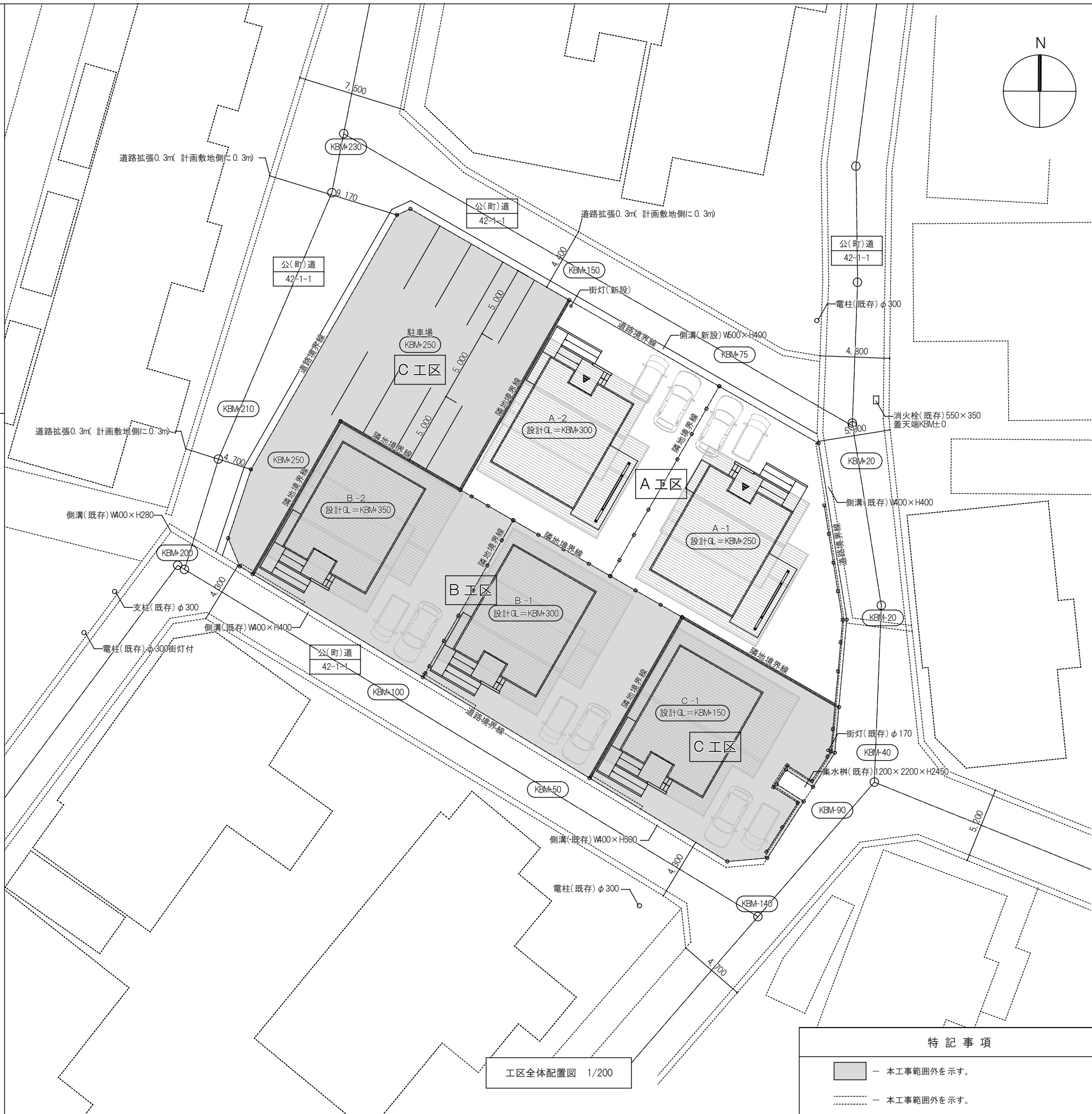
A-1 敷地求積図 1/300

A-1 敷地求積表					
番号	底辺	高さ	倍面積	面積	
1	17.00	6.98	118.6600	59.33000	
2	17.00	11.29	191.9300	95.96500	
3	18.15	5.49	99.6435	49.82175	
合計				205.11675	
敷地面積				205.11 m ²	



A-2 敷地求積図 1/300

A-2 敷地求積表					
番号	底辺	高さ	倍面積	面積	
1	19.19	9.34	179.2346	89.61730	
2	19.19	9.34	179.2346	89.61730	
合計				179.23460	
敷地面積				179.23 m ²	



工区全体配置図 1/200

特記事項

- 本工事範囲外を示す。
- 本工事範囲外を示す。

外 部 仕 上 表									
屋 根 A (4. 5寸勾配)	㊶	化粧スレート葺き (30分準耐火仕様)	通 気	㊸	小屋裏換気役物 (既製品) ※その他雨押え: カ-ガルバ-コ-ル鋼板t0. 4(既製品)	物 干 場	㊶	床 モ-ルタル金鍍押え	
		ア-スファ-ル-フ-ィ-ン-グ 940、構造用合板 t15*2二重張り (N75@150以下)		㊹	棟換気役物 (既製品) ※その他棟組み: カ-ガルバ-コ-ル鋼板t0. 35(既製品)	2 階 手 摺	㊸	杉t45 巾120(防腐処理材) WP 塗	
屋 根 B (2. 5寸勾配)	㊷	化粧スレート葺き (30分準耐火仕様)	桁 鼻	㊺	カ-ク-ルt0. 35～0. 4	物 干 し 金 物	㊹	7/15自在物干金物※勾配天井仕様 (既製品)	
		ア-スファ-ル-フ-ィ-ン-グ 940、構造用合板 t15*2二重張り (N75@150以下)	破 風 板	㊻	杉t35 巾180(防腐処理材) WP 塗				
軒 天	㊸	化粧野地板 杉t15厘い実加工、構造用合板 t15捨張	鏡 板	㊼	杉t15縦羽目 働き巾W05 目地押さえt18*30 WP 塗	備 考			
外 壁	㊺	窯業系サイディング 張り t16. 0(45分準耐火仕様)	堅 目 地	㊽	杉90*60(防腐処理材) WP 塗 *底目地 カ-ク-ルt0. 35～0. 4	【 塗装色: 参考品番】 外部WP 塗: 黒(焼杉風) マ-ル値: 3. 6RP 2. 3 / 0. 0 内部WP 塗: グ-ア- マ-ル値:			
		通気胴縁21*45@455、透湿防水シート 張り	根 廻 り	㊾	基礎エク-ス-トラ打ち放し (補修共)				
樋	㊻	カ-ガルバ-コ-ル鋼板 半丸120程度・ 堅樋φ75	水 切	㊿	土台水切 カ-ク-ルt0. 35(既製品)				
小 庇 (D=240)	㊼	ガルバ-コ-ル鋼板t0. 35～0. 4平葺き	ポ ー チ	㊽	床 磁器質タ-イル50角 モ-ルタル下地				
		板庇: 杉(防腐処理材) t35 WP 塗	外 部 階 段・ スロ-プ	㊾	床 モ-ルタル金鍍押え *外構図参照				

使 用 材 料 表		
認定 番号	化粧スレート葺き (30分準耐火仕様)	告示第1358号 第五第1号-ロ(1) NM-9567
	窯業系サイディング 張り t16. 0 (45分準耐火仕様)	QF045BE-9226
	GB-R(石膏ボード) t12. 5 t15. 0	NM-8619
	GB-S(シーキング 石膏ボード) t9. 5	NM-9639
	ビニルクロス	NM認 定 品

内 部 仕 上 表															
	室 名	床		巾 木		壁			廻 縁		天 井 仕 上		床高/天井高	備 考	
1 階	玄 関	㊦	磁器質タイル50角	㊦	木製桧 H=65 WP 塗	㊦	ビニルクロス張り		㊦	クロス見切 (フス: C-3T同等)	㊦	ビニルクロス張り		CH: 2, 220	・ 下足箱  ・ アンダ ーラ: マタル調Lアンダ ーラ L21*21程度 ・ 手掛兼用見切: 桧(小節)45*75R加工、H2, 200 WP 塗
			下地: モルタル 35程度				下地: GB-R t15. 0					下地: GB-R t15. 0			
	1 階 廊 下	㊦	桧フローリング t15(塗装品)	㊦	木製桧 H=45 WP 塗	㊦	ビニルクロス張り		㊦	クロス見切 (フス: C-3T同等)	㊦	ビニルクロス張り		CH: 2, 200	
			下地: 構造用合板t28				下地: GB-R t15. 0					下地: GB-R t15. 0			
	台 所	㊦	桧フローリング t15(塗装品)	㊦	木製桧 H=45 WP 塗	㊦	ビニルクロス張り	㊦	【キッチン壁廻り】 居間側: シタ合板 t5. 5 WP 塗 キッチン側: マシン不燃化粧板 t3. 0張り	㊦	クロス見切 (フス: C-3T同等)	㊦	ビニルクロス張り	CH: ≒2, 804	・ キッチン (流し 台L=1, 800, コロ台L=700, レンジ フット(ブース型)L=750, 水切棚)
			下地: 構造用合板t28				下地: GB-R t15. 0						下地: GB-R t12. 5		
	居 間	㊦	桧フローリング t15 WX 磨き	㊦	木製桧 H=45 WP 塗	㊦	ビニルクロス張り		㊦	クロス見切 (フス: C-3T同等)	㊦	ビニルクロス張り		CH: 2, 200	・ カタレール(W) ・ クラキャップ
			下地: 構造用合板t28				下地: GB-R t15. 0					下地: GB-R t12. 5			
和 室	㊦	スタロ量t55(B種)	㊦	畳寄せ25*50	㊦	ビニルクロス張り		㊦	木製廻縁 10*25	㊦	ビニルクロス張り		CH: 2, 200	・ 長押: 桧(小節)L=1, 500WP 塗、木製フック計4組(丸喜金属: Jフック MHW-200同等 色ウォルナット) ・ カタレール(W) ・ クラキャップ	
		下地: 構造用合板t28				下地: GB-R t15. 0					下地: GB-R t15. 0				
ト イ レ	㊦	CFシートt1. 8張り	㊦	ビニル巾木 H=45	㊦	ビニルクロス張り		㊦	クロス見切 (フス: C-3T同等)	㊦	ビニルクロス張り		CH: 2, 100	・ 洋便器(機械設備工事) ・ L型手摺(機械設備工事)※下地補強は本工事 ・ タオル掛(機械設備工事) ・ 天井換気扇(機械設備工事)	
		下地: 構造用合板t12. 0捨張、構造用合板t28				下地: GB-R t15. 0					下地: GB-R t15. 0				
洗面・脱衣室	㊦	CFシートt1. 8張り	㊦	ビニル巾木 H=45	㊦	ビニルクロス張り		㊦	クロス見切 (フス: C-3T同等)	㊦	ビニルクロス張り		CH: 2, 100	・ 床下点検口600角 ・ 洗面化粧台W=750(機械設備工事) ・ 洗濯機パン(機械設備工事) ・ タオル掛け(機械設備工事)	
		下地: 構造用合板t12. 0捨張、構造用合板t28				下地: GB-R t15. 0					下地: GB-R t15. 0				
浴 室		*1416規格 仕上・下地材共 難燃以上 (性能評価「 9. 高齢者等への配慮」対応型)				㊦	GB-R t15. 0素地				㊦	GB-R t15. 0素地		CH: 2, 100	・ エコバ ス1416タイプ(機械設備工事)
階 段	㊦	踏面 桧板(集成材) t35 WP 塗 蹴上 桧板(集成材) t15 WP 塗	㊦	木製桧 H=45 WP 塗	㊦	ビニルクロス張り		㊦	クロス見切 (フス: C-3T同等)	㊦	㊦	ビニルクロス張り			・ 手摺: 21*45桧(小節)WP 塗 ・ 笠木: 桧(小節)t=25WP 塗
						下地: GB-R t15. 0						幕板見切 (フス: 6T同等)			
2 階	2 階 廊 下	㊦	桧フローリング t15(塗装品)	㊦	木製桧 H=45 WP 塗	㊦	ビニルクロス張り		㊦	クロス見切 (フス: C-3T同等)	㊦	ビニルクロス張り		CH: 2, 200	・ カタレール(W)
			下地: 構造用合板t28				下地: GB-R t15. 0					下地: GB-R t12. 5			
	洋室1・2	㊦	桧フローリング t15(塗装品)	㊦	木製桧 H=45 WP 塗	㊦	ビニルクロス張り		㊦	クロス見切 (フス: C-3T同等)	㊦	ビニルクロス張り		CH: 2, 400	・ カタレール(W) ・ クラキャップ
			下地: 構造用合板t28				下地: GB-R t15. 0					下地: GB-R t12. 5			
共 通	押 入	㊦	珞合板t15. 0	㊦	雑巾摺り 10*15	㊦	ビニルクロス張り		㊦	クロス見切 (フス: C-3T同等)	㊦	ビニルクロス張り		CH: 2, 200	・ 中段D=750 ・ 枕棚D=450
			下地: 構造用合板t28				下地: GB-R t15. 0					下地: GB-R t15. 0			
		物 入 1・2	㊦	珞合板t15. 0	㊦	雑巾摺り 10*15	㊦	ビニルクロス張り		㊦	クロス見切 (フス: C-3T同等)	㊦	ビニルクロス張り	(物入1) CH: 2, 200	・ (物入1)可動棚 
		㊦	下地: 構造用合板t28			㊦	下地: GB-R t15. 0				㊦	下地: 台所 GB-R t12. 5			
	クロゼット1・2	㊦	珞合板t15. 0	㊦	雑巾摺り 10*15	㊦	ビニルクロス張り		㊦	クロス見切 (フス: C-3T同等)	㊦	ビニルクロス張り		CH: 2, 200	・ SUSパイプ φ32 ・ 枕棚D=500 ・ (クロゼット1)天井点検口450角
			下地: 構造用合板t28				下地: GB-R t15. 0					下地: GB-R t12. 5			

2.火災時の安全 感知警報装置（設備工事）		
種 類	設 置 場 所	種 別
住宅用火災警報器	居間・和室 階段・洋室1・洋室2	光電式煙感仕警器（無線式連動型）
住宅用火災警報器	台所	定温式煙感仕警器（無線式連動型）

3.劣化の軽減		
項 目		内 容
外壁の軸組等の防蟻処理	外壁の構造	外壁通気構造（通気層巾21mm）
	柱の腐蝕・小径	桧 135mm・120mm・105mm
	Qより1m以内の軸材	薬剤処理（木材保存協会認定防腐剤又は2071対策境界認定防腐・防蟻剤を現場塗布）
	床構造用合板	薬剤処理（木材保存協会認定防腐剤又は2071対策境界認定防腐・防蟻剤を現場塗布）
土台の防腐・防蟻		外壁下端の水切を設置（カ-Q通気水切り 有効換気面積83.83cm2/m） 桧
地盤の防蟻		鉄筋エクリートベタ基礎（t150）
浴室・脱衣室の防水	浴室	浴室エポ1416タイプ
	脱衣室	防水上有効な仕上（床：フロア 壁天井：ビニルクロス）
基礎高さ		地盤面から基礎天端まで400mm
床下防湿・換気	防湿方法 換気方法	エクリートスラブt150、ポリエチレンフィルム0.15 基礎パッキング（有効換気面積101.76cm2/m 高さ20mm）
2階小屋裏換気	換気方法	
下屋小屋裏換気	換気方法	

4．維持管理				
項 目		内 容		
専用配管	排水・給水・給湯・ガス管	エクリート内に埋め込まない		
地中埋設管	排水・給水・給湯・ガス管	地中埋設配管上にエクリートを打設しない		
専用配管の清掃処置	全体	清掃口・及び清掃可能なトラップを設置		
排水管の性状等	全体 たわみ・抜け	VP管を使用し内部は平滑とする 接着固定を行い、支持金物を設置		
配管点検口	主要接合部の点検措置	露出配管及び点検口の設置		
基礎貫通部の配管		さや管方式		
部 位	排水管の清掃措置	接合部の点検措置		
		排水 管	給 湯 管	排 水 管
トイレ	排水マシに接続	露出	-	取り外し可能
システムキッチン	清掃可能なトラップ	キッチン外扉	キッチン外扉	キッチン外扉
洗面化粧台	清掃可能なトラップ	キッチン外扉	キッチン外扉	キッチン外扉
洗濯機用水栓・排水	清掃可能なトラップ	露出	露出	点検口
浴室	清掃可能なトラップ	点検口	点検口	点検口
給湯器	-	露出	露出	-

5.温熱環境	
項 目	内 容
地域の区分	6 地域
断熱工法の種別	充填断熱工法

断熱性能の確保	
項 目	内 容
断熱材の施工方法	隙間なく充填
外壁上下端部と天井・屋根の取合い部	気流止め枠材
間仕切り壁と天井・床の取合い部	気流止め枠材

開口部断熱性能		
項 目	内 容	熱貫流率
窓	A1は樹脂製熱遮断構造建具・LOWE複層ガラス・ガス無・中空層16mm	2.17
装飾窓	A1は樹脂製熱遮断構造建具・LOWE複層ガラス・ガス無・中空層16mm	2.00
勝手口戸（台所）	A1は樹脂製熱遮断構造建具・LOWE複層ガラス・ガス無・中空層12mm	2.43
玄関引戸	金属製熱遮断構造建具・LOWE複層ガラス・ガス無・中空層12mm	3.22

6.空気環境	
項 目	内 容
使用建材	製材等、特定建材、その他の建材
居室の内装の仕上げ材	全てF☆☆☆☆の建材を使用
天井裏の下地材等	全てF☆☆☆☆の建材を使用
換気方式	第3種 給気口+排気機
風量	換気階数 0.5回/h 以上の換気量
圧力	機外静圧≧必要静圧
居室出入口の通気措置	換気ルトとなるドアはアダプカト（10mm以上） 引き戸・スライド戸・折れ戸

8.音環境	
項 目	内 容
開口部遮音性能	居室の外壁に設ける開口部は全てT-1とする

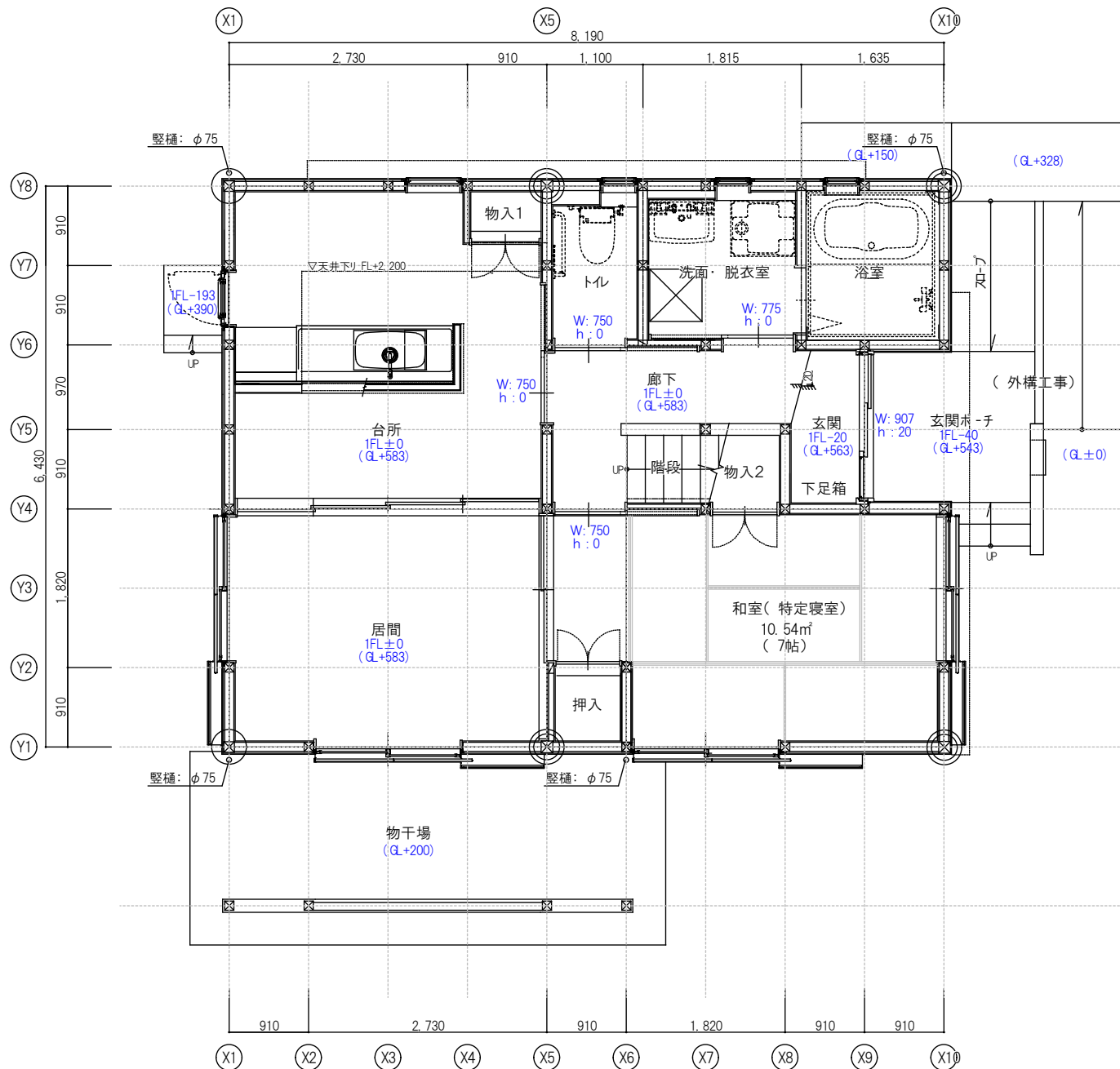
9.高齢者等配慮			
項 目	内 容	項 目	内 容
特定寝室	特定寝室：1階和室（内法面積：10.54㎡）	手摺	階段手摺：片側手摺
特定寝室と同一階の室	玄関 台所 居間 トイレ 洗面・脱衣室 浴室		踏み面先端からの高さ：720mm
段差	玄関出入口 くつずりと玄関外側：20mm		便所手摺：有り
	玄関出入口 くつずりと玄関土間：0mm		浴室手摺：有り（浴室出入口・浴槽出入口）
	玄関上がり かまち：20mm		玄関手摺：有り
	浴室出入口：20mm以下		脱衣室手摺：設置可能
階段	けあげ（R）：198.7mm	転倒防止手摺	バルコニー腰壁高さ：900mm,1100mm 手摺高さ：1200mm,1300mm
	踏み面（T）：210mm		2階窓台高さ：800mm以上
	勾配（R/T）：0.946		2階廊下腰壁高さ
	勾配（R×2+T）：607.4		
	けこみ寸法：15mm けこみ板：有り		
	階段の型式：直階段		
	最上段の通路への食い込み：無し		
	最下段の通路への突出：無し		
	すべり止め：有り（踏み面と同一面）		
	段鼻の出：有り		

断熱材の種類と厚さ			
部 位	材 料	厚 さ	備 考
屋根	該当なし		
天井	高性能グラスウール 密度16kg/㎡	105mm	
壁	高性能グラスウール 密度16kg/㎡	105mm	
床（外気に接する部分）	グラスウール 密度32kg/㎡	80mm	
床（その他の部分）	グラスウール 密度32kg/㎡	80mm	
土間床等の外周部	該当なし ※UB床下部は、断熱構造化とする		

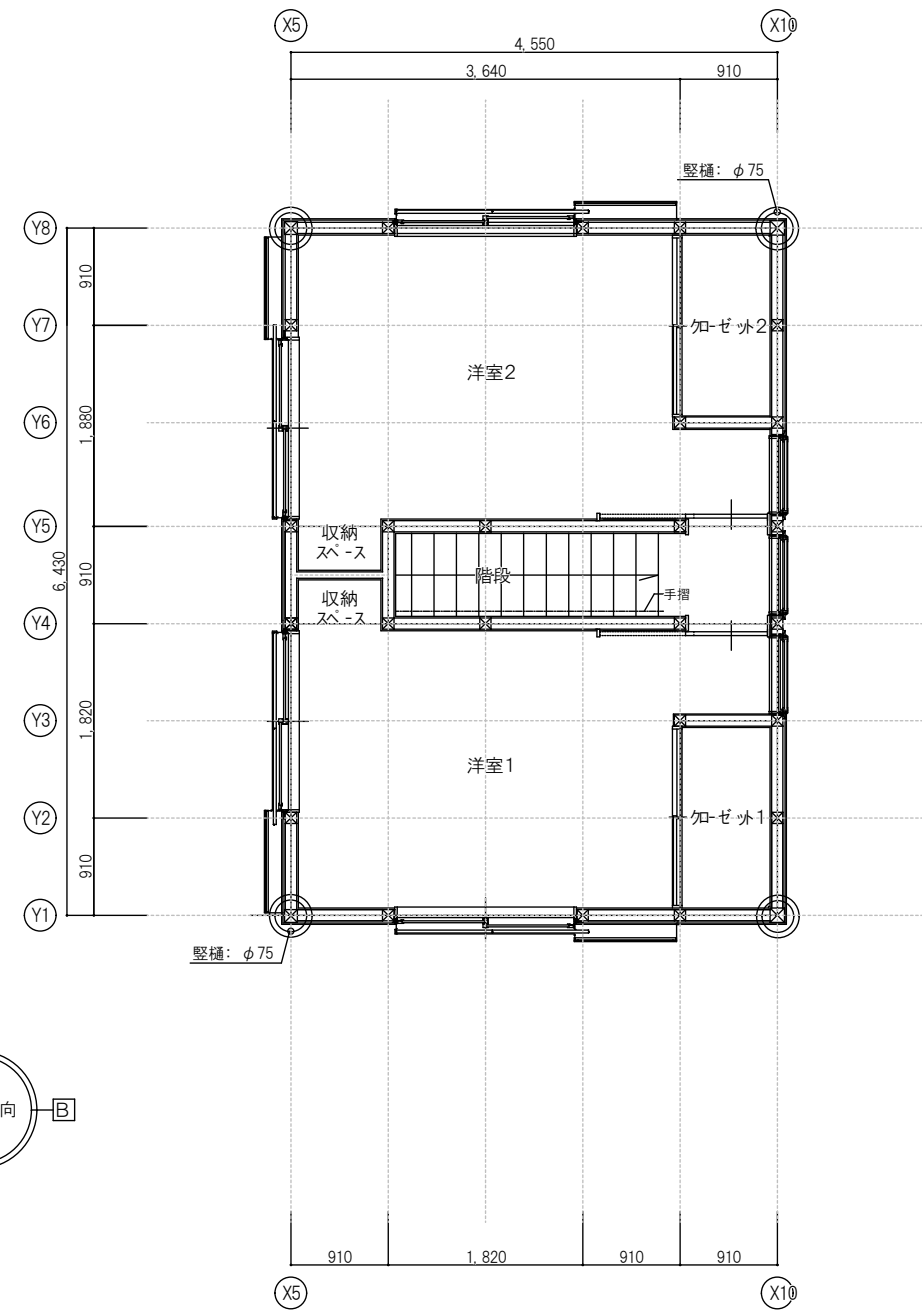
内部結露防止対策	
項 目	内 容
防湿層の設置	防湿フィルム JL SA6930 A種 厚0.15
通気層の設置	外壁通気構造
	天井小屋裏換気
	床下に換気口
防風層の設置	透湿防水シート JL SA6111 厚0.16

日射遮蔽	
項 目	内 容
開口部の日射侵入対策	LOWE複層ガラス（日射遮蔽型）
	日射取得率：

局所換気対策		
項 目	機 械 換 気	換 気 窓
台所	有	有
浴室	有	有
トイレ	有	有



1階 平面図 S: 1/50

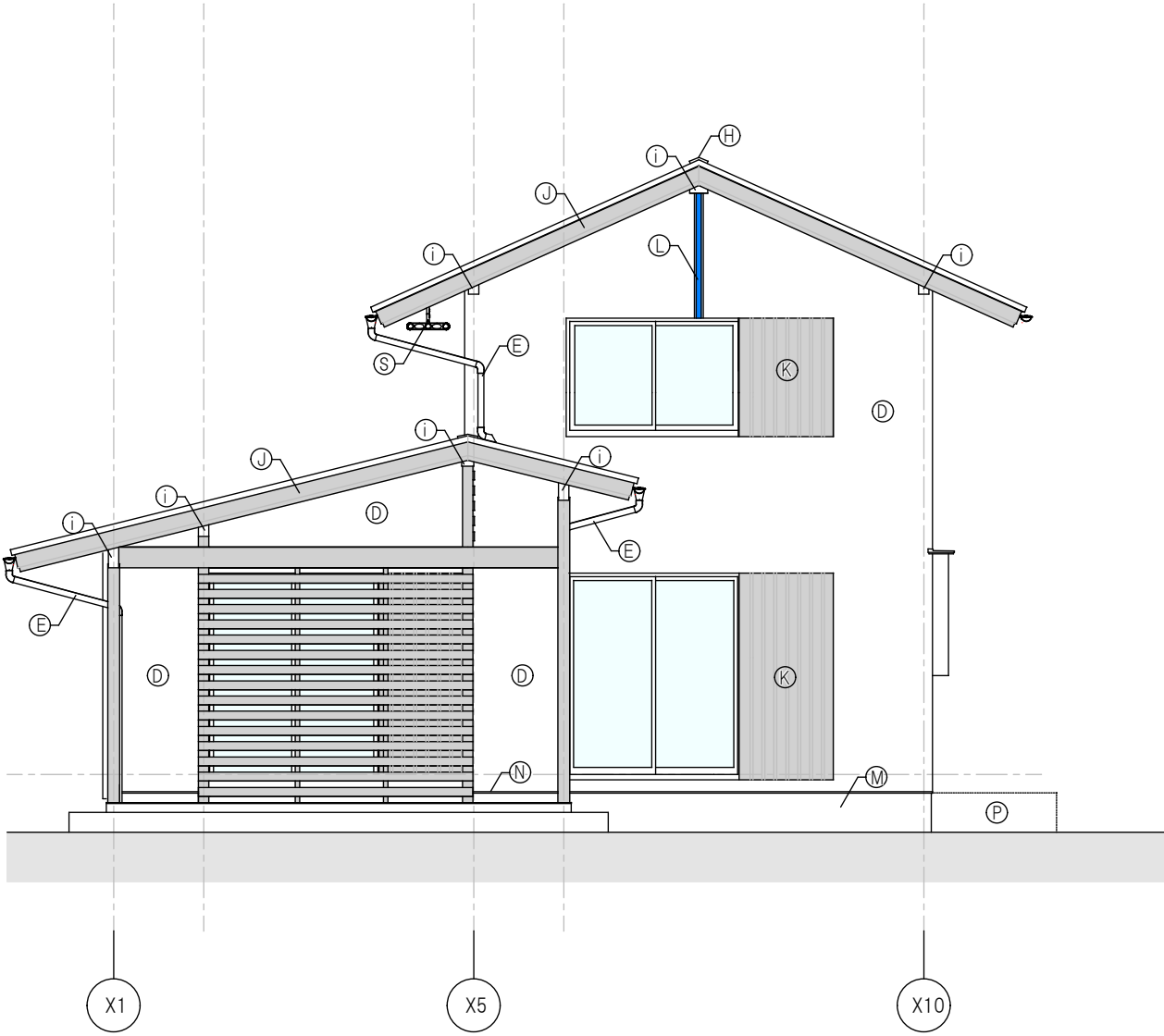


2階 平面図 S: 1/50

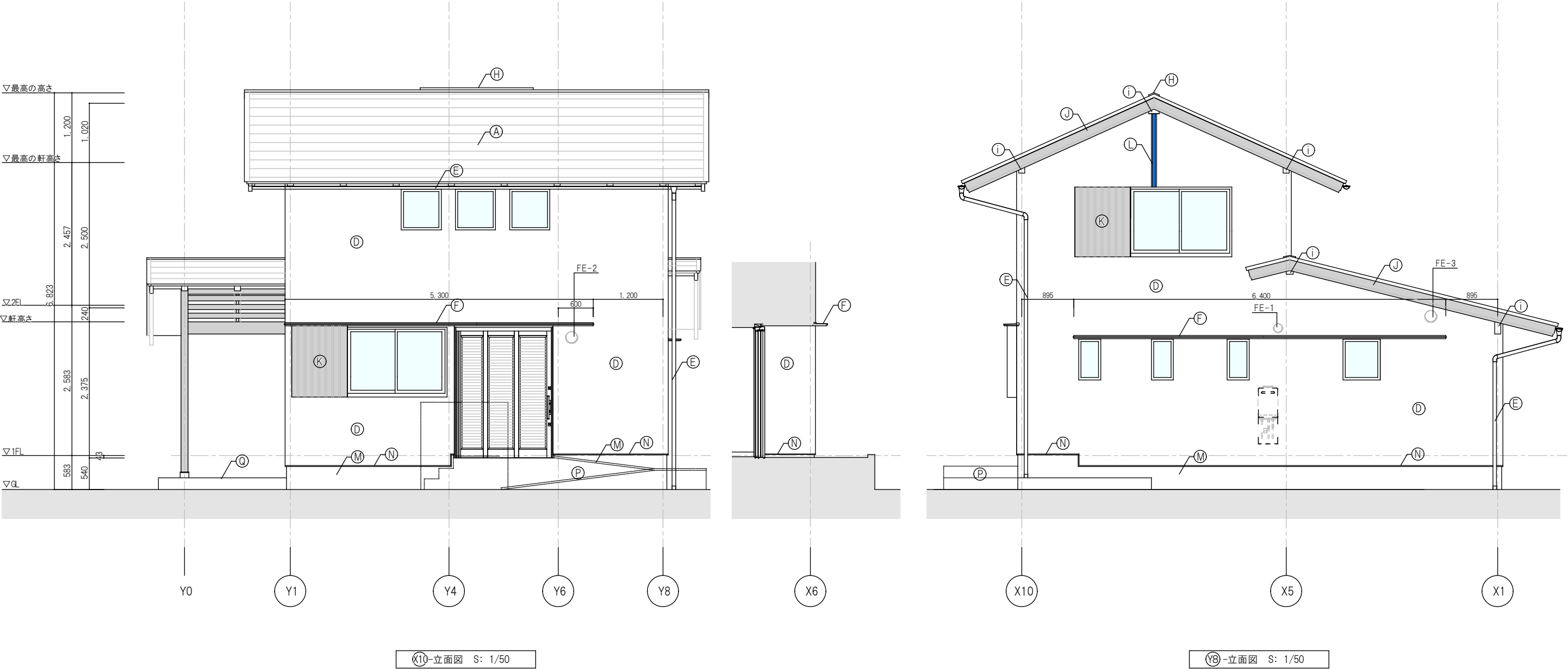
凡 例		面 積 表		
⊙	通し柱 135×135	⊠	床下点検口	1階 床面積
⊗	通し柱 120×120	W: 000 h: 0	出入口有効幅員 出入口段差	2階 床面積
■	管柱 105×105			延床面積
				50.950㎡
				29.257㎡
				80.207㎡
				15.41坪
				8.85坪
				24.26坪

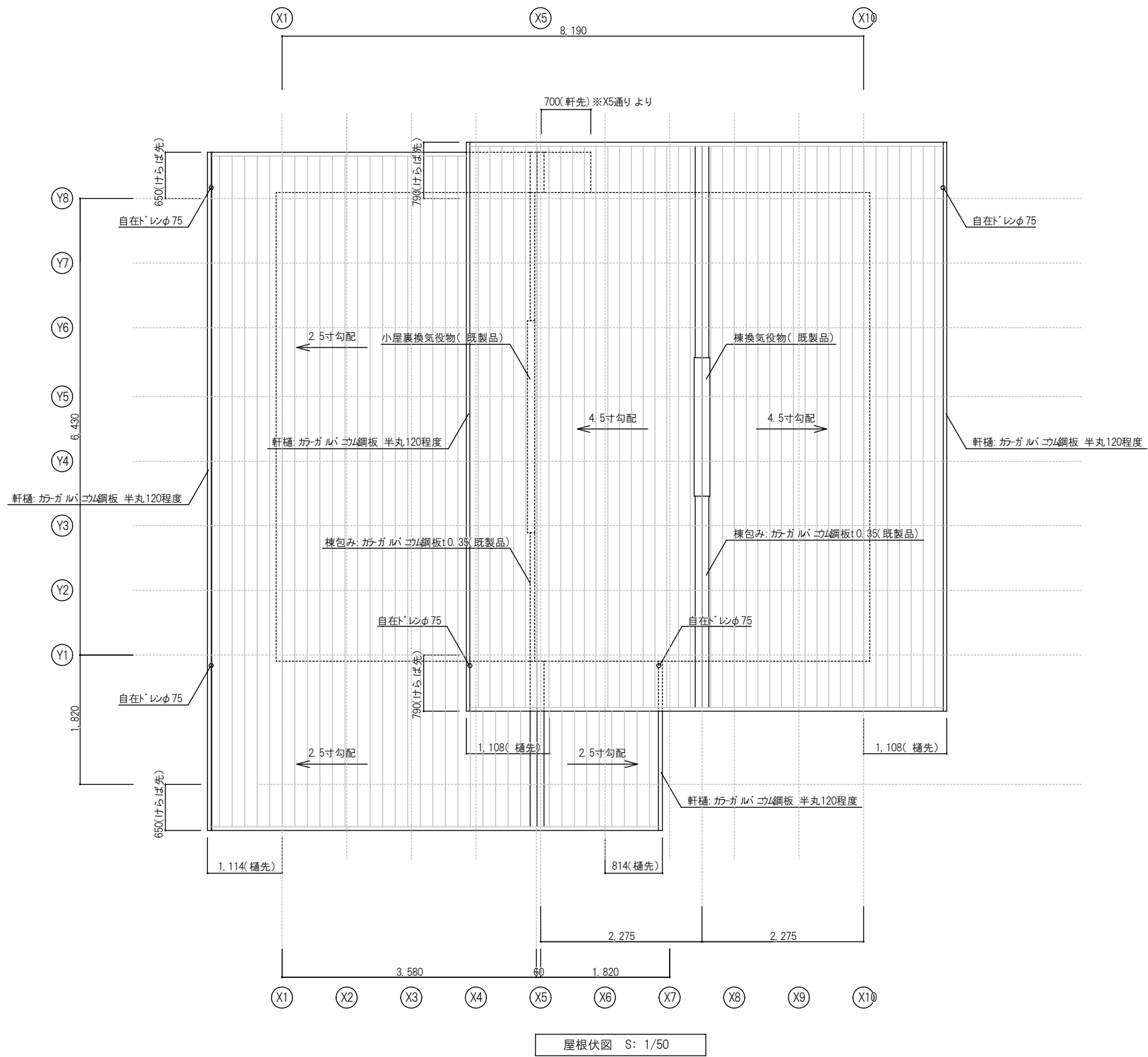
右玄関PLAN

外 部 仕 上 表									
屋 根 A (4.5寸勾配)	㊶	化粧スレート葺き(30分準耐火仕様) アスファルトシングル 940、構造用合板 t15*2二重張り (N75@150以下)	通 気	㊸	小屋裏換気役物(既製品) ※その他雨押え: カ-ガルバ-コ-ル鋼板t0.4(既製品)	物 干 場	㊹	床 モタル金鍍押え	
				㊺	棟換気役物(既製品) ※その他棟包み: カ-ガルバ-コ-ル鋼板t0.35(既製品)		2 階 手 摺	㊻	杉t45 巾120(防腐処理材) WP 塗
屋 根 B (2.5寸勾配)	㊷	化粧スレート葺き(30分準耐火仕様) アスファルトシングル 940、構造用合板 t15*2二重張り (N75@150以下)	桁 鼻	㊼	カ-Qt0.35~0.4	物 干 し 金 物	㊽	7尺自在物干金物※勾配天井仕様(既製品)	
			破 風 板	㊾	杉t35 巾180(防腐処理材) WP 塗				
軒 天	㊸	化粧野地板 杉t15厘い実加工、構造用合板 t15捨張	鏡 板	㊿	杉t15縦羽目 働き巾W05 目地押さえt18*30 WP 塗	備 考			
外 壁	㊻	窯業系サイディング 張り t16.0(45分準耐火仕様) 通気胴縁21*45@455、透湿防水シート 張り	堅 目 地	㊽	杉90*60(防腐処理材) WP 塗 *底目地 カ-Qt0.35~0.4	【 塗装色: 参考品番】 外部WP 塗: 黒(焼杉風) マネル値: 3.6RP 2.3 / 0.0 内部WP 塗: クリア マネル値:			
			根 廻 り	㊾	基礎エコ-ト打ち放し(補修共)				
樋	㊼	カ-ガルバ-コ-ル鋼板 半丸120程度・堅樋φ75	水 切	㊿	土台水切 カ-Qt0.35(既製品)				
小 庇 (D=240)	㊽	ガルバ-コ-ル鋼板t0.35~0.4平葺き 板庇: 杉(防腐処理材) t35 WP 塗	ポ ー チ	㊽	床 磁器質タイル50角 モタル下地				
			外 部 階 段・スロ-プ	㊾	床 モタル金鍍押え *外構図参照				



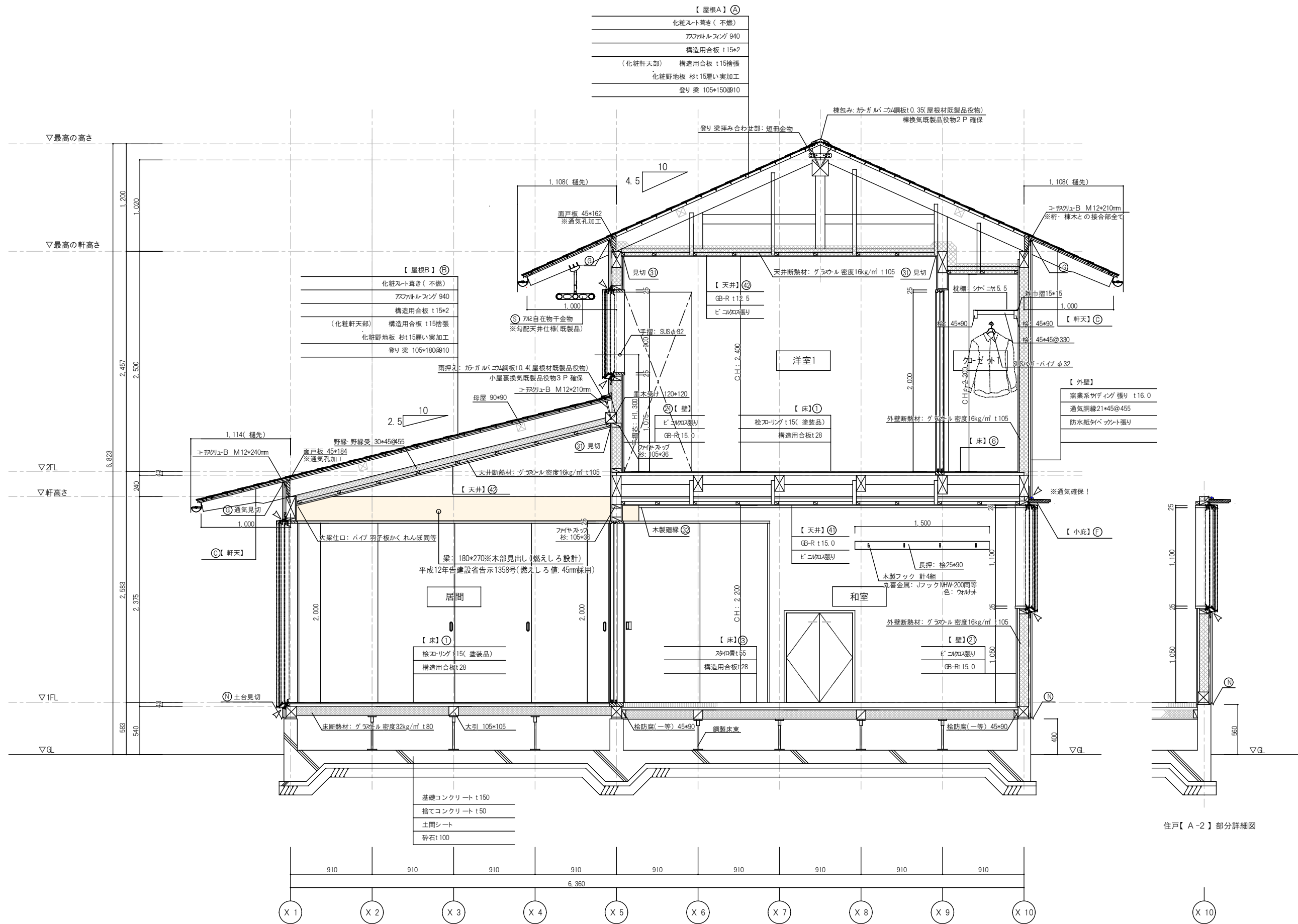
外 部 仕 上 表									
屋 根 A (4.5寸 勾配)	㊶	化粧スレート葺き (30分準耐火仕様) アスファルトルーフィング 940、構造用合板 t15*2二重張り (N75@150以下)	通 気	㊸	小屋裏換気役物 (既製品) ※その他雨押え: カガルバ コル鋼板t0.4(既製品)	物 干 場	㊹	床 モルタル金縷押え	
				㊺	棟換気役物 (既製品) ※その他棟包み: カガルバ コル鋼板t0.35(既製品)	2 階 手 摺	㊻	杉t45 巾120(防腐処理材) WP 塗	
屋 根 B (2.5寸 勾配)	㊷	化粧スレート葺き (30分準耐火仕様) アスファルトルーフィング 940、構造用合板 t15*2二重張り (N75@150以下)	桁 鼻	㊼	カ-Qt0.35~0.4	物 干 し 金 物	㊽	7※自在物干金物※勾配天井仕様 (既製品)	
			破 風 板	㊽	杉t35 巾180(防腐処理材) WP 塗				
軒 天	㊸	化粧野地板 杉t15雁い実加工、構造用合板 t15捨張	鏡 板	㊾	杉t15縦羽目 働き巾W05 目地押さえt18*30 WP 塗	備 考			
外 壁	㊹	窯業系サイディング 張り t16.0(45分準耐火仕様) 通気胴縁21*45@455、透湿防水シート 張り	堅 目 地	㊿	杉90*60(防腐処理材) WP 塗 *底目地 カ-Qt0.35~0.4	【 塗装色: 参考品番 】 外部WP 塗: 黒(焼杉風) マル値: 3.6RP 2.3 / 0.0 内部WP 塗: クリア マル値:			
			根 廻 り	㊿	基礎コンクリート打ち放し (補修共)				
樋	㊺	カガルバ コル鋼板 半丸120程度・ 樋樋φ75	水 切	㊿	土台水切 カ-Qt0.35(既製品)				
小 庇 (D=240)	㊻	ガルバ コル鋼板t0.35~0.4平葺き 板底: 杉(防腐処理材) t35 WP 塗	ポ ー チ	㊿	床 磁器質タイル50角 モルタル下地				
			外 部 階 段・スロ-プ	㊿	床 モルタル金縷押え *外構図参照				





右 玄関PLAN

2階建てタイプ		屋根伏図	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE R4 03 24	A - 17
		SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 A 工区		株式会社 上田 建築 事務所	CHECKED BY	DRAWN BY	
				SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史			SHEET NO.



住戸【A-2】部分詳細図

右玄関PLAN

2階建てタイプ

短計図-1

SCALE A2 1:30 A3 1:42

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号

株式会社 上田建築事務所

SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

DATE

DATE R4. 03.24

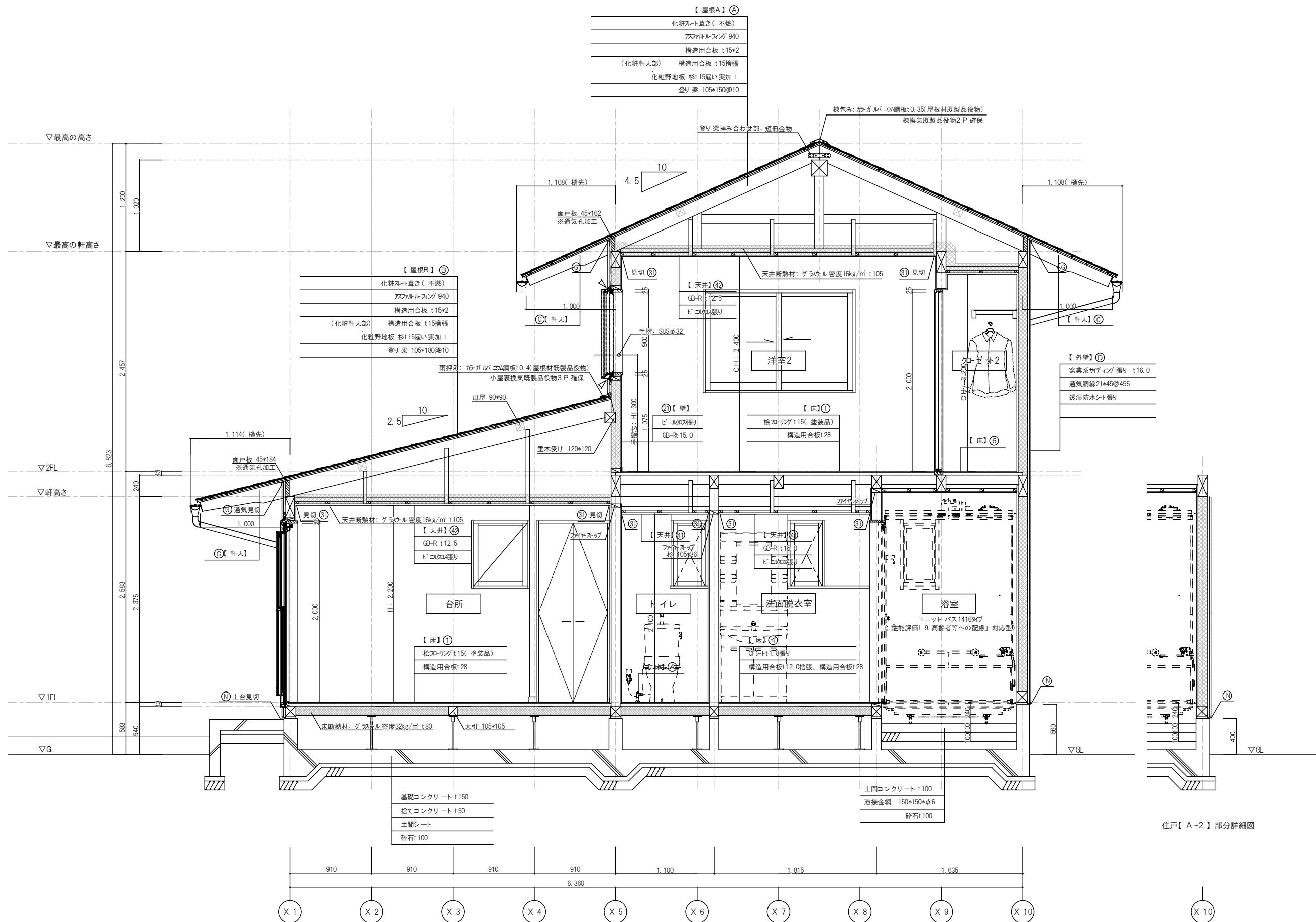
A-18

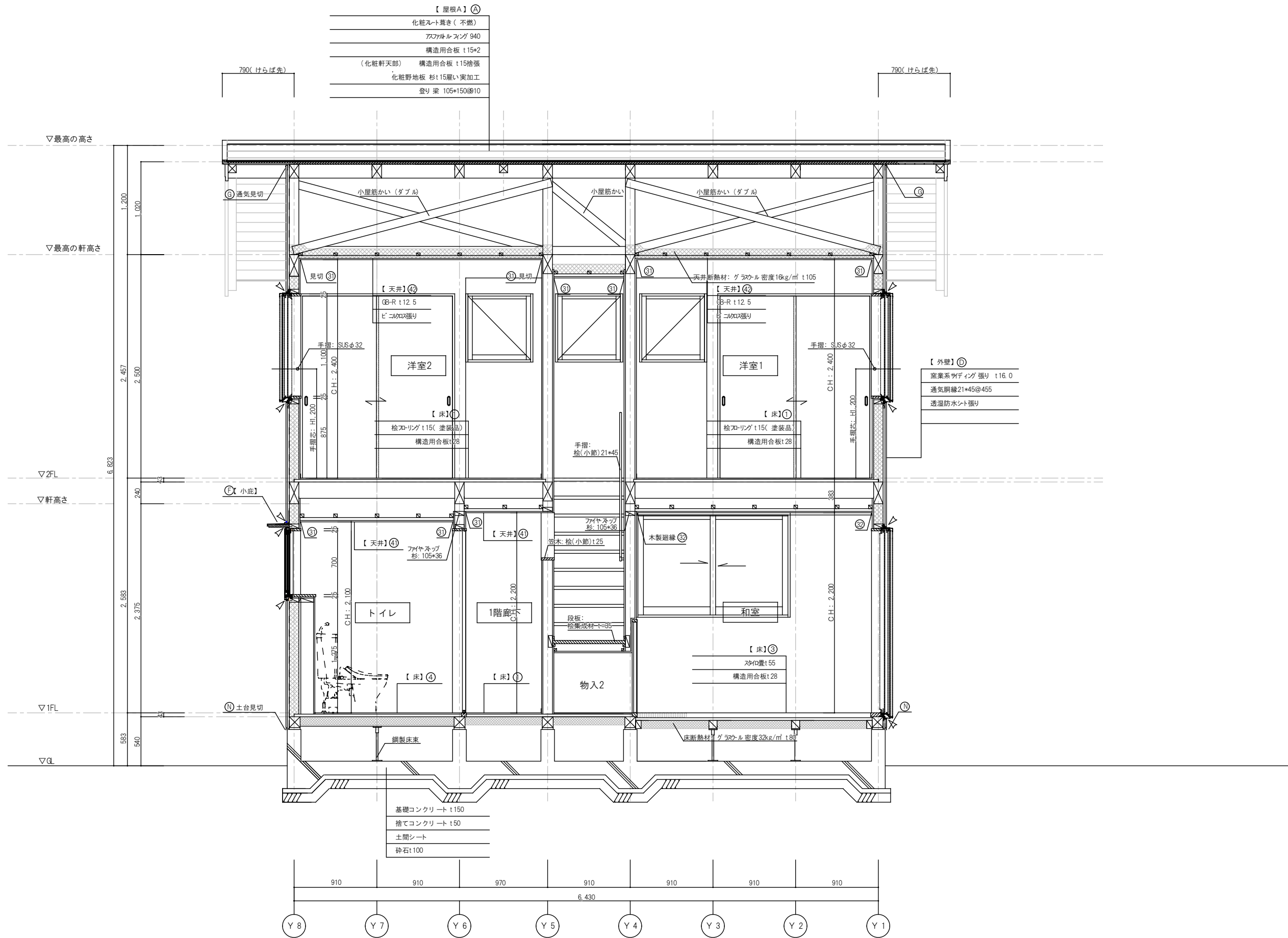
CHECKED BY

DRAWN BY

SHEET NO.

SHEET NO.





右玄関PLAN

2階建てタイプ

矩計図-4

SCALE A2 1:30 A3 1:42

一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号

DATE R4. 03.24

A-21

株式会社 上田建築事務所

CHECKED BY

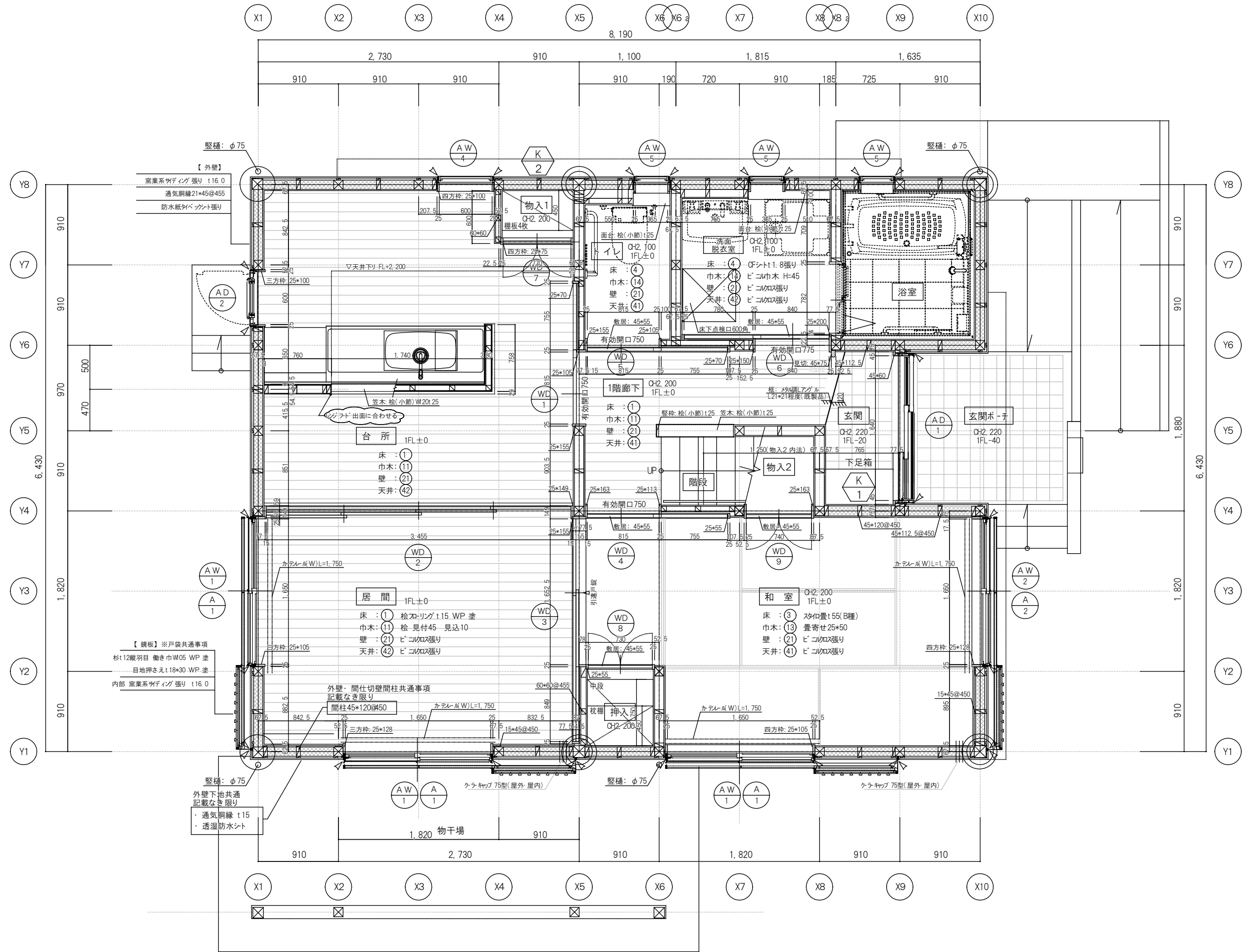
DRAWN BY

SHEET NO.

SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 A工区

SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史

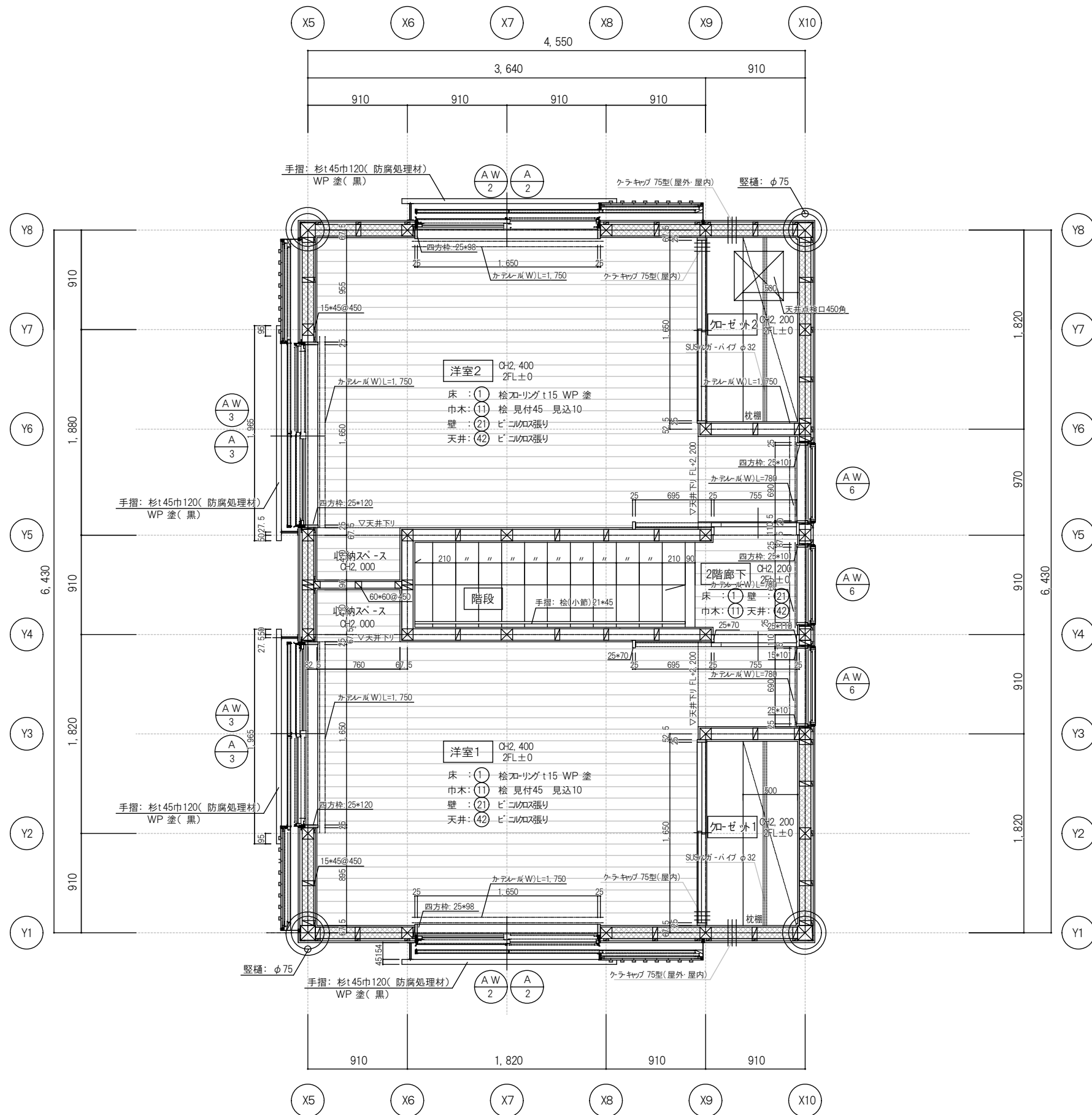
部 位		屋 根		軒 裏		外 壁			
認定番号又は告示		30分準耐火	告示第1358号 第5第1号-ロ (1)	45分準耐火	告示第1358号、 H16告示789号 準耐火構造45分 仕様 (ホ)	45分準耐火	QF045BE-9226		
形状・寸法									
部 位		階段 (木 造)							
認定番号又は告示		30分準耐火	告示第1358号 第6 号三号-ロ						
形状・寸法									
部 位		床 (1階除く)							
認定番号又は告示		45分準耐火	告示第1358号 第3第三号-イ (3) 、 (2)						
形状・寸法									
2階建てタイプ				準耐火リスト・詳細図		SCALE A2 1:10 A3 1:14	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所 SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	DATE . . . CHECKED BY DATE R4. 03. 22 DRAWN BY	A - 23 SHEET NO.



1階 平面詳細図 S: 1/30

右玄関PLAN

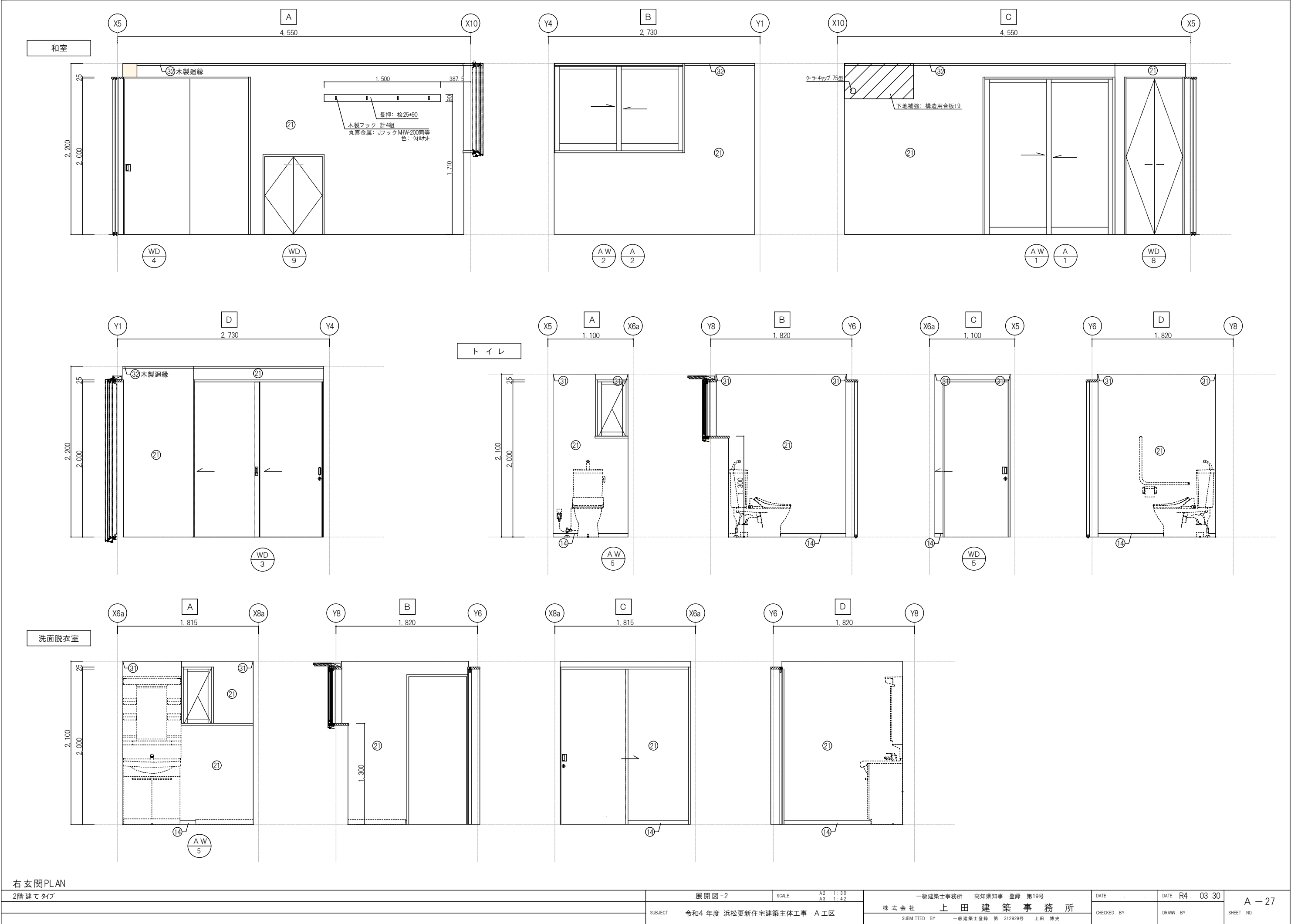
2階建てタイプ
注1) 内部造作材は特記なき場合は桧(無節)WP 塗とする



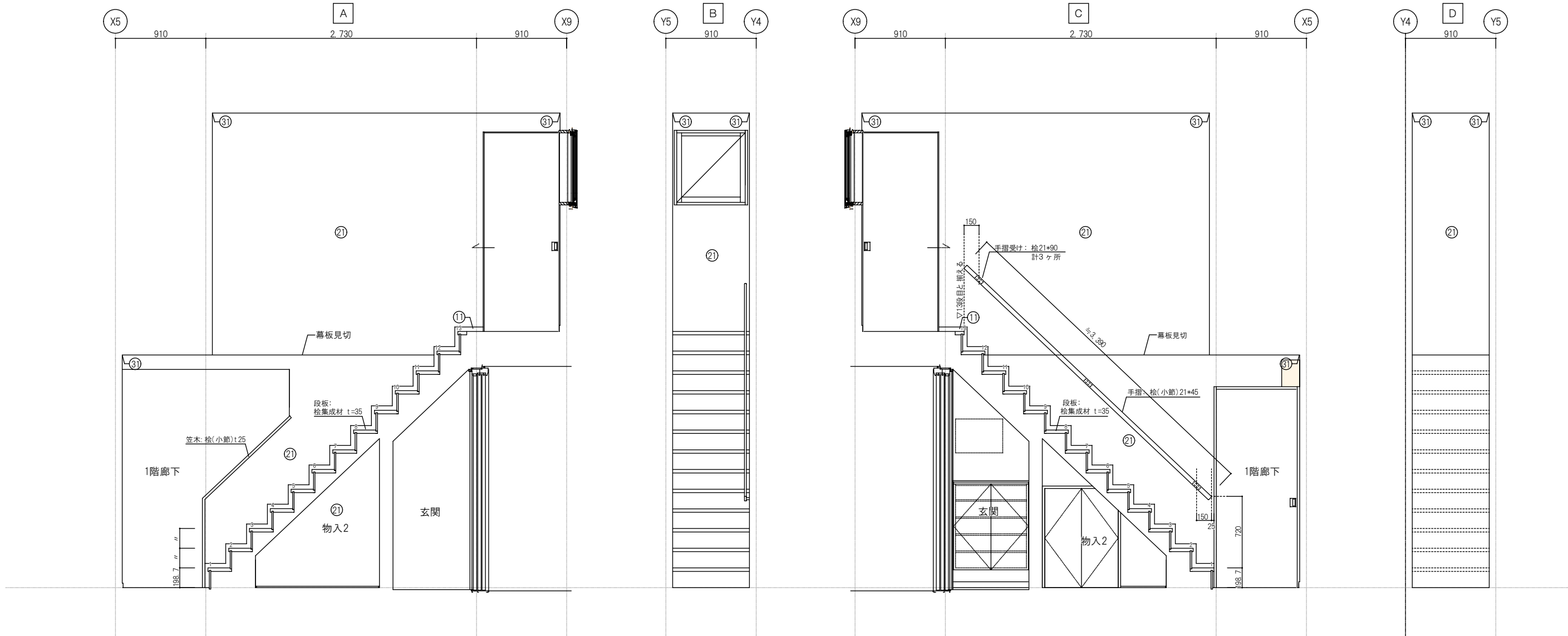
2階 平面詳細図 S: 1/30

右玄関PLAN

2階建てタイプ		平面詳細図-2		SCALE A2 1:30 A3 1:42		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号		DATE	DATE	A - 25
注1) 内部造作材は特記なき場合は桧(無節)WP 塗とする		SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 A 工区		株式会社 上田建築事務所		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史		CHECKED BY	DRAWN BY	

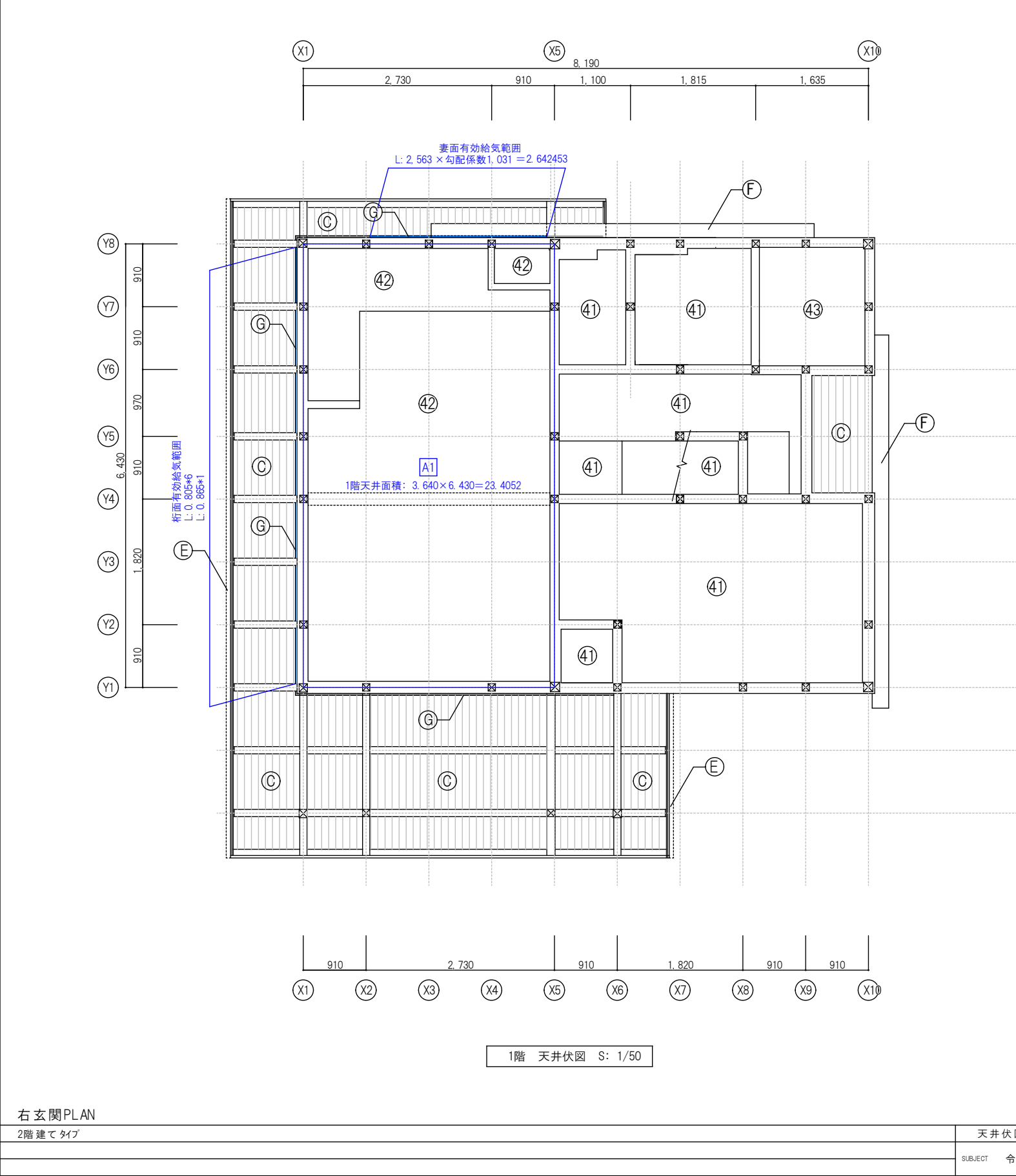


階段

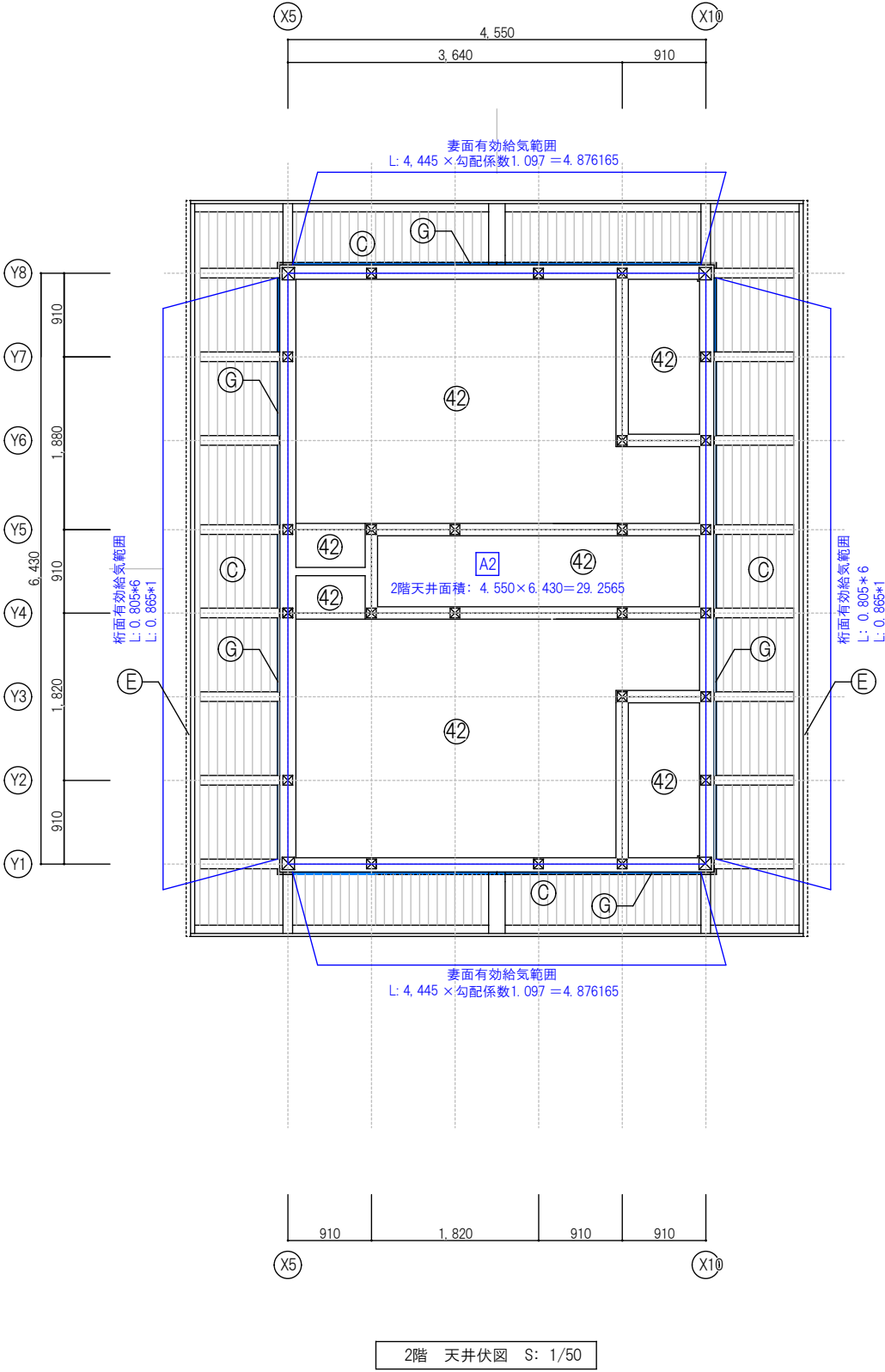


右玄関PLAN

小屋裏換気口判定表								
換気種類			面積 (cm2)	長さ (m)	単位開口面積 (cm2/m)	数量	有効面積 (cm2)	天井面積 (cm2)
A1	㊦	給気：壁通気見切り縁（桁面）	0.805		32.7	6	157.941	234052
	㊦	給気：壁通気見切り縁（桁面）	0.865		32.7	1	28.2855	
	㊦	給気：壁通気見切り縁（素面）	2.642453		32.7	1	86.4082131	
		排気：雨押え換気口	2.988		60.0	1	179.28	
A2	㊦	給気：壁通気見切り縁（桁面）	0.805		32.7	12	315.882	292565
	㊦	給気：壁通気見切り縁（桁面）	0.865		32.7	2	56.571	
	㊦	給気：壁通気見切り縁（素面）	4.87616		32.7	2	318.900864	
		排気：棟換気口	1.948		120.0	1	233.76	
							有効面積合計 /天井面積	判 定
							272.6347131/ 234052 =0.00116484675	≧0.001111=1/900 *OK
							179.28/234052 =0.000765	≧0.000625=1/1600 *OK
							691.353864/ 292565 =0.00236307782	≧0.001111=1/900 *OK
							233.76/292565 =0.000799	≧0.000625=1/1600 *OK



外 部 仕 上 表			内 部 仕 上 表		
軒 天	㊦	化粧野地板 杉t15雁い実加工・構造用合板 t15捨張	天 井	㊦1	ビニルクロス張り
樋	㊦	カーガルバコル鋼板 半丸105程度・堅樋φ75			下地: GB-R t15.0
小 庇 (D=240)	㊦	ガルバコル鋼板t0.35 平葺き(色: 銀黒つや消し)		㊦2	ビニルクロス張り
通 気	㊦	野地板 桧t35 WP 塗			下地: GB-R t12.5
	㊦	アヒ製通気見切り縁 21mm厚用(色: 黒)		㊦3	GB-R t15.0素地



建具工事特記仕様書				カープラン											
共通事項 1) 制作に当たっては、前もって、担当者で打合わせの上行う事。 2) ガラス押えシールは外部建具をポリサルファイド系、内部建具をシリコン系とする。 3) 金物は見本品提出の上決定する。 (程度については指定金物同等品以上とする。) 4) 網戸は特記なき限りSUS網張りとする。 5) アルミサッシと額縁等のチリ寸法については打ち合せを行う事。 6) 表面仕上材はF→★★★★認定品又は同等品を使用する事。 7) 表面仕上材の塗装はF→★★★★認定品を使用する事。 8) 上記以外の表面仕上材も含む。 (桧材等無垢材は高知県内産を優先して使用する事。合法木材にて) 木製建具 1) 木材の等級・含水率及び樹種 イ) 雨がかり部分の建具の框は柾目を使用すること。 ロ) 建具が雨がかりでなければ、JIS 12.1.7 による集成材を使用することができる。 ハ) 等級は一般共通事項16.7.1の表のC種とする。 但し、見付面が50mmを越える材では、建具材の日本農林規格第3条の節については、生節である限り見付面の1／3以下のもので互いに150mm以上隔ったものについてはその材全面についてないものと見なす。 2) 木製引違い扉の敷居溝には堅木(サクラ材厚6mm)を埋め込む事。															
符号	場所	数量	AD 1 玄関	1	AD 2 台所	1	AW 1 A 1 居間・和室	3	AW 2 A 2 和室・洋室1・洋室2	3	AW 3 A 3 洋室1・洋室2	2	AW 4 台所	1	
				熱貫流率: 2.66W/(㎡・K)		熱貫流率: 2.91W/(㎡・K)		(数量2: 換気框付) 熱貫流率: 2.17W/(㎡・K)		熱貫流率: 2.17W/(㎡・K)		(換気框付) 熱貫流率: 2.17W/(㎡・K)		熱貫流率: 2.00W/(㎡・K)	
呼称	16522		06020		16520		16511		16509		06007				
塗装															
硝子	型板複層ガラス LowE3+A12+FL4		型板複層ガラス LowE3+A12+FL4		透明複層ガラス LowE3+A16+FL3		透明複層ガラス LowE3+A16+FL3		透明複層ガラス LowE3+A16+FL3		型板複層ガラス LowE3+A16+FL3				
構造形式	アルミ製 玄関引違い戸(2枚建)		アルミ樹脂複合サッシ 採風勝手口ドア		アルミ樹脂複合サッシ 雨戸付引違い窓(鏡板無戸袋)		アルミ樹脂複合サッシ 雨戸付引違い窓(鏡板無戸袋)		アルミ樹脂複合サッシ 雨戸付引違い窓(鏡板無戸袋)		アルミ樹脂複合サッシ 出し窓				
金物	付属金物一式・バーハドル(内外共)・アクション網戸付		付属金物一式・横格子 シリコン・サムタン錠 網戸付		付属金物一式 換気框(2か所)		付属金物一式		付属金物一式 換気框		付属金物一式				
右玄関PLAN				建具表-1		SCALE A2 1:50 A3 1:71		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号		DATE	DATE R4. 03.24	A-31			
				SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 A工区		株式会社 上田建築事務所		SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史		CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.			

符号	場所	数量	AW5 トイレ・洗面脱衣室・浴室	3	AW6 2階廊下・洋室1・洋室2	3												
			405 770 熱貫流率: 2.00W/(㎡・K)		730 770 熱貫流率: 2.00W/(㎡・K)													
呼称			03607		06907													
塗装																		
硝子			型板複層ガラス LowE3+A16+FL3		透明複層ガラス LowE3+A16+FL3													
構造形式			7mm樹脂複合サッシ 縦すべり出し窓		7mm樹脂複合サッシ 沁り出し窓													
金物			付属金物一式		付属金物一式													
符号	場所	数量	WD1 台所⇄1階廊下	1	WD2 台所⇄居間	1	WD3 居間⇄和室	1	WD4 台所⇄1階廊下	1	WD5 1階廊下⇄トイレ	1						
			25 W=815 H=2,000 900 吊車 掘込引手 側勝手 15 36 側勝手 15 36 ※収納時、引き残し 65		W=882.5 25 H=2,000 900 掘込引手 (台所側3か所、居間側3か所)		25 1,652.5 85 W=871.3 H=2,000 900 引違戸錠 (和室側1か所) 掘込引手 (居間側2か所、和室側1か所) サムタン錠錠		W=815 25 H=2,000 900 吊車 掘込引手 側勝手 15 36 側勝手 15 36 ※収納時、引き残し 65		W=815 25 H=2,000 900 吊車 掘込引手 側勝手 15 36 側勝手 15 36 ※収納時、引き残し 65							
見込			36		30		30		36		36							
塗装																		
構造形式			木製フラッシュ戸 片引き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0		木製フラッシュ戸 4枚引違い戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0		木製フラッシュ戸 2枚引込み戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0		木製フラッシュ戸 片引き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0		木製フラッシュ戸 片引き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0							
金物			掘込引手(参考: KAWAJUN PC-209) ハガーレール(参考: ATOM AFD-130) 上部吊車(参考: ATOM AFD-770-B) 上部スツパ-(参考: ATOM CD-1600) 下部ガイド(参考: ATOM SD-400)		掘込引手(参考: KAWAJUN PK-900) 埋込Vレール: 9mm 上部スツパ-(参考: 丸喜金属スパー・ブリー・スツパ-S-204) 戸車		引違戸錠: 掘込角引手付捻締(参考: BEST#500N-105) 掘込引手(参考: KAWAJUN PK-900) サムタン錠錠(参考: KAWAJUN KM-19) 埋込Vレール: 9mm 上部スツパ-(参考: 丸喜金属スパー・ブリー・スツパ-S-204) 戸車		掘込引手(参考: KAWAJUN PC-209) ハガーレール(参考: ATOM AFD-130) 上部吊車(参考: ATOM AFD-770-B) 上部スツパ-(参考: ATOM CD-1600) 下部ガイド(参考: ATOM SD-400)		掘込引手(参考: KAWAJUN PC-209) ハガーレール(参考: ATOM AFD-130) 上部吊車(参考: ATOM AFD-770-B) 上部スツパ-(参考: ATOM CD-1600) 下部ガイド(参考: ATOM SD-400) サムタン錠錠(参考: KAWAJUN KM-19 表示錠) 明かり窓(参考: BI DOOR VP-15)							
符号	場所	数量	WD6 1階廊下⇄洗面脱衣室	1	WD7 物入1	1	WD8 押入	1	WD9 物入2	1	WD10 2階廊下⇄洋室1・2	2	WD11 クローゼット1・2	2				
			25 W=840 H=2,000 900 吊車 掘込引手 側勝手 15 36 側勝手 15 36 ※収納時、引き残し 65		W=770 H=2,000 900 3 30		W=730 H=2,000 900 3 30		W=740 H=1,000 900 3 30		W=755 25 H=2,000 900 吊車 掘込引手 側勝手 15 36 側勝手 15 36 ※収納時、引き残し 65		1,650 W=812.5 25 H=2,000 900					
見込			36		30		30		36		36							
塗装																		
構造形式			木製フラッシュ戸 片引き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0		木製フラッシュ戸 両開き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り		木製フラッシュ戸 両開き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り		木製フラッシュ戸 両開き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り		木製フラッシュ戸 片引き戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0		木製フラッシュ戸 2枚引違戸 ポリ合板(白)小口: 大手貼り t=6.0					
金物			掘込引手(参考: KAWAJUN PC-209) ハガーレール(参考: ATOM AFD-130) 上部吊車(参考: ATOM AFD-770-B) 上部スツパ-(参考: ATOM CD-1600) 下部ガイド(参考: ATOM SD-400) サムタン錠錠(参考: KAWAJUN KM-19)		木製把手(参考: 丸喜金属 タモ丸棒ハットルW-327サイズ 100) 吊元: スライド丁番		木製把手(参考: 丸喜金属 タモ丸棒ハットルW-327サイズ 100) 吊元: スライド丁番		木製把手(参考: 丸喜金属 タモ丸棒ハットルW-327サイズ 100) 吊元: スライド丁番		掘込引手(参考: KAWAJUN PC-209) ハガーレール(参考: ATOM AFD-130) 上部吊車(参考: ATOM AFD-770-B) 上部スツパ-(参考: ATOM CD-1600) 下部ガイド(参考: ATOM SD-400)		掘込引手(参考: KAWAJUN PK-900) 埋込Vレール: 9mm 上部スツパ-(参考: 丸喜金属スパー・ブリー・スツパ-S-204) 戸車					
右玄関PLAN							建具表-2		SCALE A2 1:30 A3 1:42		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号			DATE - -	DATE R4. 03 24	A - 32		
							SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 A工区				株式会社 上田建築事務所			CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.		
											SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史							

符号 場所 数量			K 1 下足箱	1								
			765 5(フィタ) 755 5(フィタ) 扉: 合板下地の上、ポリ 合板 ▽玄関土間 正面図 400 壁面補強(木工事) アルミダボレル 900 200 300 ▽玄関土間 側面図 手掛り: テーパー加工 20 15 45 20 20 2 内部: ポリ 合板 天板: 桧集成材t15 OP塗装 断面詳細図 S.1/3 765 400 天板: 桧集成材t15 OP塗装 平面図									
金物			吊元: スライド 丁番 可動棚: アルミダボレル									
符号 場所 数量			K 2 可動棚	1								
			450 30 30 30 30 100 ▽1 FL 側面図 805 450 棚板: ポリ 合板t30 平面図									
金物			棚板材質: ポリフレッシュ合板t=4.0 棚柱: L1,820×4本 棚受共 ACE棚柱SP-1820WT同等									
右玄関PLAN			家具図		SCALE	A2 1:10 A3 1:14	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号		DATE	DATE	A－33	
			SUBJECT		令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 A 工区		株式会社 上田建築事務所		CHECKED BY	DRAWN BY		SHEET NO.
							SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史					

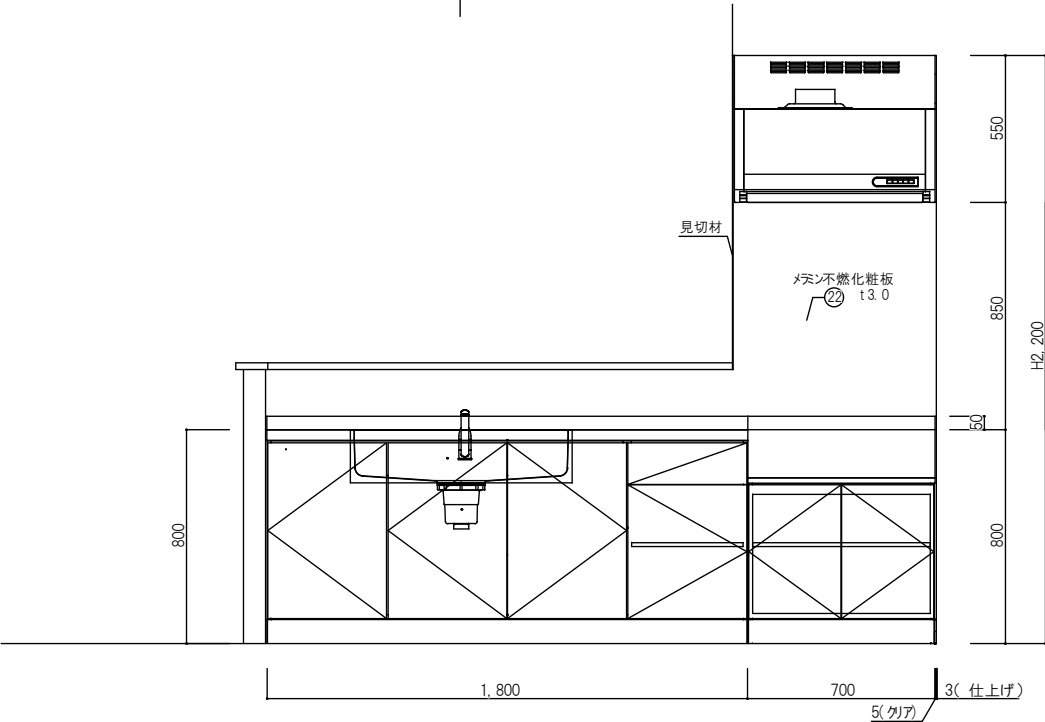
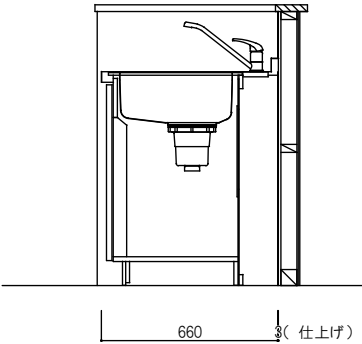
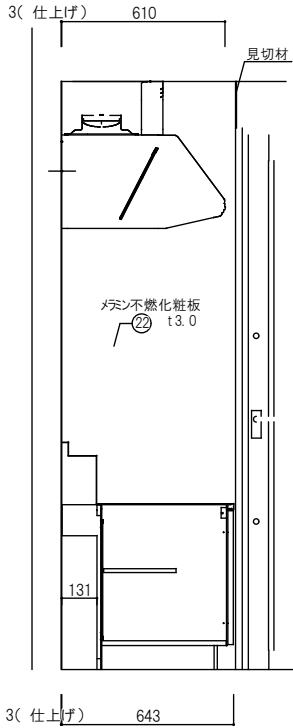
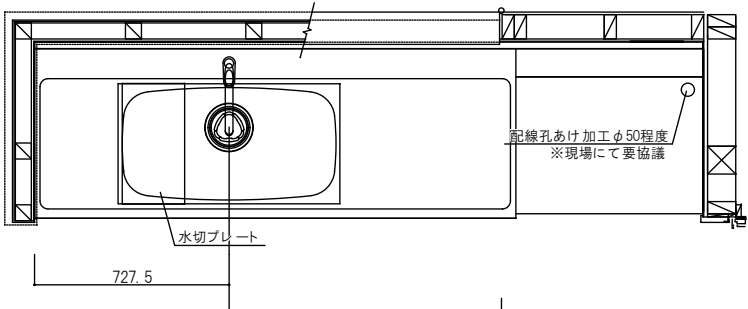
◀M型-BL▶ 【 参考】

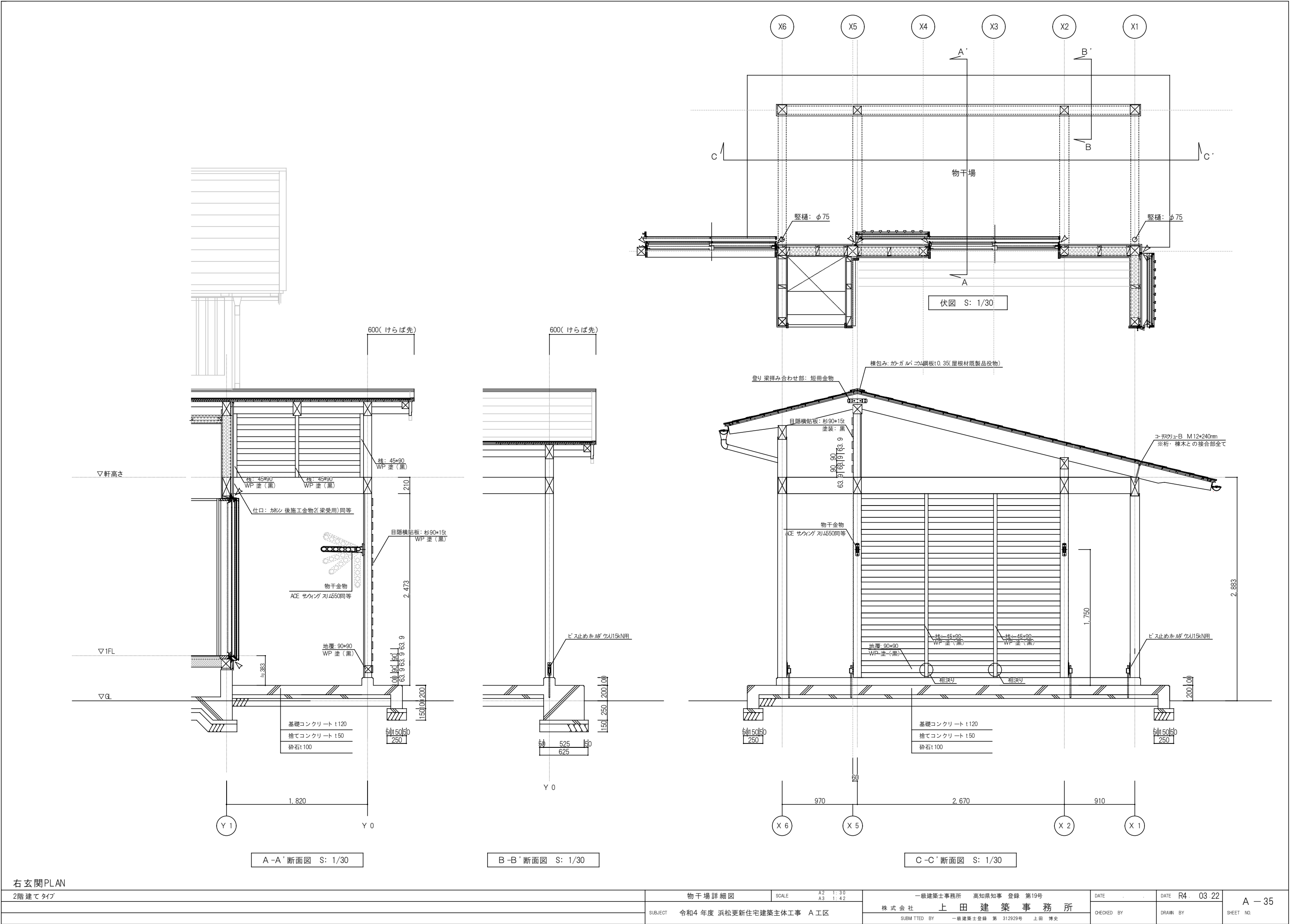
品名	仕様 F ☆☆☆☆ 仕様	
天板	材質	SUS430
ワークトップ	シンク種類	Yシンク SUS443J1
下台	扉	特殊化粧シート 貼パーティクルボード 扉
	丁番	スライド 丁番(標準品)
	本体	化粧合板、化粧ボード
	巾木	化粧シート 巻材
	底板	化粧板(本体同色)
	部品	1 段引出(木製)
	包丁差し	D X N 包丁差し
	側面板	SUS430
レンジフード	機種	VUS-BL
	風量	標準YU+FF80YU+FF72YU+FF80YU+FF9F
	排気仕様	排気風圧
	プラグ形状	2極接地型
加熱機器	加熱機器	(別途)
水栓	水栓種類	K X S 8 7 1 J -1 -T (逆止弁は付属していません)
シーリ ング		(建築工事)
仕様確認項目	扉の色	未定
	扉種類	M型扉
	本体の色	ホワイト T W色
	本体の前木口色	※見え掛かり 部本体同色
	巾木の色	ダークブラウン(N o . 5 3 色)
	引手	GN 引手
	フード 前面パネルの色	未定
シンク小物		水切り プレート SF

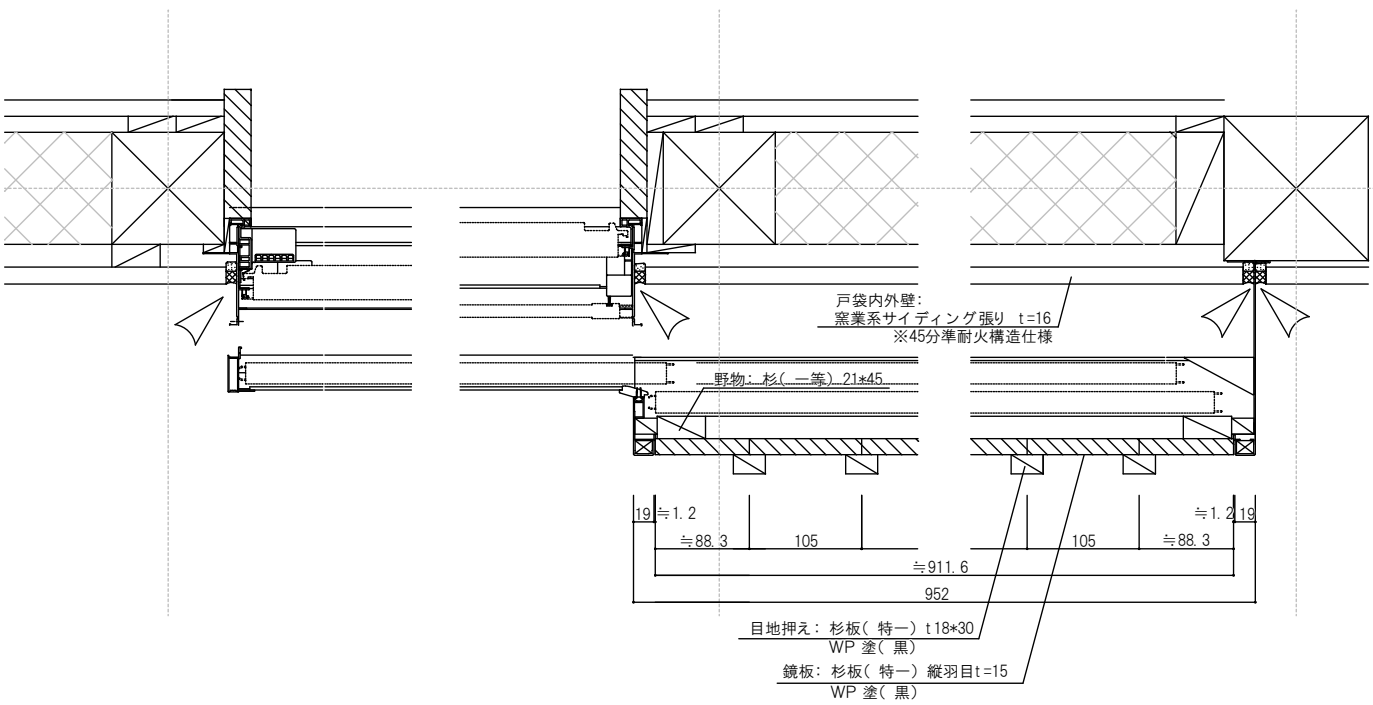
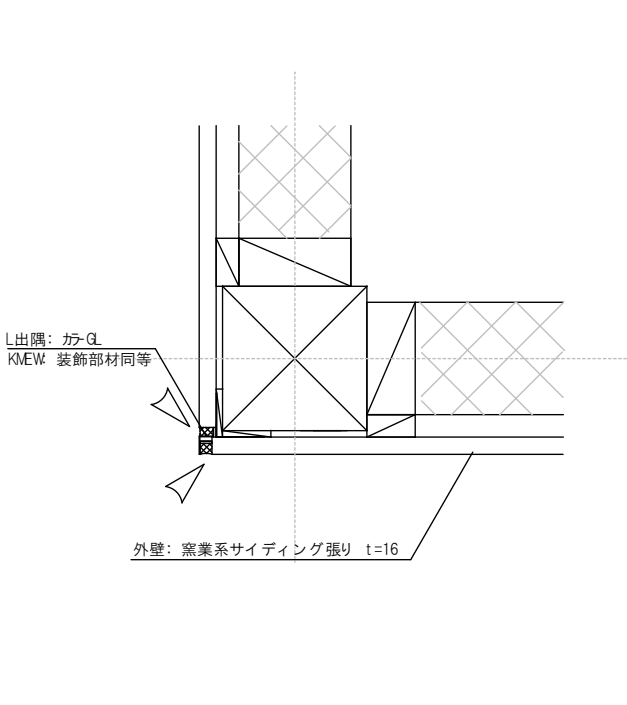
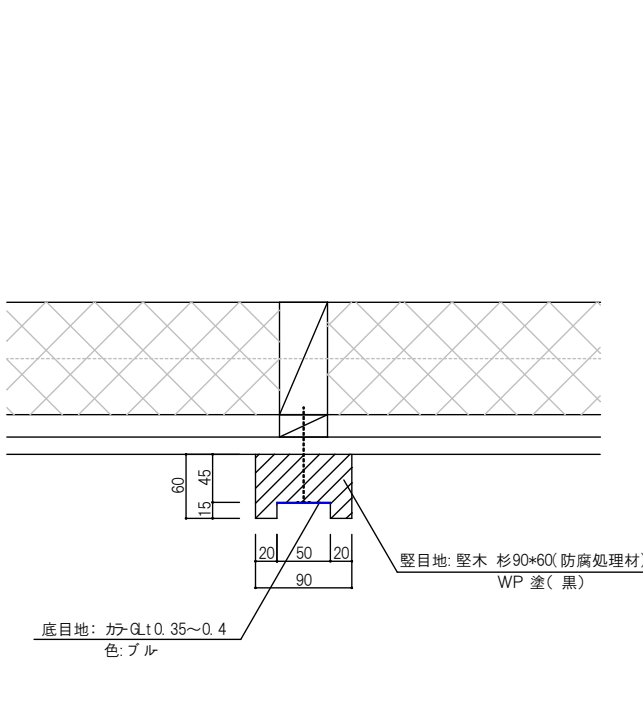
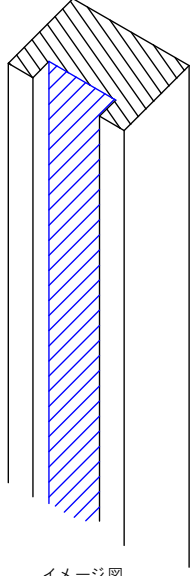
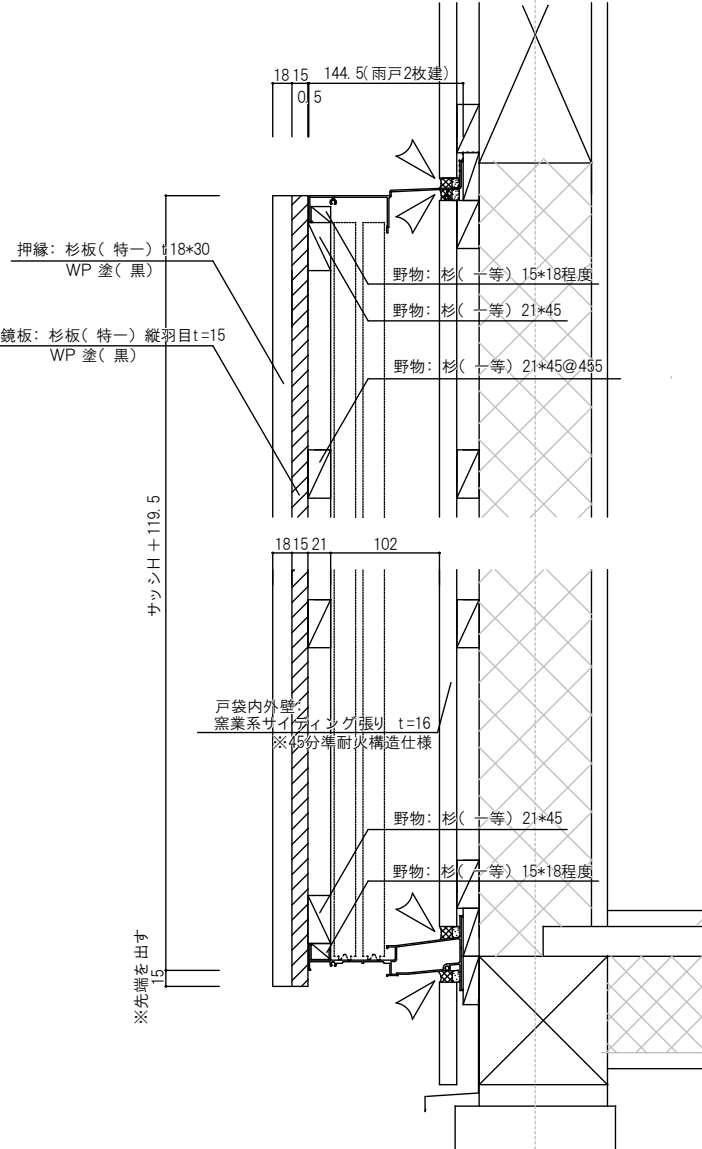
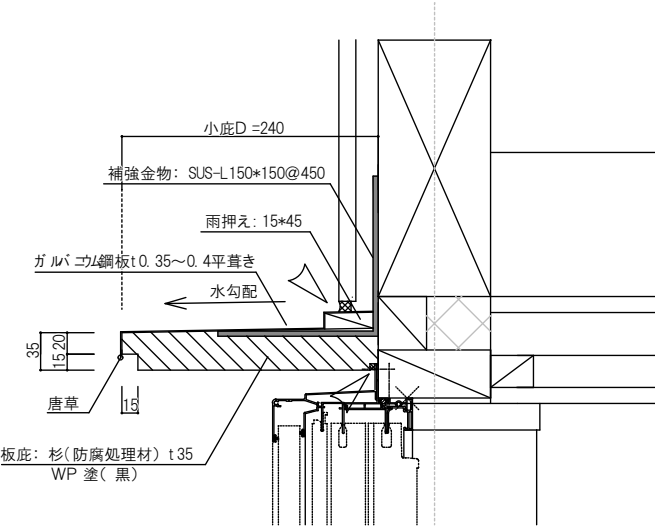
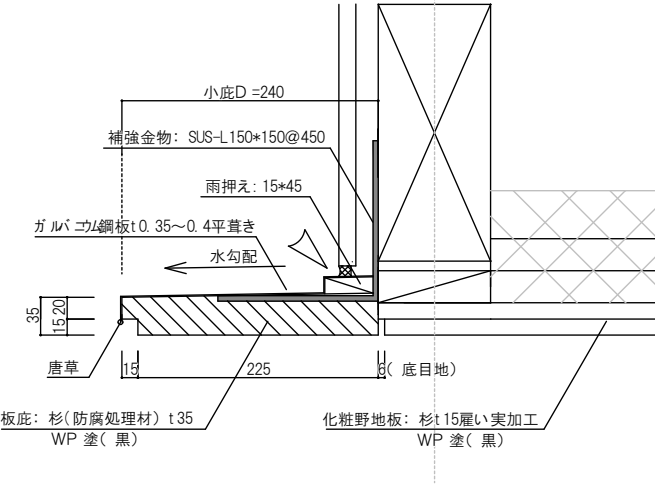
設備工事	給水・給湯の配管工事及び水栓金具との接続工事(止水栓別途)
	排水配管及び排水ト ラップとの接続工事
	メーカー支給の塩ビ 排水蓋取付工事
	点検作業後のキッチンキャビネット 点検口蓋取付(復旧) 工事
	ガス配管及びガス管用コック取付工事(コックは付属していません)
	ダクト 工事及びレンジフード 接続工事(最終エルボはフード 施工後に取り 付けて下さい)
	最終まで固定されますとアタッチメント が取付けできません
建築工事	壁仕上げ工事
	コーキング工事
	コンロ 台天板孔あけ加工工事
	レンジフード 取付用下地の造作取付工事
	建築との取り 合い工事
電気工事	レンジフード 用電源及びコンセント 取付工事

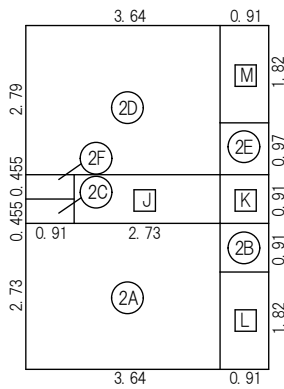
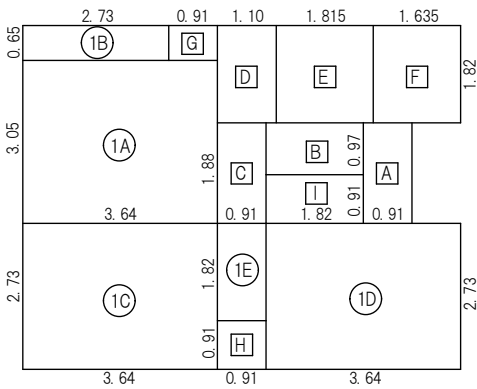
コンセント (電気工事)

レンジフード	㊶ 2 極接地型コンセント
--------	---------------





アルミサッシ 雨戸戸袋詳細図		S=1/5	外壁出隅詳細図		S=1/5	縦目地詳細図		S=1/5	
 戸袋内外壁: 窯業系サイディング張り t=16 ※45分準耐火構造仕様 野物: 杉(一等) 21*45 ≒1.2 ≒88.3 105 ≒911.6 105 ≒88.3 952 目地押え: 杉板(特一) t18*30 WP 塗(黒) 鏡板: 杉板(特一) 縦羽目t=15 WP 塗(黒)			 L出隅: カ-GL KNEW 装飾部材同等 外壁: 窯業系サイディング張り t=16		 底目地: カ-GL t0.35~0.4 色: ブル 縦目地: 堅木 杉90*60(防腐処理材) WP 塗(黒)				
アルミサッシ 雨戸戸袋断面詳細図			S=1/5	小庇断面詳細図		S=1/5	 イメージ図		
 押縁: 杉板(特一) t18*30 WP 塗(黒) 鏡板: 杉板(特一) 縦羽目t=15 WP 塗(黒) 野物: 杉(一等) 15*18程度 野物: 杉(一等) 21*45 野物: 杉(一等) 21*45@455 1815 144.5(雨戸2枚建) 0.5 サッシH + 119.5 ※先端を出す 15 戸袋内外壁: 窯業系サイディング張り t=16 ※45分準耐火構造仕様 野物: 杉(一等) 21*45 野物: 杉(一等) 15*18程度			 小庇D=240 補強金物: SUS-L150*150@450 雨押え: 15*45 ガルバリウム鋼板 t0.35~0.4平置き 水勾配 35 15 20 15 唐草 板庇: 杉(防腐処理材) t35 WP 塗(黒)		 小庇D=240 補強金物: SUS-L150*150@450 雨押え: 15*45 ガルバリウム鋼板 t0.35~0.4平置き 水勾配 35 15 20 15 唐草 板庇: 杉(防腐処理材) t35 WP 塗(黒) 化粧野地板: 杉 t15 覆い実加工 WP 塗(黒) 225 (底目地)				
2階建てタイプ			部分詳細図		SCALE A2 1:5 A3 1:7	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所 SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史		DATE CHECKED BY DRAWN BY	A-36 SHEET NO.



1 階				2 階				
室 名	居 室	記 号	計 算 式	室 名	居 室	記 号	計 算 式	
台所	○	(1A) (1B) 計	3.05×3.64=11.102 0.65×2.73=1.7745 =12.8765…①	洋室1	○	(2A) (2B) (2C) 計	2.73×3.64=9.9372 0.91×0.91=0.8281 0.455×0.91=0.41405 =11.17935…④	
居間	○	(1C)	2.73×3.64=9.9372…②					
和室 (特定寝室)	○	(1D) (1E) 計	2.73×3.64=9.9372 1.82×0.91=1.6562 =11.5934…③	洋室2	○	(2D) (2E) (2F) 計	2.79×3.64=10.1556 0.97×0.91=0.8827 0.455×0.91=0.41405 =11.45235…⑤	
玄関・廊下		A	1.88×0.91=1.7108			階段	J	0.91×2.73=2.4843
		B	0.97×1.82=1.7654			廊下	K	0.91×0.91=0.8281
		C	1.88×0.91=1.7108 =5.187			加へつ1	L	1.82×0.91=1.6562
トイ		D	1.82×1.10=2.002			加へつ2	M	1.82×0.91=1.6562
洗面・脱衣室		E	1.82×1.815=3.3033					
浴室	F	1.82×1.635=2.9757						
物入1	G	0.65×0.91=0.5915						
押入	H	0.91×0.91=0.8281						
階段	I	0.91×1.82=1.6562						
1階床面積			50.9509㎡ 50.95 ㎡	2階床面積			29.2565㎡ 29.25 ㎡	
居室床面積 ①+②+③+④+⑤			57.0388㎡ 57.03 ㎡	延床面積			80.20 ㎡	

1階

室名	床面積		必要面積 (㎡)	有効面積 (㎡)	判定
台所・居間	22.81㎡	採光	22.81×1/7=3.25	(2.03×0.64)+(0.77×0.64) +(2.03×1.69)×2 =8.65	OK
		換気	22.81×1/20=1.14	(2.03×0.64)×1/1 +(0.77×0.64)×1/1 [(2.03×1.69)×2]×1/2 =5.22	OK
和室	11.59㎡	採光	11.59×1/7=1.65	(2.03×1.69)+(1.10×1.69) =5.28	OK
		換気	11.59×1/20=0.57	(2.03×1.69)×1/2 +(1.10×1.69)×1/2 =2.64	OK

2階

室名	床面積		必要面積 (㎡)	有効面積 (㎡)	判定
洋室1	10.76㎡	採光	10.76×1/7=1.53	1.10×1.69+0.90×1.69 +0.77×0.73 =3.94	OK
		換気	10.76×1/20=0.53	1.10×1.69×1/2 +0.90×1.69×1/2 +0.77×0.73×1/1=2.25	OK
洋室2	11.03㎡	採光	11.03×1/7=1.57	1.10×1.69 +0.90×1.69 +0.77×0.73=3.94	OK
		換気	11.03×1/20=0.55	1.10×1.69×1/2 +0.90×1.69×1/2 +0.77×0.73×1/1=2.25	OK

採光計算一覧表

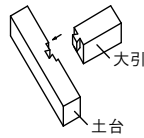
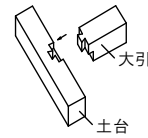
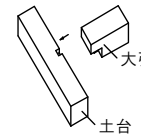
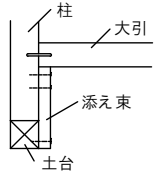
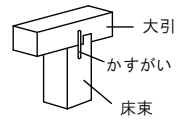
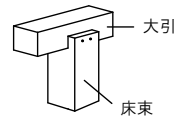
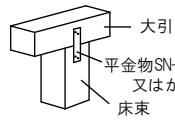
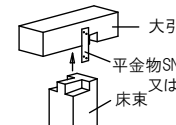
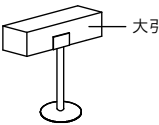
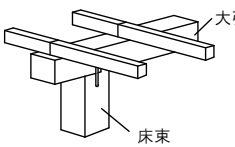
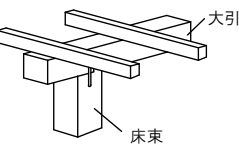
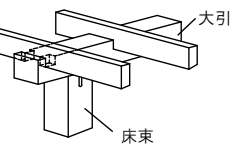
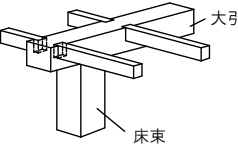
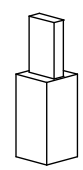
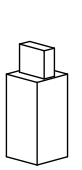
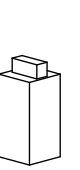
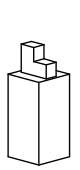
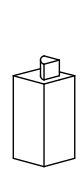
用途地域	α	β	D(m)
商業地域・用途無指定区域	10	1	

A-1

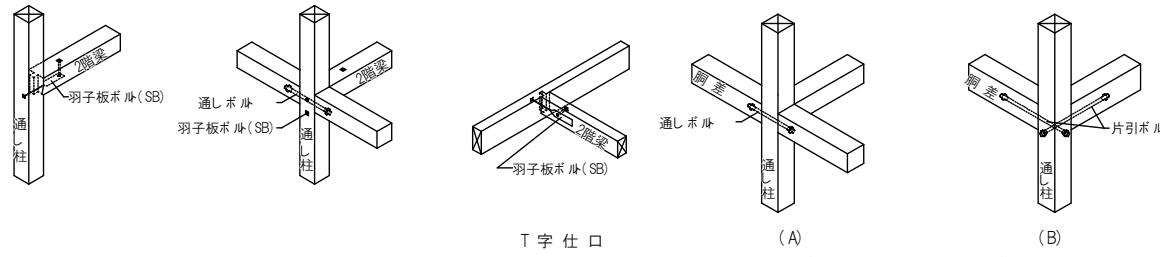
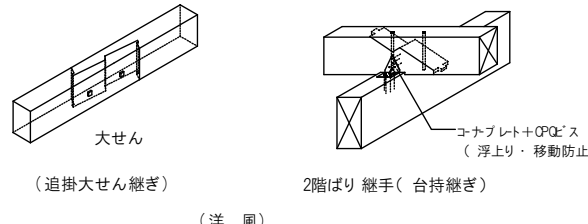
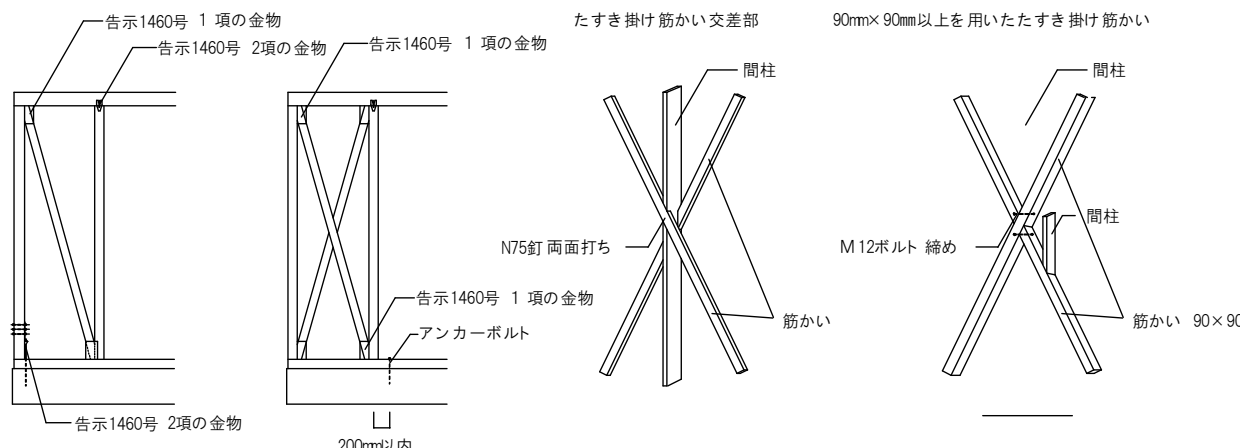
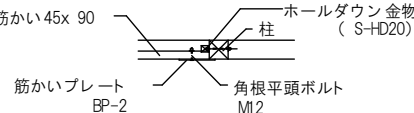
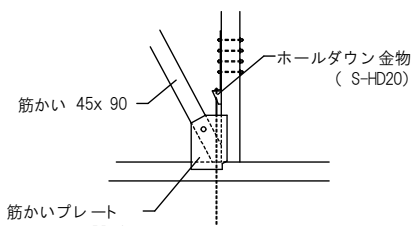
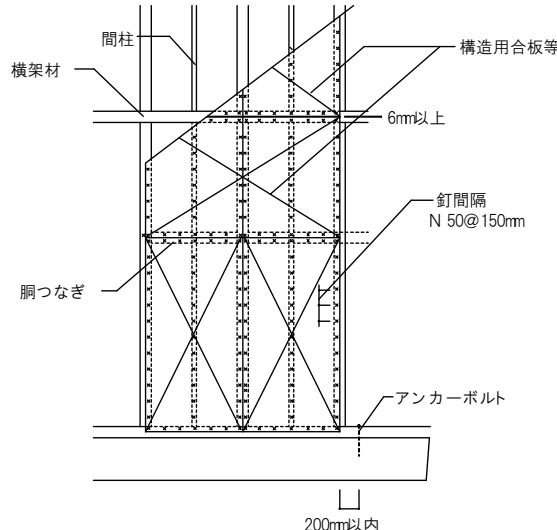
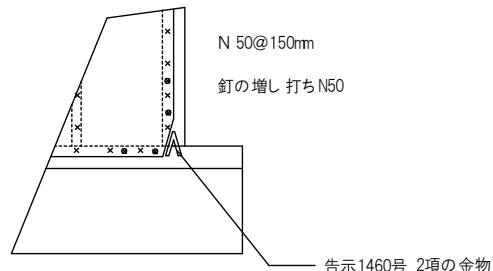
室名	床面積 (㎡) ①	割合 ②	建具					遮蔽物		垂直距離 h (m) ⑤-④	水平距離 d (m)	道路 公園等 緩和幅 (m)	採光補正係数 A=d/h×α-β				採光有効 面積 (㎡) ③×A	採光有効 面積 (㎡) 合計		必要面積 (㎡) ①×②	判定
			記号	W(m)	H(m)	開口面積 (㎡) ③	中心高 (m) ④ (GL+)	名称	高さ (m) ⑤ (GL+)				計算値	縁側	天窓	採用値 A					
台所・居間	22.81㎡	1/7	AD2	0.64	2.03	1.2992	1.598	1階屋根	2.763	1.165	0.692	—	5.345922	—	—	3.00	3.89	28.36	>	3.25	OK
			AW4	0.64	0.77	1.2992	2.243	1階屋根	3.470	1.227	1.550	—	11.369193	—	—	3.00	3.89				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	2.763	1.165	0.692	—	5.345922	—	—	3.00	10.29				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	3.338	1.740	5.375	—	27.801724	—	—	3.00	10.29				
和室	11.59㎡	1/7	AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	6.442	4.844	2.810	—	5.220891	—	—	3.00	10.29	15.86	>	1.65	OK
			AW2	1.69	1.10	1.859	2.183	2階屋根	5.282	3.099	3.956	—	11.488867	—	—	3.00	5.57				
洋室1	10.76㎡	1/7	AW2	1.69	1.10	1.859	4.616	2階屋根	6.442	1.826	4.760	—	23.461117	—	—	3.00	5.57	11.81	>	1.53	OK
			AW3	1.69	0.90	1.521	4.716	2階屋根	5.282	0.566	4.332	—	68.883392	—	—	3.00	4.56				
			AW6	0.73	0.77	0.5621	4.826	2階屋根	5.282	0.456	3.956	—	78.078947	—	—	3.00	1.68				
洋室2	10.76㎡	1/7	AW2	1.69	1.10	1.859	4.616	2階屋根	6.442	1.826	1.410	—	6.949616	—	—	3.00	5.57	11.81	>	1.57	OK
			AW3	1.69	0.90	1.521	4.716	2階屋根	5.282	0.566	4.332	—	68.883392	—	—	3.00	4.56				
			AW6	0.73	0.77	0.5621	4.826	2階屋根	5.282	0.456	3.956	—	78.078947	—	—	3.00	1.68				

A-2

室名	床面積 (㎡) ①	割合 ②	建具					遮蔽物		垂直距離 h (m) ⑤-④	水平距離 d (m)	道路 公園等 緩和幅 (m)	採光補正係数 A=d/h×α-β				採光有効 面積 (㎡) ③×A	採光有効 面積 (㎡) 合計		必要面積 (㎡) ①×②	判定
			記号	W(m)	H(m)	開口面積 (㎡) ③	中心高 (m) ④ (GL+)	名称	高さ (m) ⑤ (GL+)				計算値	縁側	天窓	採用値 A					
台所・居間	22.81㎡	1/7	AD2	0.64	2.03	1.2992	1.598	1階屋根	2.763	1.165	1.692	—	13.071244	—	—	3.00	3.89	26.84	>	3.25	OK
			AW4	0.64	0.77	1.2992	2.243	1階屋根	3.470	1.227	0.250	—	1.833740	—	—	1.83	2.37				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	2.763	1.165	1.692	—	13.071244	—	—	3.00	10.29				
			AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	3.338	1.740	2.100	—	10.862068	—	—	3.00	10.29				
和室	11.59㎡	1/7	AW1	1.69	2.03	3.4307	1.598	1階屋根	6.442	4.844	3.780	—	7.023121	—	—	3.00	10.29	15.86	>	1.65	OK
			AW2	1.69	1.10	1.859	2.183	2階屋根	5.282	3.099	2.956	—	8.584704	—	—	3.00	5.57				
洋室1	10.76㎡	1/7	AW2	1.69	1.10	1.859	4.616	2階屋根	6.442	1.826	3.780	—	18.630887	—	—	3.00	5.57	11.81	>	1.53	OK
			AW3	1.69	0.90	1.521	4.716	2階屋根	5.282	0.566	5.332	—	84.784452	—	—	3.00	4.56				
			AW6	0.73	0.77	0.5621	4.826	2階屋根	5.282	0.456	2.956	—	58.342105	—	—	3.00	1.68				
洋室2	10.76㎡	1/7	AW2	1.69	1.10	1.859	4.616	2階屋根	6.442	1.826	0.110	—	0.562168	—	—	0.56	1.04	7.28	>	1.57	OK
			AW3	1.69	0.90	1.521	4.716	2階屋根	5.282	0.566	5.332	—	84.784452	—	—	3.00	4.56				
			AW6	0.73	0.77	0.5621	4.826	2階屋根	5.282	0.456	2.956	—	58.342105	—	—	3.00	1.68				

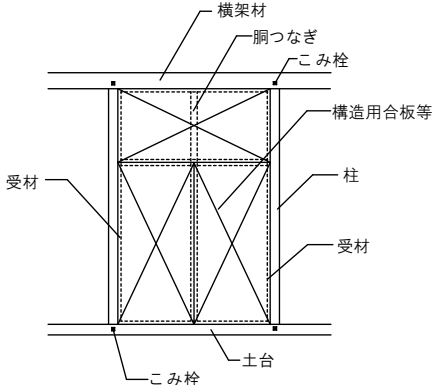
特 記 仕 様 書 （ 木 工 事 ） 軸 組 工 法				
部 位				
床 組 大 引	材 種	☒ ひのき ☐ ひば ☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ すぎ ☐ あかまつ ☐ くるまつ ☐ からまつ ☐ その他(集成材)		
	工 法	1 , 断面寸法は105mm×105mmを 標準とする。 2 , 継手は、床束芯から150mm内外持ち出し、N 75釘2本打ちとする。		
	仕 口	☐ 大入れ蟻掛け ☐ 腰掛け蟻 ☐ 乗せ掛け ☐ 柱 ☐ その他      註 上記仕口はいずれもN 75釘2本斜め打ちとする。		
	継 手	☐ 腰掛あり 継ぎ ☐ 相欠き 継ぎ ☐ その他  		
	材 種	☐ ひのき ☐ ひば ☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ すぎ ☐ あかまつ ☐ からまつ ☐ べいつが ☒ 鋼製束 ☐ 合成樹脂製束		
工 法	1 , 断面寸法は90mm×90mmを 標準とする。 2 , 継手は、上部仕口は、補強金物にて緊結する。 3 , 鋼製・合成樹脂製等の束とする場合は、各製造所の仕様による。			
仕 口	☐ 道切り ぼぞ差し ☐ びんた 延ばし ☐ 突付け ☐ 目違いぼぞ差し ☒ 鋼製束      N 75釘2 本斜め打ち N 65釘2 本平打ち N 75釘2 本斜め打ち N 75釘2 本斜め打ち			
根 太	材 種	☐ ひのき ☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ あかまつ ☐ くるまつ ☐ アビトン ☐ その他(集成材) ☐ すぎ		
	工 法	1 , 断面寸法は45mm×55mmを 標準とする。 ただし、2 階床の床梁間隔が900mm内外の場合は45mm×60mm以上とし、また2 階梁間隔又は1 階大引間隔がそれぞれ1.800mm内外の場合は45mm×105mm間隔を 標準とする。 2 , 根太間隔は、畳床の場合は450mm内外とし、その他の場合は300mm内外とする。		
	部 位			
	継 手	☐ 突付け 継ぎ ☐ 置き渡し ☐ 渡あご掛け ☐ 大入れ落しこみ     N 90釘2 本平打ち N 75釘2 本斜め打ち N 75釘2 本斜め打ち N 75釘2 本斜め打ち		
	材 種	☐ ひのき ☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ あかまつ ☐ くるまつ ☐ からまつ ☐ その他()		
工 法	1 , 断面寸法は30mm×90mmを 標準とする。 2 , 継手は、柱芯で突付け継ぎとし、N 75釘2本を平打ちとする。 3 , 留めつけは、柱、間柱当たりにN 75釘2 本を平打ちする。			
柱 間 柱	材 種	(見えがかり) ☐ ひのき ☐ すぎ ☐ べいつが ☐ 化粧貼構造用集成材 ☐ (見え隠れ) ☒ ひのき ☐ べいつが ☐ すぎ ☐ 構造用積層材 通柱(E120.F375) 強度等級 管柱(E95.F315) 強度等級 ぼぞ寸法は、(3.5 mmx 8.5 mm) とする。		
	工 法	1 , 柱の断面寸法は105mm×105mmを 標準とする。 2 , 通し 柱の断面寸法は、120mm×120mmを 標準とする。 3 , 階数が2 以上の住宅における通し 柱の断面寸法は、135mm×135mmと する。 4 , 隅柱(出隅、入隅)の断面寸法は、105mm×105mmと する。 5 , 横架材との仕口は、特記なき限り 上下とも 長柄差し 込み栓打ちとする。 6 , 隅柱の下部は、特記なき限り 短ぼぞ差しとし、かど金物(OP-L)当て釘打ちとする。 7 , 筋かいの下端部が取り 付く 柱と 横架材との仕口は柱の上下とも 長ぼぞ差しとし、込み栓打ちとする。 8 , 隅柱と土台との仕口は特記による。ただし、筋かいの取付隅柱については別に特記する。 9 , 上記5 ～8 は、プレカット 標準加工とする。		
	材 種	☒ すぎ ☐ ひのき ☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ くるまつ ☐ からまつ ☐ あかまつ ☐ その他(WWD)		
	工 法	1 , 横架材との仕口は、上部ぼぞ差し 下部突付けとし、下部はN 75釘2本を斜め打ちする。 <u>上下とも大入れ、N 75釘を斜め打ちする。</u> 2 , 筋かい当たりは、間柱を 欠き、N 75釘2本を平打ちする。 3 , 通し 貫当たりは、添付てN 65釘2本を平打ちする。		
	仕 口	☐ 長 ぼ ぞ ☒ 平 ぼ ぞ ☐ 短 ぼ ぞ ☐ 小根ぼぞ ☐ 扇 ぼ ぞ ☐ 認定仕口金物     		

特記仕様書（木工事）軸組工法

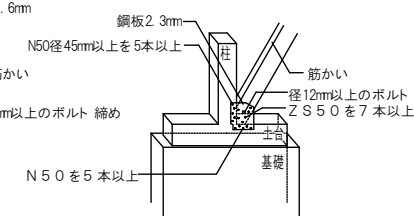
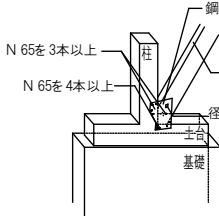
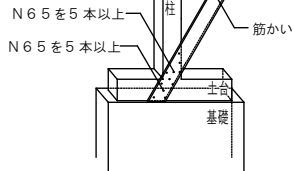
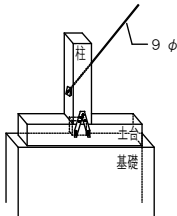
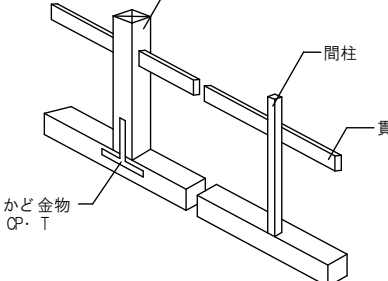
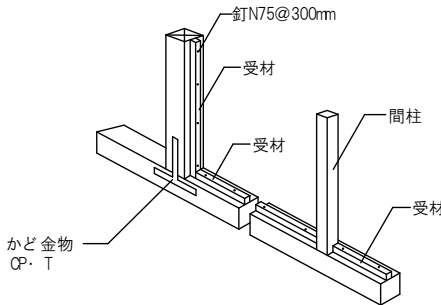
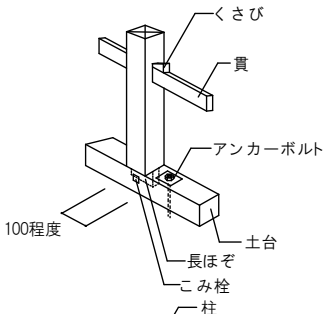
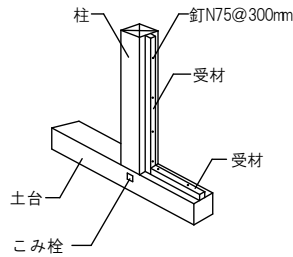
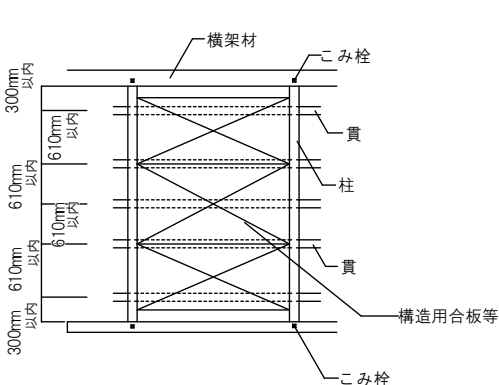
部 位	部 位				
2階床梁 胴 差 け た	材 種 ☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ くらまつ ☐ からまつ ☐ くらまつ ☐ あかまつ ☐ つが ☐ 対称異等級構成集成材(E105F300.)強度等級 ☒ ひのき ☐ すぎ 工 法 1. 断面寸法は、荷重の状態、スパン、梁間隔等を勘案して構造計算等により 適切なもの特記する。 2. 継手は梁及び筋違いを受ける柱間を避け、柱より 150mm内外持ち出した位置に設ける。 3. 横架材の中央部分付近の下側に耐力上支障のある欠込みをしてはならない。 4. 柱又は、横架材との仕口部分は補強金物にて緊結する。 仕 口  継 手  火打梁 材 種 ☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ くらまつ ☐ すぎ ☐ あかまつ ☐ ひのき ☒ 火打金物 工 法 火打梁は次のいずれかによる。 1. 木材の火打梁とする場合は、次による。 イ. 断面寸法は90mm×90mm以上とする。 ロ. 梁・胴差・桁等との仕口は、傾ぎ大入れとし、六角ボルト 閉めとする。 但し、梁・胴差・桁等の上端又は下端に取付ける場合は、渡りあご又はすべりあごとし いずれも六角ボルト 締めとする。 2. 鋼製火打とする場合は、特記による。 3. 火打梁を省略する場合は、火打土台の項に準じる。 筋かい 耐力壁 材 種 ☒ ひのき ☐ すぎ 構造用合板9.0mm以上 ☐ 構造用パネル ☐ パーティクルボード 12mm以上 ☐ ハード ボード 5mm以上 ☐ その他（石膏ボード） 筋かいによる耐力壁 木造筋かい 1. 断面寸法は45mmx 90mm以上とする。 2. 見付け平使いとし、上下端部の仕口は告示1460号に適合した方法とする。 3. 筋かいが間柱と取り合う部分は、間柱を筋かいの厚さだけ欠き通って筋かいを通す。	大壁造の面材耐力壁	1. 面材による耐力壁は、面材の種類により 釘の種類・間隔が異なるので、告示1100号に適合していることを確認する。 2. 柱と横架材の接合部は、特記なき限り 告示1460号による金物等により補強する。 3. 構造用面材は横張り又は縦張りとする場合で、やむをえず、梁、柱等以外で継ぐ場合は、断面は45mmx 100mm以上とする。 4. 構造用合板については、屋外に面する壁、及び常時湿潤状態になる恐れのある壁には「特類」を使用し、「1類」は室内に使用する。 5. 1階及び2階部の上下同位置に構造用面材の耐力壁を設ける場合は、胴差部において、構造用面材相互間に、6mm以上のあきを設ける。	筋かいによる耐力壁	   大壁造の面材耐力壁  大壁造の面材耐力壁において、面材の四隅を切り欠いて山形プレートを柱と横架材に直接釘打ちする場合は下図のように近傍に釘の増し打ちをする。 

特 記 仕 様 書 （ 木 工 事 ） 軸 組 工 法					
部 位			部 位		
耐力壁					
真壁造の面材耐力壁					
1. 面材による耐力壁は、面材の種類により 釘の種類・ 間隔が異なるので、告示1897号に <u>適合していることを確認する。</u>					
2. 柱と 横架材の接合部は、特記なき限り 告示1 4 6 0 号による金物等により 補強する。					
3. <u>構造用面材のホルムアルデヒド 〃 の発散量に関する品質については、特記による。</u>					
（ 受材タイプ）					
1. 受材は30mmx 40mm以上とする。					
2. 受材は、柱及び梁、桁、土台、その他の横架材にN75以上の釘を30c m以下の間隔で平打ちとする。					
3. 構造用面材は、受け材並びに間柱及び胴つなぎ等に留めつける。					
4. 構造用面材を受材以外で継ぐ場合は、間柱又は胴つなぎ等の断面は45mmx 65mm以上とする。					
（ 貫タイプ）					
1. 貫は15mmx 90mm以上とする。					
2. 貫は5本以上設ける。					
3. 最上段の貫とその直上の横架材との間隔及び最下段の貫とその直下の横架材との間隔は、おおむね30cm以下とし、 その他の貫の間隔は61cm以下とする。					
4. 貫を柱に差し通す場合は、両面からくさび締め又は釘打ちとする。					
5. 貫の継手は、おおむね柱心で突付けとする。					
6. 柱との仕口は、柱の径の1/2程度差し込みくさび締め又は釘打ちとする。					
7. 構造用面材は、貫に確実に留めつける。					
8. 構造用面材を継ぐ場合は、貫上で行なう。					
接合金物					
筋かい端部の接合（告示 1 4 6 0 号1 項）					
イ. 径9 mmの鉄筋			柱又は、横架材（柱や土台）貫通し、三角座金を介してナット 締め、 鋼板添え板を用い 柱又は横架材にJ I S 規定鉄丸釘C N 9 0 を8 本以上打ち付けたもの。		
ロ. 1 . 5 cm×9 cmの木材の筋かい			柱及び横架材を欠き込み、柱及び横架材の双方にJ I S 規定鉄丸釘N 6 5 を5 本以上 平打ちしたもの。		
ハ. 3 cm×9 cmの木材の筋かい			厚さ1 . 6 mm以上の鋼板添え板を用い、筋かいに対して径1 2 mm以上のボルト 及び 釘3 本平打ち、柱に対して釘3 本平打ち、横架材に対して釘4 本平打ちしたもの。		
ニ ㊦ 4 . 5 cm×9 cmの木材の筋かい			厚さ2 . 3 mm以上の鋼板添え板を用い、筋かいに対して径1 2 mm以上のボルト 及び 長さ5 0 mm以上のスクリ ュー釘7 本平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ5 0 mm径4 5 mm以上の スクリ ュー釘5 本平打ちしたもの。		
ホ. 9 cm×9 cmの木材の筋かい			柱又は横架材に、J I S 強度区分4 . 6 の径1 2 mmのボルト を用いて一面せん断接合とすること。		

（ 受材タイプ）



（ 貫タイプ）

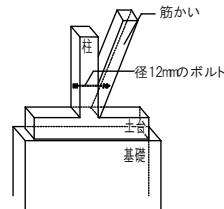


イ

ロ

ハ

ニ



ホ

特 記 仕 様 書 （ 木 工 事 ） 軸 組 工 法					
部 位			部 位		
接合金物			柱の両端部と横架材の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱）		
接合金物使用条件					
接合金物の取付・施工は、平成12年建設省告示第1460号を順守し施工する。			イ．柱短ほぞをし、山形プレート（VP）当て釘打ち ロ．短柱ほぞ差し かど金物 当て釘打ち ハ．長ほぞ差し 込みせん打ち ニ．短柱ほぞ差し ひら金物 当て釘打ち		
接合金物は、Zマーク表示金物、又はZマーク表示金物同等認定品とする。					
筋かいの接合金物は、建設省告示第1460号対応金物の内より筋かい寸法に合わせ、			イ．柱短ほぞをし、山形プレート（VP）当て釘打ち ロ．短柱ほぞ差し かど金物 当て釘打ち ハ．長ほぞ差し 込みせん打ち ニ．短柱ほぞ差し ひら金物 当て釘打ち		
納まりを考慮し最良のものを使用する。			隅柱と土台の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱）		
仕口の分類（筋かいが取り付かない柱の場合）					
柱の端部と横架材の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱は除く）			イ．短ほぞ差し かど金物 2枚当て釘打ち ロ．ホールドダウン金物による緊結 ハ．落としあり かど金物2枚 当て釘打ち		
			接合金物		
隅柱と土台の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱は除く）			柱頭・柱脚の仕口の接合（告示第1460号第2項）		
			■ 構造計算により決定する。		
イ．短ほぞ差し かど金物 2枚当て釘打ち ロ．長ほぞ差し 込み せん釘打ち ハ．ホールドダウン金物による緊結 ニ．落としあり かど金物2枚 当て釘打ち					
仕口の分類（筋かいが取り付く柱の場合）			1階管柱と2階の柱の緊結		
			外周部の主要な隅角部の柱及び構造計算による引き抜き応力大きい2階の柱は、1階の管柱と接合金物（ホールドダウン金物）で緊結する。		

(い)	短ほぞ差し かすがい打ち	(0.0k N)	(ろ)	長ほぞ差し 込み栓打ち かど金物CP・L (ZN65-5)	(3.4k N)	(は)	はしらどめリトルコーナー(TB65-6) 山形プレート 金物VP (ZN90-8)	(5.1k N)	(に)	羽子板ボルト(M12) スリムプレート(TB65D-4・TB100-4)	(7.5k N)
(ほ)	羽子板ボルト(M12+ZS50) 短ざく金物(M12+ZS50)	(8.5k N)	(へ)	ホールダウンコーナー(TB65-6・TB100-4)	(10.0k N)	(と)	ビス止めホールダウンU 金物 U15	(15.0k N)	(ち)	ビス止めホールダウンU 金物 U20	(20.0k N)
(り)	ビス止めホールダウンU 金物 U25	(25.0k N)	(ぬ)	ビス止めホールダウンU 金物 U35	(35.0k N)	筋かいプレート		タル木どめ金物			

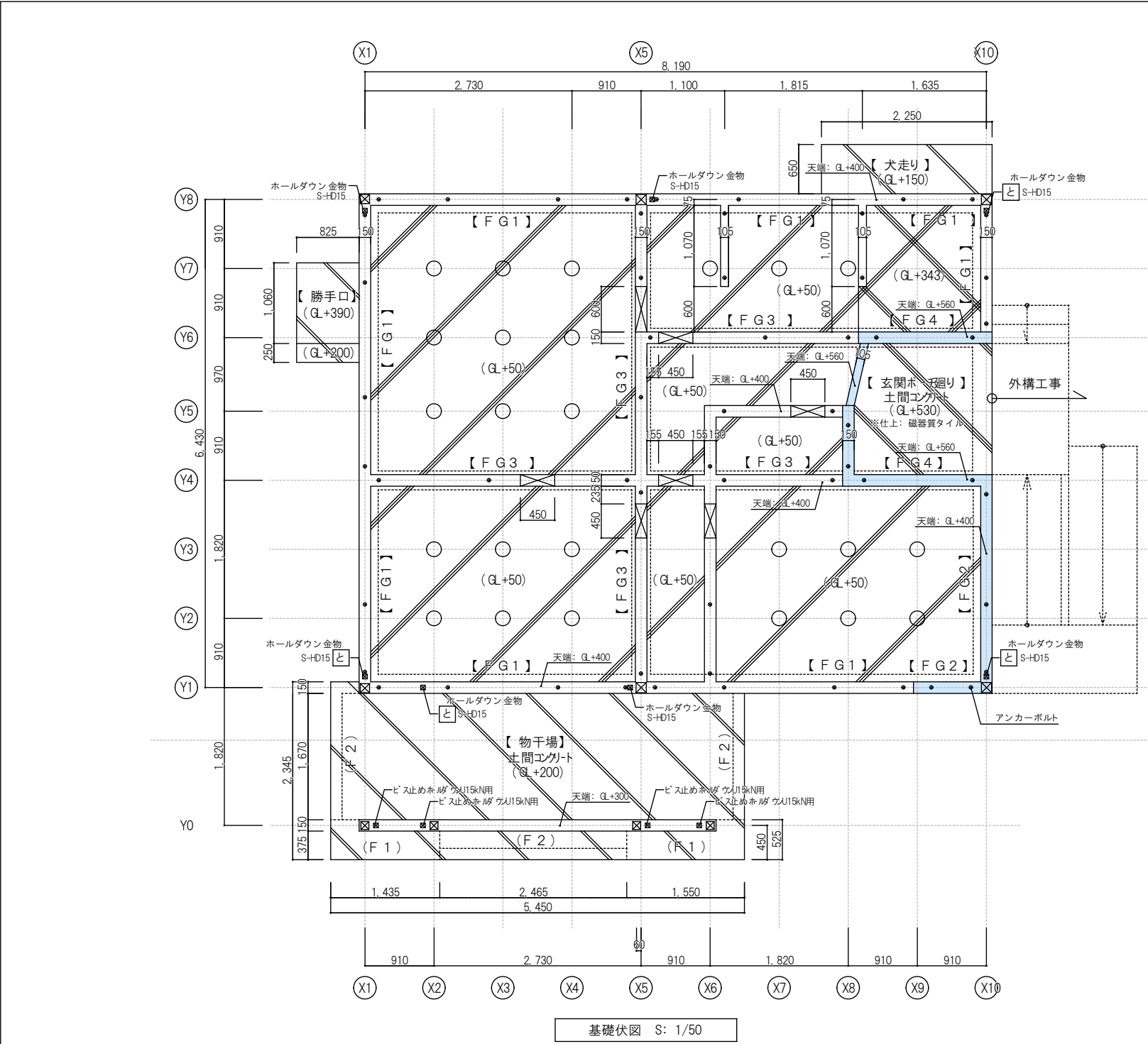
特 記 仕 様 書 （ 木 工 事 ） 軸 組 工 法											
部 位		接 合 金 物				部 位		接 合 金 物			
金 物	種類・ 記号	形状・ 寸法(単位mm) 使用接合具		用途・ 使い方		金 物	種類・ 記号	形状・ 寸法(単位mm) 使用接合具		用途・ 使い方	
	火打金物 H B	【 寸法・ 形状】 ◎使用接合具 平く ぎZF55 小型角座金V2. 3×30 六角ボルト M12 六角ナット M12 角座金V4. 5×40		◎用途 床組及び小屋組の隅角部の補強			ひねり 金物 S T (右ひねり のみ)	【 寸法・ 形状】 S T - 9 , S T - 1 2 ◎ 使用接合部 太めく ぎ Z N 4 0		【 用途】たるきと軒げた、または、もやとの接合 【 使い方】 垂木 ひねり 金物 軒桁 ひねり 金物 S T - 9, S T - 12 勾配5 / 1 0 以上 桁	
	ひら 金物 S M - 12	【 寸法・ 形状】 ◎使用接合具 太めく ぎ ZN65		◎用途 かすがいと同様の用途			折曲げ 金物 S F (右ひねり 及び左ひねり)	【 寸法・ 形状】 ◎ 使用接合部 太めく ぎ Z N 4 0		【 用途】ひねり 金物と 同様の用途 【 使い方】 垂木 軒桁 折曲げ 金物 S F (右ひねり) S F (右ひねり) 垂木 軒桁 折曲げ 金物 S F (左ひねり) S F (左ひねり)	
	ひら 金物 S M - 40	【 寸法・ 形状】 ◎使用接合具 太めく ぎ ZN65		◎用途 管柱の連結等			くら 金物 S S	【 寸法・ 形状】 ◎ 使用接合部 太めく ぎ Z N 4 0		【 用途】ひねり 金物と 同様の用途 【 使い方】 垂木 軒桁 くら 金物 S S S S 軒先側の取付け例 垂木 軒桁 くら 金物 S S S S 棟側の取付け例	
	筋かいプレート B P	【 寸法・ 形状】 ◎使用接合具 角根平頭ボルト M12 小型角座金V2. 3×30 六角ナット M12 太めく ぎ ZN65		◎用途 筋かいを柱と 横架材に 同時に接合角根平頭ボルト M12			かど 金物 C P ・ L C P ・ T	【 寸法・ 形状】 ◎ 使用接合部 太めく ぎ Z N 6 5		【 用途】引張りをうける柱と土台・ 横架材の接合 【 使い方】 横架材 筋かい かど 金物 C P ・ T 柱 土台 隅柱 かど 金物 C P ・ L 柱 土台 アンカ ボルト A C P ・ L e1 e2 e1 e2	
羽子板ボルト S B ・ E	【 寸法・ 形状】 ◎使用接合具 六角ボルト M12 L=280・ 310・ 340 六角ナット M12 370・ 400・ 430 角座金V4. 5×40 スクリューく ぎ ZS50		◎用途 小屋ばりと軒桁 軒桁と柱、胴差と 通し 柱の連結								
かね折り 金物 S A	【 寸法・ 形状】 ◎使用接合具 L=210・ 240・ 270 六角ボルト M12 300・ 345 六角ナット M12 角座金V4. 5×40 スクリューく ぎ ZS50		◎用途 通し 柱と 胴差の取合								

木造特記仕様書-7		SCALE	-	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号		DATE	DATE	B - 07
SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 A 工区				株式会社 上田建築事務所		CHECKED BY	DRAW BY	

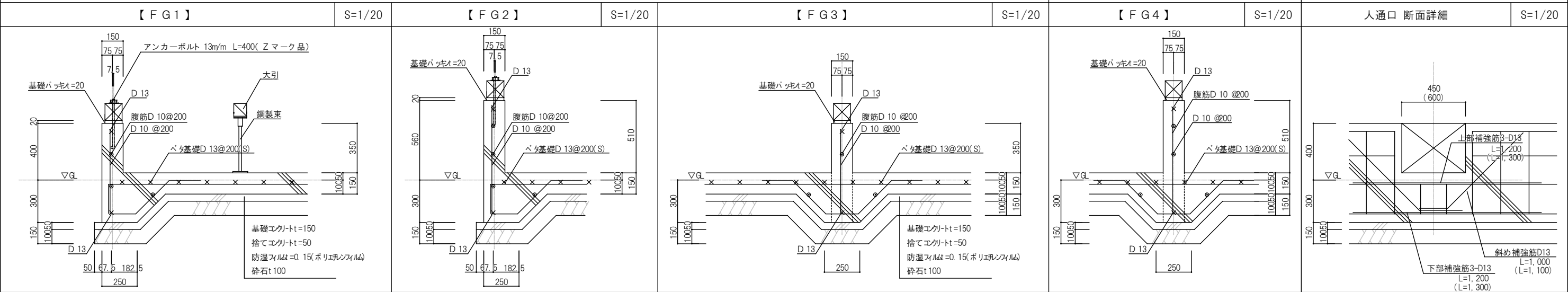
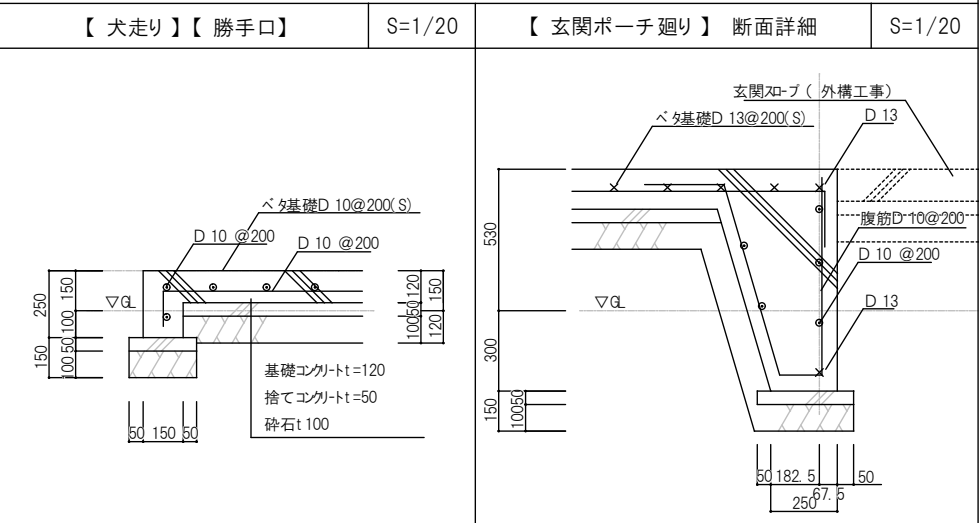
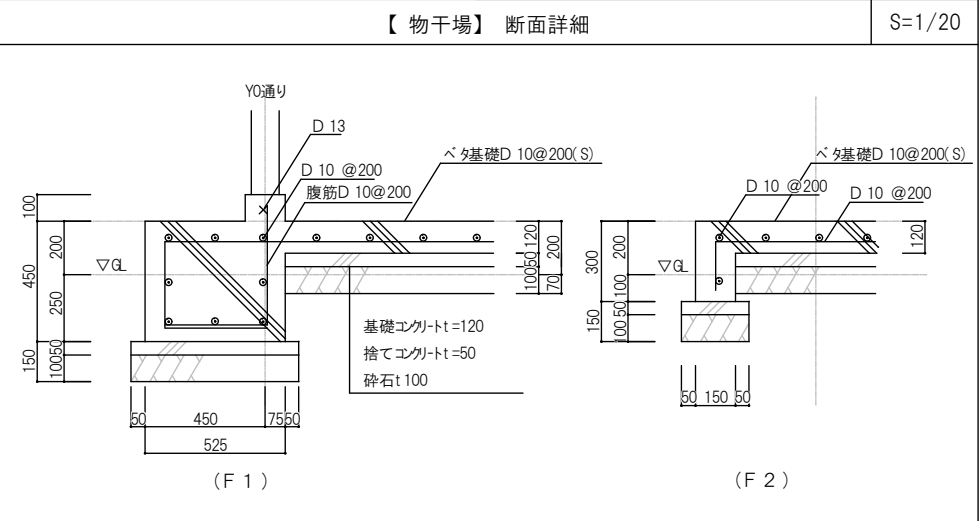
特 記 仕 様 書 (木 工 事) 軸 組 工 法

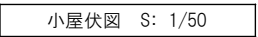
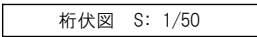
部 位		部 位	
小屋梁	材 種	小屋組	継手及び仕口の参考例
	はり（丸太） ☐ べいまつ ☐ くらまつ ☐ あかまつ ☐ その他（ ☐ ） はり（その他） ☐ 構造用集成材 ☐ くらまつ ☐ あかまつ ☐ からまつ ☒ その他（すぎ ☐ ）		
小屋束	工 法		
	1， 末口150mm以上の丸太の継手は、受材上で台持継ぎとし、下木に太柄2本を植え込み、 2， 六角ボルト（M12）2本締めとする。受け材当たりは渡り あごとし、手違いかすがい打ちとする。 3， 末口150mm以下の丸太の継手は、受け材上でやりちがいとし、六角ボルト（M12）2本締めとする。 4， 受け材当たりは渡り あごとし、手違いかすがい打ちとする。 5， 軒桁又は敷桁との仕口は、かぶと 蟻掛け又は渡り あごとし、羽子板ボルト 締めとする。		
棟木・母屋	材 種		
	☒ すぎ ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ べいまつ ☐ からまつ ☐ べいつが ☐ その他（ひのき ☐ ）		
桁行すじかい ・ 振れ止め	工 法		
	上部・下部の仕口は、短柄差しとし、かすがい両面打ちとする。		
登り 梁	材 種		
	☐ べいまつ ☐ べいつが ☐ くらまつ ☐ あかまつ ☐ からまつ ☒ すぎ ☐ その他（ひのき ☐ ）		
登り 梁	工 法		
	垂木当たりの欠き込みを考慮して適切な断面寸法とし、継手は束の位置を避け、持ち出し 腰掛け鎌継ぎとする。		
振れ止め	材 種		
	☒ すぎ ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ べいまつ ☐ からまつ ☐ べいつが ☐ その他（ ☐ ）		
棟木・母屋	工 法		
	束に添えつけ、N50釘2本打ちとする。 振れ止めの断面寸法は貫程度とする。		
棟木・母屋	材 種		
	☐ ひのき ☐ べいまつ ☐ べいつが ☒ すぎ ☐ くらまつ ☐ あかまつ ☐ からまつ ☐ その他（ ☐ ）		
棟木・母屋	工 法		
	1， 継手は乱に配置し、母屋上端でそぎ継ぎとし、ボルト 打ちとする。		

		木造特記仕様書-8	SCALE	-	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号		DATE	DATE	B-08
		SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 A工区	株式会社 上田建築事務所		CHECKED BY	DRAWN BY	SHEET NO.		
			SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史						

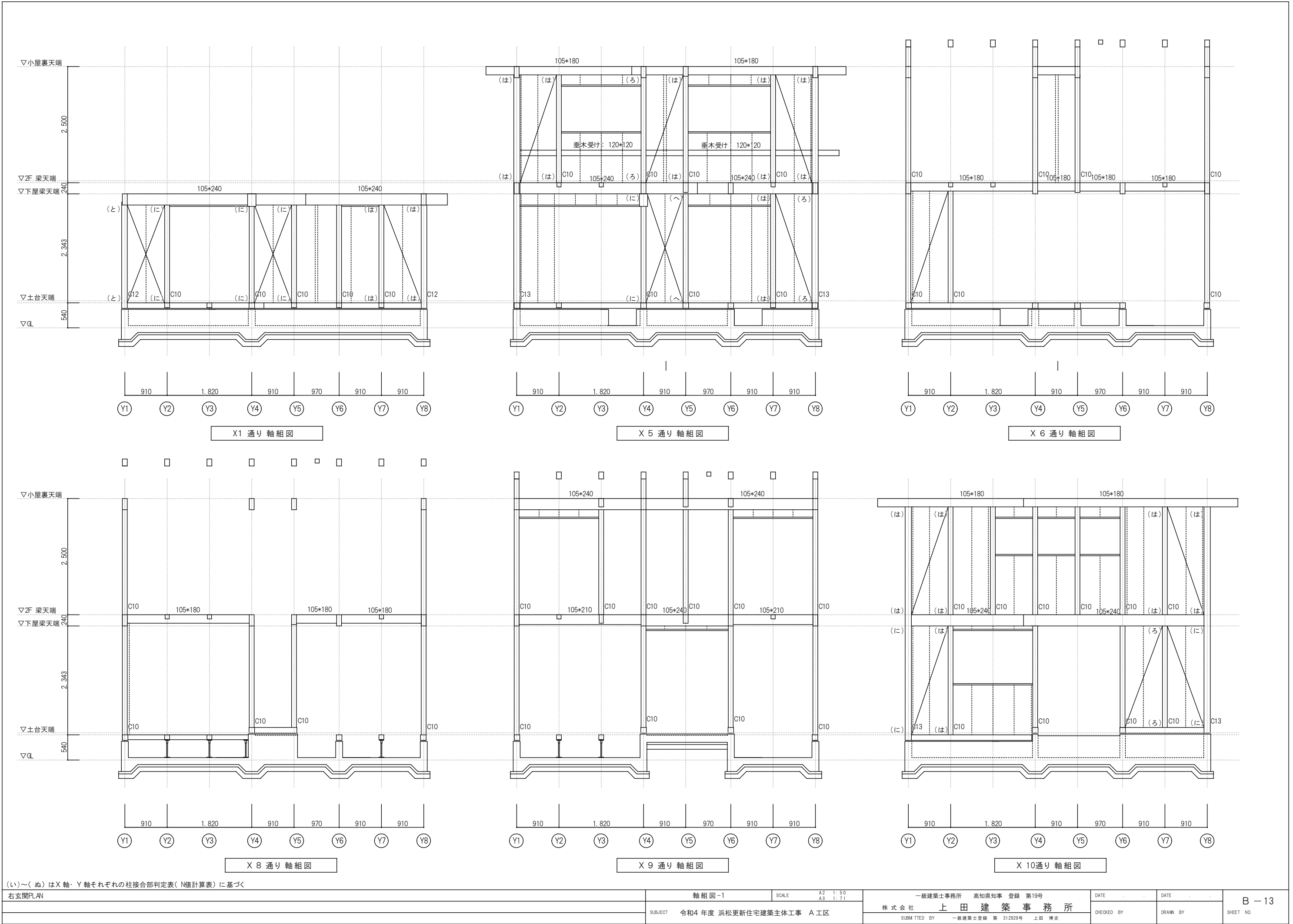


基礎伏図 凡例		特記事項	
	本体 ベタ基礎 厚さ 150 ベタスラブ 配筋 D13@200 シングルクロス	1. 捨コンクリート	$F_c=18N/mm^2$ $SL=15cm$ 以下
	付帯 ベタ基礎 厚さ 120 ベタスラブ 配筋 D10@200 シングルクロス	2. 基礎コンクリート	$F_c=21N/mm^2$ $SL=18cm$ 以下
	浴室部分 ベタ基礎 厚さ 150の上 ベタ基礎嵩上げ 厚さ 100 溶接金網 150*150*φ6	3. 土間コンクリート	$F_c=21N/mm^2$ $SL=15cm$ 以下
	フーチング	4. 鉄筋	SD295A D10~D13
	鋼製床束 記載なき床束@900以内	5. アンカボルト	M2 L=450(亜鉛メッキ製品), スクエアワザ使用 図示なき場合: 筋違下部 土台継手より 120寄り、 ボルト間@900以下
	高基礎範囲を示す FG2 参照		
	アンカーボルト M12 L=400	6. 基礎パッキン	ヤパックスロッド W=120 一部気密パッキン(玄関・浴室廻り)
	ホールダウン金物	7. 防湿	内部ベタ基礎全域 ポリエチレンフィルム t.0.15 敷き込み
		8. 防蟻処理	土壌/木部床組薬剤処理 GL+1.0m迄



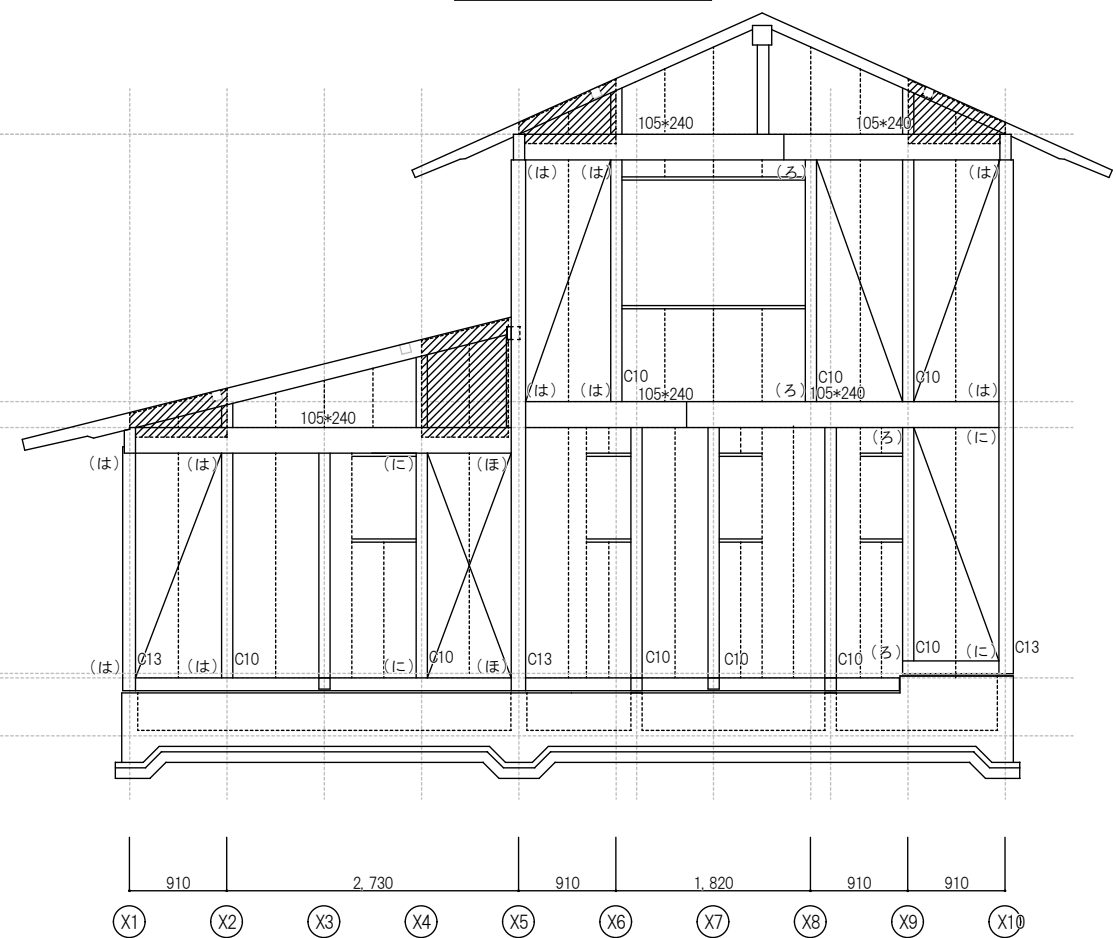
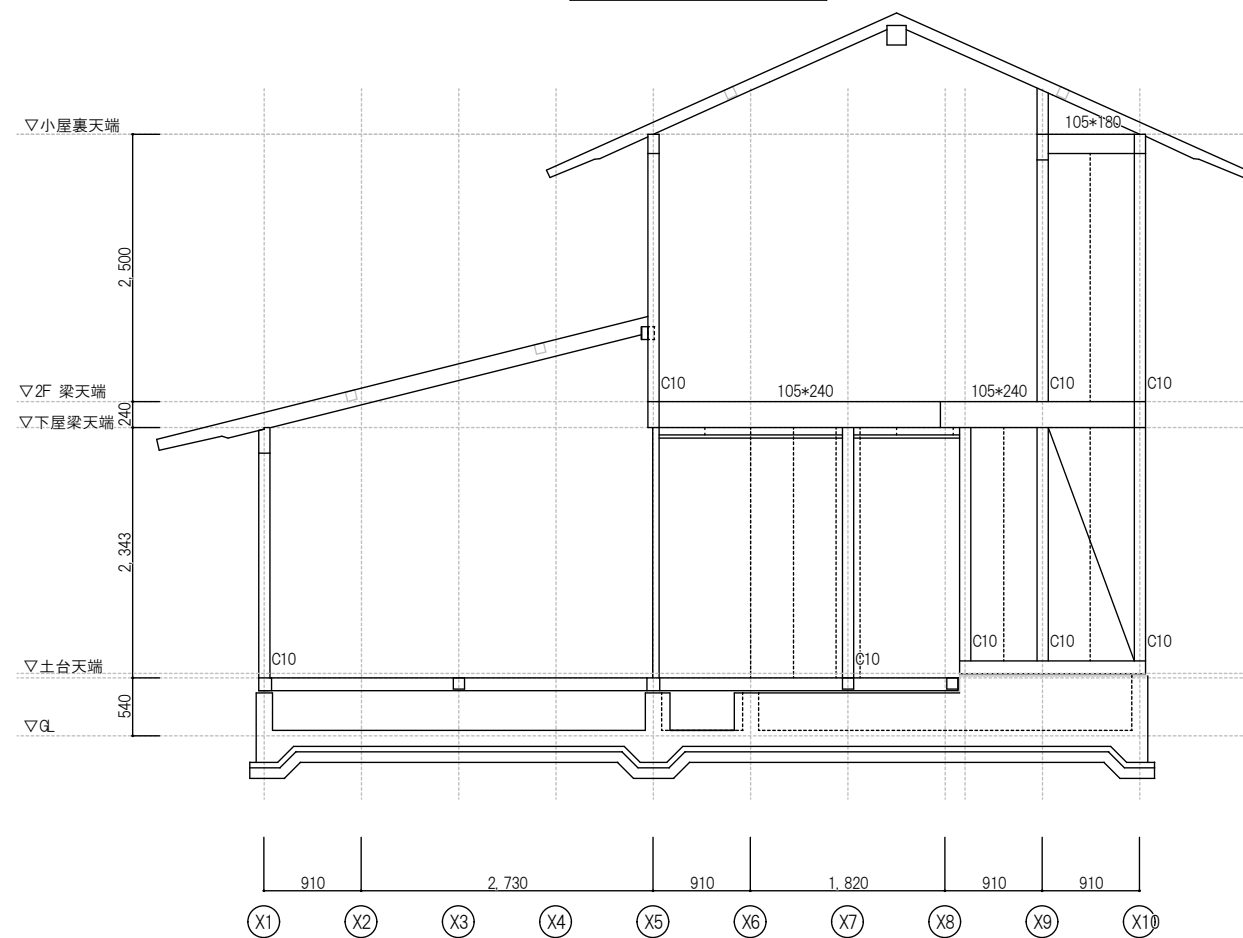
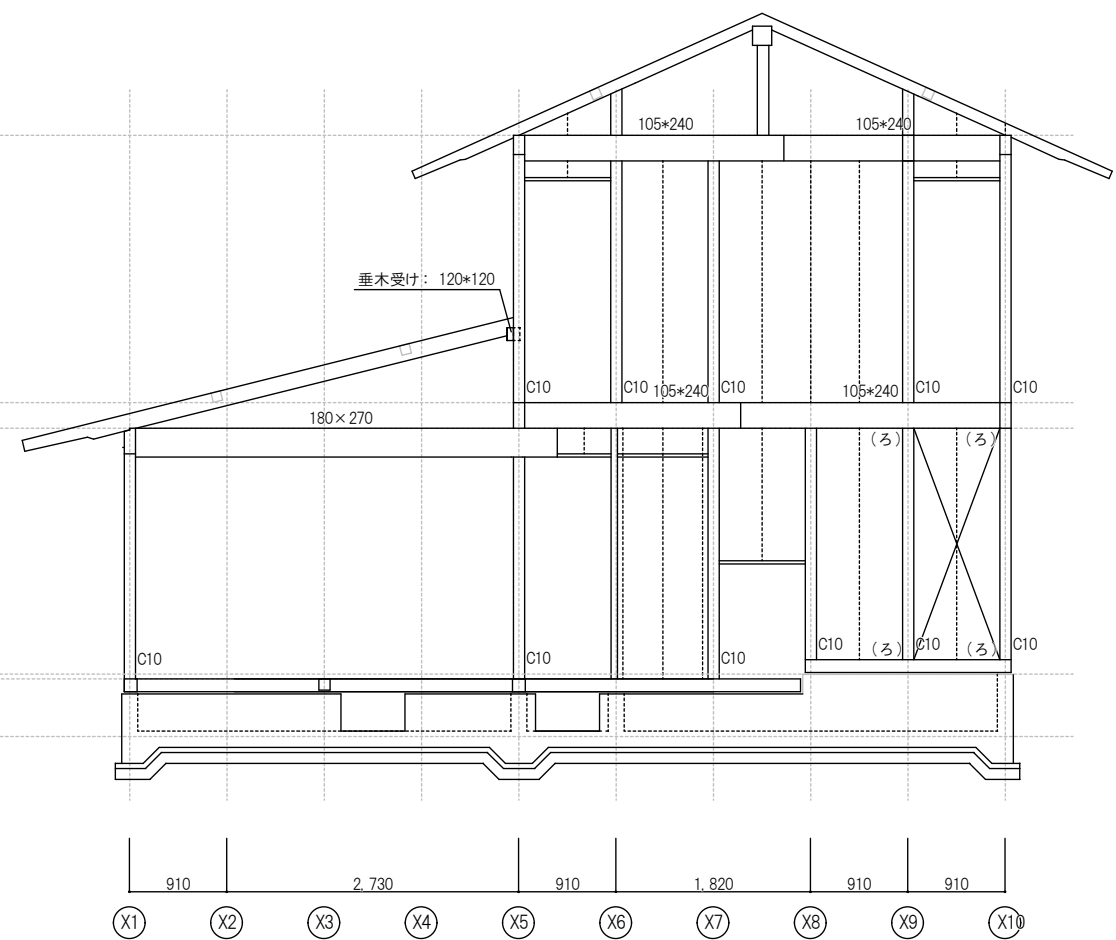
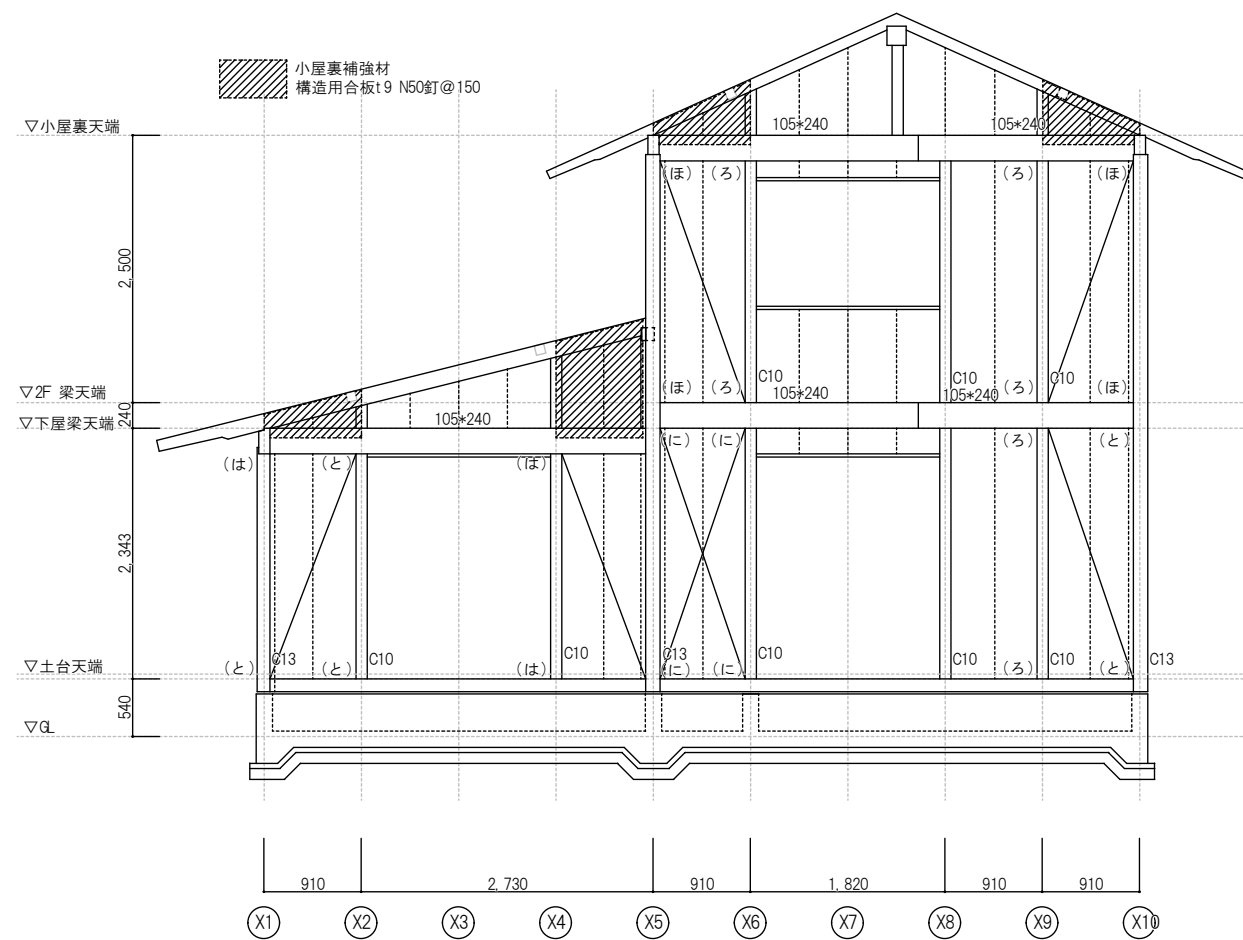


「黒潮町産材」使用について
構造材及び下地材は原則黒潮町有林より生産された木材を使用することとし、原木が黒潮町産材であることを明確に証する資料（産地証明等）を提示すること。 ただし、5m以上の長尺構造材（通し柱、登り梁）及び内部造作材は例外とする。
柱脚・柱頭の仕口の仕様
※ ☐ ～ ☐ は、建築基準法 告示第1460号による
登り梁の接合方法は、特記なき場合 【登り梁：105×180】コーチスクリューボルト M12×240mm 留め 【登り梁：105×150】コーチスクリューボルト M12×210mm 留めとする



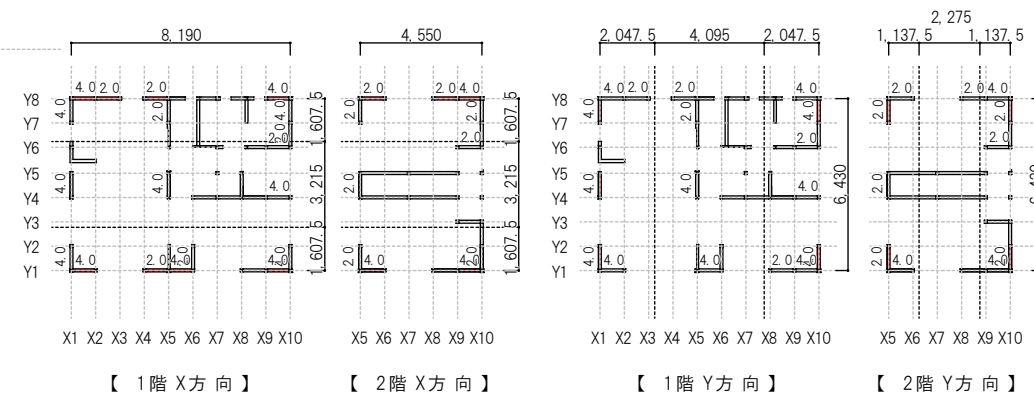
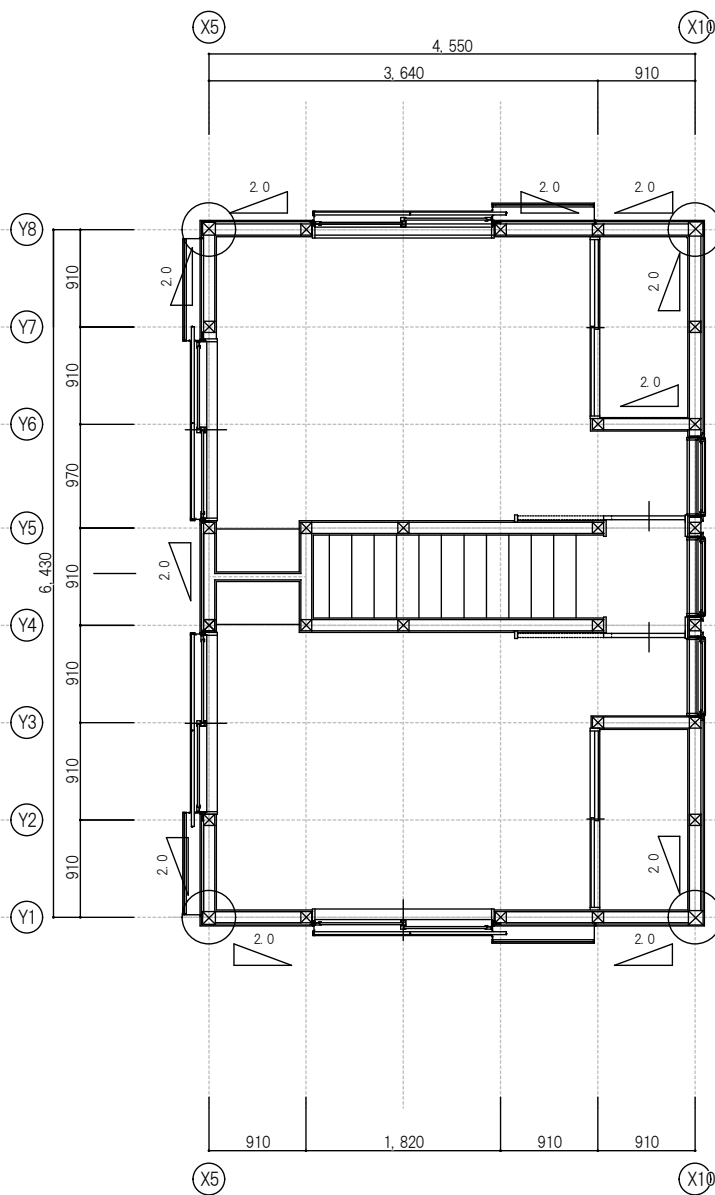
(い)～(ぬ)はX 軸・Y 軸それぞれの柱接合部判定表(N値計算表) に基づく

右玄関PLAN		軸組図-1	SCALE	A2 1: 50 A3 1: 7.1	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号	DATE	DATE	B - 13
		SUBJECT 令和4 年度 浜松更新住宅建築主体工事 A 工区	株式会社 上田建築事務所		SUEM TIED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	CHECKED BY	DRAWN BY	

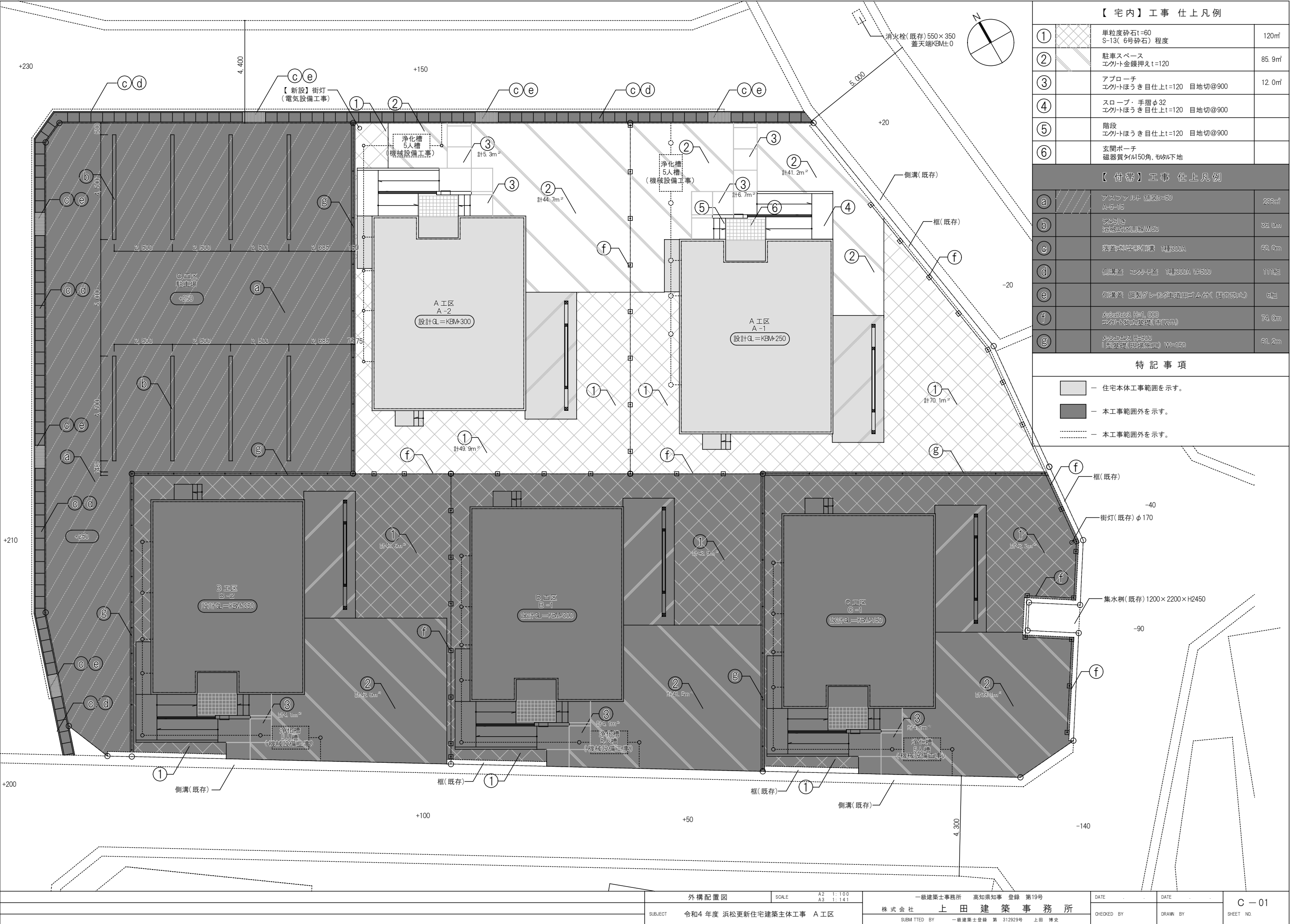


(い)～(ぬ)はX軸・Y軸それぞれの柱接合部判定表(N値計算表)に基づく

右玄関PLAN	軸組図-2	SCALE A2 1:50 A3 1:71	一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号 株式会社 上田建築事務所 SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史	DATE	DATE	B-14 SHEET NO.
	SUBJECT 令和4年度 浜松更新住宅建築主体工事 A工区		CHECKED BY	DRAWN BY		



必要壁量の計算	階 数	地震力に対する必要壁量（ c m ）		風圧力に対する必要壁量（ c m ）		必要壁量（ c m ）				X 方 向		Y 方 向								
		X方向（ はり 間 ）、Y方向（ けた 行 ）		X方向（ けた 行 方向 ）		Y方向（ はり 間 方向 ）				X 方 向	Y 方 向	側端部分（ 上 ）		側端部分（ 下 ）		側端部分（ 左 ）		側端部分（ 右 ）		
	1 階部分	床面積 50.95×29×1.25＝1846.93・ ・ ・ ・ ・ ①		見付面積 38.21×50＝1910.50・ ・ ・ ②		見付面積 27.16×50＝1358.00・ ・ ・ ③		①、②より 大きい値採用 1910.50c m		①、③より 大きい値採用 1846.93c m		存在壁量 （ c m ）	1F	91×4.0×2+ 91×2.0×2＝1092		91×4.0×3+ 91×2.0×1＝1274		91×4.0×3＝1092		91×4.0×2＝728
	2F	91×4.0×1+ 91×2.0×2＝728		91×4.0×2＝728		91×2.0×2＝364		91×2.0×2＝364												
2 階部分	床面積 28.42×15×1.25＝532.875・ ・ ・ ・ ・ ①		見付面積 17.79×50＝889.50・ ・ ・ ②		見付面積 8.83×50＝441.50・ ・ ・ ③		①、②より 大きい値採用 889.50c m		①、③より 大きい値採用 532.875c m		床面積 （ ㎡ ）	1F	8.19×1.6075＝13.165425		8.19×1.6075＝13.165425		6.43×2.0475＝13.165425		6.43×2.0475＝13.165425	
		2F	4.55×1.6075＝7.314125		4.55×1.6075＝7.314125		6.43×1.1375＝7.314125		6.43×1.1375＝7.314125											
	設計壁量の計算	階 数	耐 力 壁 の 種 類	倍 率	有 効 壁 量 （ c m ）		判 定		2F	必要壁量 （ c m ）		1F	13.17(床面積)×29＝381.93		13.17(床面積)×29＝381.93		13.17(床面積)×15＝197.55		13.17(床面積)×29＝381.93	
X方向（ はり 間 ）					Y方向（ けた 行 ）		X 方 向	Y 方 向		2F	7.32(床面積)×15＝109.8		7.32(床面積)×15＝109.8		7.32(床面積)×15＝109.8		7.32(床面積)×15＝109.8			
1 階部分		筋交い 45×90(たすき掛け)		4.0	91*3*4.0＝1092		91*3*4.0＝1092		2002c m > 1910.50c m ∴安全	2002c m > 1846.93c m ∴安全	必要壁量 （ c m ）	2F	7.32(床面積)×15＝109.8		7.32(床面積)×15＝109.8		7.32(床面積)×15＝109.8		7.32(床面積)×15＝109.8	
		筋交い 45×90(片方)		2.0	91*5*2.0＝910		91*5*2.0＝910					壁量 充足率	1F							
		合 計			2002		2002				2F									
2 階部分		筋交い 45×90(たすき掛け)		4.0	91*3*4.0＝1092		91*3*4.0＝1092		910c m > 889.50c m ∴安全	728c m > 532.875c m ∴安全	壁率比	2F								
		筋交い 45×90(片方)		2.0	91*5*2.0＝910		91*4*2.0＝728													
		合 計			910		728													
耐震等級2（ 1.25倍 ）適用						壁 量 算 定 表		SCALE -		一級建築士事務所 高知県知事 登録 第19号				DATE - -		DATE - -		B - 15		
右玄関PLAN						SUBJECT 令和4年度 浜松更ニュー住宅建築主体工事 A工区				株 式 会 社 上 田 建 築 事 務 所				CHECKED BY		DRAWN BY		SHEET NO.		
										SUBMITTED BY 一級建築士登録 第 312929号 上田 博史										



【 宅内 】 工 事 仕 上 凡 例		
①	単粒度砕石t=60 S-13(6号砕石) 程度	120㎡
②	駐車スペース コンクリート金銭押えt=120	85.9㎡
③	アプローチ コンクリートほうき目仕上t=120 目地切@900	12.0㎡
④	スロープ・手摺φ32 コンクリートほうき目仕上t=120 目地切@900	
⑤	階段 コンクリートほうき目仕上t=120 目地切@900	
⑥	玄関ポーチ 磁器質タイル50角、モタル下地	
【 付 帯 】 工 事 仕 上 凡 例		
a	アスファルト 舗装t=50 A-5-115	236㎡
b	ライン引き 溶融式区画線M150	36.0m
c	移設式U字形側溝 1種300A	60.0m
d	側溝蓋 コンクリート蓋 1種300A W=500	111組
e	側溝蓋 鋳製グレーセグ車道用ゴム付(踏面防止)	6組
f	メッシュフェンス H=1,000 コンクリート独立基礎(市販品)	74.0m
g	メッシュフェンス H=900 I 型基礎(現場施工) W=150	61.2m
特 記 事 項		
■ — 住宅本体工事範囲を示す。		
■ — 本工事範囲外を示す。		
--- — 本工事範囲外を示す。		

